

2023年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科
天使大学大学院助産研究科

自己点検・評価報告書

目 次

1. 教育課程	1
1) 教育課程の運営	1
2) 看護学科	4
3) 栄養学科	8
4) 教養教育科	16
5) 看護栄養学研究科	18
6) 助産研究科	22
2. 学生の受け入れ	25
3. 教員組織	31
4. 研究活動・研究環境	32
5. F D S D活動	37
6. 社会貢献	38
7. 国際交流	40
8. 学生生活	41
9. 就職支援	50
10. 図書館	54
11. 情報処理システム	57
12. 施設・設備	59
13. 管理運営	60
14. 財務	61
15. 事務組織	63
16. 自己点検・評価活動	64

1. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>ー2023年度活動計画書からー</p> <p>1. ディプロマ・ポリシー（DP）達成のための教育の展開</p> <p>2. 学修成果及び教育課程に係る点検評価</p> <p>3. ウィズコロナ及びアフターコロナに係る検討</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準4：教育課程・学習成果 ①～⑦</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>Ⅱ：教育の質保証体制の構築 Ⅱ-3～5</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. ディプロマ・ポリシー（DP）達成のための教育の展開</p> <p>1) 【中期計画Ⅱ-3】3ポリシーとアセスメント・ポリシーの明確化</p> <p>(1)新3ポリシーの策定、推進</p> <p>新入生オリエンテーション及び在学生ガイダンス等において、学生へDPや修得する能力に関する説明を丁寧に行った。</p> <p>2) 【中期計画Ⅱ-4】特色を生かしたカリキュラムの編成、実施及び充実</p> <p>(1)カリキュラム・ルーブリックに準じた科目編成と配置</p> <p>カリキュラム・ルーブリック7つの能力（ディプロマ・ポリシー）と4つのレベルに基づく展開を行った。</p> <p>(2)アクティブ・ラーニングの促進</p> <p>アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を推奨した。</p> <p>[自己評価]</p> <p>全体として、アクシデント等もなく、概ねDP及びCPなどに基づいた教育を展開した。</p> <p>2. 学修成果及び教育課程に係る点検評価</p> <p>1) 【中期計画Ⅱ-5】学修成果の可視化</p> <p>(1)GPA制度の活用推進</p> <p>履修規程第13条などの成績評語、評点、GPAの関係性について整理を行った。</p> <p>(2)教育の進展のための調査、活用</p> <p>「学生による到達度評価」及び「教員評価アンケート」の結果を受けてDP達成状況等を次のとおり分析した。【令和4年度教育の質に係る客観的指標調査関連】</p> <p>①「学生による到達度評価」</p> <p>完成年度を終了した両学科の4年次生のDP到達状況は概ね高い傾向にあるが、DP6の「グローバルな視点を持ち、多様な環境下で生きる人々への支援等を通して社会貢献する能力・態度を養う」の到達度が低めであった。</p> <p>②「教員による科目評価」</p> <p>「シラバスの記載通りの授業実施」については高い評価であったが、「授業を通して、学生の学力を高めることができたか」という項目について、栄養学科専門科目以外は、昨年度よりも評価が低下した。</p> <p>(3)教育課程の編成及び展開に係る点検評価、課題の抽出</p> <p>○開講科目数【中期計画Ⅱ-4関連】</p> <p>開講科目については、一部開講学期等を変更した科目があるものの、未開講科目はなく、おおむねカリキュラム・ポリシーに則り、適正に開講した。</p> <p>○時間割展開及び運用</p> <p>ア) 2023年度の運用に関しておもに次の改善を行った。</p>

- ・「天使大学における生成A I の取扱いについて」を定めた。
- ・遠隔授業の実施要件を定めた。
- ・「数理・データサイエンス・A I 教育」に係る運用規則を制定した。
- ・教室等に掲示する座席表の氏名を不掲載にすることを定めた（個人情報保護）。
- ・「学校において予防すべき感染症」に罹患した時の試験における取扱いについて一部改正した。

イ) 2024年度に向けておもに次の点を改善した。

- ・授業予定表のレイアウトを変更し、早期に完成させる。
- ・時間割編成、科目責任者による試験等実施、出欠登録に関するルールを整備し、教員へ共有した。

○カリキュラム・マップとカリキュラム・ルーブリックに基づく教育展開によるDP達成状況【教育の質に係る客観的指標調査関連】

カリキュラム・マップ及びカリキュラム・ルーブリックについては、授業概要（T-NAV I による閲覧可）に掲載し、学生に共有している。DP達成状況については、（2）のとおり。

○カリキュラム運用の評価と課題

各学科・科から提出された課題について2月の教務委員会で共有した。

[自己評価]

「学生による到達度評価」及び「教員評価アンケート」については、経年変化を分析するために完成年度まで内容を変更せず実施してきたが、次年度には実施内容及び方法について点検をする必要がある。また、時間割展開及び運用についての改善が進んでいる。

3. ウィズコロナ及びアフターコロナに係る検討

2023年5月8日付で新型コロナウイルスが5類感染症になったことを受けて、可能な限りコロナ禍以前の運用に戻して授業を展開した。

[自己評価]

昨年度末から鋭意、準備を進めてきたことにより5類感染症への移行は概ね支障なく行われた。

4. 学則及び履修規程の改訂

(1) 学則

大学設置基準改正に基づく教務事項に係る改正を行った。

(2) 履修規程

履修、成績評価、既修得単位等に関する規定を一部改正した。

[自己評価]

2023年6月時点で北海道内私立大学に調査したところ、大学設置基準の改正に伴う学則改訂を行った大学は少数であったが、本学では早期に改正をして運用できるようにした。

5. 中期計画の改訂

2024年度からの全学的な中期計画改正方針を受けて、教務委員会が担当する中期計画の柱建てを次のとおりに改正した。

Ⅲ：看護栄養学部における学修成果の向上及び教育質保証の推進

Ⅲ－1 ディプロマ・ポリシー到達に向けた教育の展開

Ⅲ－2 学修成果の可視化

[自己評価]

戦略目標ごとの課題については、教務委員会が毎年度に行う自己点検評価と一貫して設置し、PDCAサイクルを展開することができるように改正した。

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. アセスメント・ポリシーに係る調査方法等の点検・見直し2. カリキュラム運用における適正な実施及び点検・評価3. アクティブ・ラーニングの環境整備
---------	---

1. 教育課程
2) 看護学科

担当：看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施：DP、新カリの特徴の教育への反映と評価</p> <p>1) 2020年カリキュラム完成年度の評価と改善、2022年カリキュラムの効果的運用 ・モデルコアカリ、指定規則改正をふまえ、カリキュラムルーブリック、科目の評価 ・看護過程、臨床判断能力、地域包括ケアの教育の科目間の積み上げを検討し評価する</p> <p>2) 3P、カリキュラムルーブリックの学生への浸透と到達度評価を活用した改善 ・学年ガイダンスで、3P、カリキュラムルーブリック、到達度評価を浸透させる</p> <p>3) 理念教育の一環である行事/修養会の意義の確認と浸透、効果的な方法による実施 ・<u>新入生に自校教育の時間を設定（キャリアデザイン、ホームルーム活用）浸透させる</u> ・行事や修養会の意義を学生に浸透させる。修養会のあり方、効果的方法を検討する</p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実：主体的学習のための環境整備と学習習慣の獲得</p> <p>1) アクティブラーニング、ICT活用による自主学習時間の増加、学習習慣の獲得 ・図書館、実習室、情報処理室等学生の学習環境を整備し、授業等で主体的利用を推進 ・学習効果を高めるための施設設備備品の確認、<u>長期的な実習室の整備・購入計画立案</u></p> <p>2) <u>キリスト教的人間観に基づく全人的理解を基盤においた臨床判断能力の強化</u> ・全人的理解を基盤に臨床判断能力強化に向け授業実習を工夫し意識的に統合させる ・モデル活用係を中心にモデルの活用と臨床判断能力の積上、強化プログラムを作成</p> <p>3) 学習支援と生活支援の役割分担と教員間の連携による学生支援の強化 ・学生生活の適応を把握し、ポートフォリオ等を活用し、自己管理できるよう支援する ・健康状態、学習の準備状況を把握し、実習の配慮等の調整を行う</p> <p>4) 生涯学習の意識を育てる授業や関り、卒業生支援、ホームカミングデイの検討</p> <p>3. 教員の教育・研究能力の強化と研究推進の体制づくり</p> <p>1) 授業参観、アクティブラーニング、ICT活用等による主体的学習を促す授業の改善</p> <p>2) 研究推進体制強化のための業務の見直し、研究時間の確保、成果の公表の推進 ・研修日の利用システムを確認し、<u>研修日（半日～1日/週）を保証できるよう調整する</u> ・CNS活動日について情報収集し、システムとして設定できるように検討する ・<u>新任教員の育成や研修等指導・支援体制について検討、実施する</u> ・外部研究費、特別研究費などの研究費を各人、領域等で獲得できるよう支援する ・各人が目標をもち、学会発表、論文投稿、学会の参加など計画的に実施する</p> <p>4. 教育指導体制の充実：PDCAに基づく学科活動の推進、教育の質保証体制の構築</p> <p>1) <u>2024年看護学教育分野別評価受審に向け、学科全体での教育課程の評価と改善</u> ・分野別評価チームを中心に、2022年度評価から改善を加え、本審査の準備を行う ・地域における本学の役割を設置趣旨に述べる。本学の特徴、独自の取組を提示する</p> <p>2) 学部・大学院の教員体制、質保証体制の構築、教員業績評価の活用による改善 ・修士課程の強化、博士後期課程に向け <u>教員体制を整備、将来計画を人事方針にあげる</u> ・教員業績評価を活用した目標管理、自己評価による教育研究の質向上、活性化を図る</p> <p>5. 学生定員確保のための戦略の検討、長期的展望に基づく計画立案と各部署との連携</p> <p>1) 将来ビジョン、本学の特徴、アピールポイントの明確化、浸透方法の全学的検討</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4：教育課程・学修成果①～⑦</p> <p>基準6：教員・教員組織①～⑤</p> <p>基準7：学生支援①～③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>Ⅱ教育の質保証体制の構築 4. 特色を生かしたカリキュラムの編成・充実</p>
-----------------	---

	III研究業績の向上 IV教育に関するビジョンの構築 VI包括的な学生支援の充実
活動内容の評価	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施：DP、新カリの特徴の教育への反映と評価</p> <p>1) [活動内容] 2020年度カリキュラムの完成年度に向け改正の意図を踏まえ、DP到達度、モデルコアカリキュラムチェック等により確認を行い、到達度を評価した。 [活動内容に対する評価] カリキュラム評価に取り組み改善に向けて検討を続けていることは評価できる。看護過程、臨床判断能力、地域包括ケアの科目間の積み上げの検討は充分でできなかった。</p> <p>2) [活動内容] 各学年のガイダンスで、教育目標、3P、カリキュラムルーブリックを学生へ伝え到達度評価を浸透させた。各科目においてもDPの関連を意識して伝えた [活動内容に対する評価] 教員・学生に、教育目標、DP等を浸透させることができた。</p> <p>3) [活動内容] 理念教育について、各学年の修養会の意義を確認し企画段階から学生に伝えた。次年度の修養会は宿泊せず、目的を達成する方法を検討することとした。 戴帽式は、必要最小限の練習で、コロナ前に近づけながら実施した。新入生へは、親睦ゼミ、キャリアデザイン、ホームルーム等で理念を学生に伝えた。 [活動内容に対する評価] <u>修養会の意義を確認して、各学年で目標に向かって実施できたと評価する。行事の参加数が減少しており、宗教委員会との協力体制のもと、その在り方や周知を検討する必要がある。キリスト教的人間観を授業や日常的にどのように伝えていくかは、各教員に任されている。学生が興味関心をもち理念について考える学習や場面をどのように展開するか、教員相互の学習の機会を検討する必要がある。</u></p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実：主体的学習のための環境整備と学習習慣の獲得</p> <p>2023年度卒業生：94名、就職78名、進学16名（助産師10名、保健師6名） 3月末在籍状況：1年104（休学2）名、2年106（休学2）名、3年97（休学1）名、4年99（休学2）名、退学1年2名。国家試験合格者91名（合格率96.8%）</p> <p>1) [活動内容] 各授業でアクティブラーニングやICTを活用し学習時間を増やす工夫がされている。図書館、実習室、情報処理室、実習室等の学習環境は、利用し易い環境になっている。学習効果を高めるために実習室の備品を確認、購入計画を立案した。 [活動内容に対する評価] 主体的学習のための授業の工夫と自主学習の場の整備がされているのは評価できる。しかし、<u>狭い教室が多く、授業でアクティブラーニングを展開する環境の整備は課題である。</u>学生の主体的学習の実施状況は、さらに把握していく必要がある。</p> <p>2) [活動内容] 全人的理解を基盤に、臨床判断能力の強化するために、<u>電子カルテやモデルを活用して振り返りをする等の工夫をして意識的に学習させることができた。</u>[活動内容に対する評価] 各領域でICTを活用した授業や実習展開ができたことは評価できる。<u>臨床判断能力の積み上げ、強化プログラムの作成はできなかった。今後チームで検討したい。</u></p> <p>3) [活動内容] 支援教員と教務係との協働により、学生生活の適応を把握し、自己管理できるよう支援を行った。健康状態、学習状況を把握し、実習指導で配慮できた。</p>

[活動内容に対する評価]

学生の出席状況や課題提出状況等を把握し、支援できたことは評価できる。しかし、基本的な学習態度に課題のある学生もおり、内発的な学習意欲を育む必要がある

4) [活動内容]

キャリアデザインの授業で、大学院や生涯学習の内容を盛込んだ。

[活動内容に対する評価]

生涯学習の意識を育てる内容は、学生に刺激を与えることができた。卒業生支援、ホームカミングデイについては、実施できなかった。

3. 教員の教育・研究能力の強化と研究推進の体制づくり

1) [活動内容]

授業参観は、6件の授業が紹介され、授業参観を行うことができた。

アクティブラーニング、ICT活用等による主体的学習を促す授業の改善を実施した。

[活動内容に対する評価]

授業内容や授業展開について教員相互で学び合う機会を持つことができた。

2) [活動内容]

研修日は、博士後期等定期的に学外で研修が必要な場合は、届け出により確保した。CNS活動日について情報収集した。新任教員の声を聴く場を設定、要望をまとめ、相談体制を検討した。看護学科の2023年度科学研究費助成事業申請は9件、新規採択3件、継続6件、合計9件が助成を受けた。特別研究費の申請は0であった。紀要の投稿は昨年より増加した。学会参加や発表は、コロナ前に近い形で、できた。オンラインによる学会参加も可能となり、教員の学びの機会は増加した。

[活動内容に対する評価]

研修日は、授業の担当状況等により確保が困難な状況がある。全学的な研究推進体制の強化の議論が必要である。CNS活動日については、今後、検討する。科研費の申請は年々増加して、採択されるようになってきたことは評価できる。学会の参加や学会発表はされてきているが、さらなる研究の推進、論文投稿は、今後の課題である。

4. 教育指導体制の充実：PDCAに基づく学科活動の推進、教育の質保証体制の構築

1) [活動内容]

2024年看護学教育分野別評価受審に向けて、2022年度の評価から改善を加え、本審査の準備を行った。設置趣旨に地域における本学の役割を述べ、本学の特徴、独自の取組を明示できるように記述した。

[活動内容に対する評価]

分野別評価担当者を中心に全学の協力を得て、申請準備に取り組むことができた。これらのプロセスで明らかになった課題の改善に継続的に取り組む必要がある

2) 教員体制構築

2023年度は33名体制（教授8名、准教授8名、講師9名、助教9名）で活動した。博士後期在籍6名。産休育休（前期1名、後期1名、実習指導教員対応）。病休1名。

[活動内容]

2024年度の博士後期課程申請のために大学院の教員を確保した。

[活動内容に対する評価]

教員構成の欠員はなかったが、長期病休1名の対応ができず、課題となった。将来を視野にいれた計画的な教員配置、教育研究実績の積上げが必要である。

5. 学生定員確保のための戦略の検討、長期的展望に基づく計画立案と各部署との連携

[活動内容]

	<p>オープンキャンパスの模擬授業や出張講義など輪番体制により、教員が順番に広報活動に参加することができた。</p> <p>[活動内容に対する評価]</p> <p>学科全体で広報活動に参加できたことは評価できる。入学試験の応募者は、昨年よりも減少した。人口減少社会に対応した将来ビジョン、カリキュラム構築、本学の特徴、アピールポイントを明確にして、浸透させる方法を全学的に検討する。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施：カリキュラムの評価と新カリの検討必要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2020年カリキュラムの評価を踏まえ、現行カリキュラムを効果的に運用する。 2) <u>カリキュラム評価を踏まえ、人口減少時代に対応した新カリキュラムを構築する</u> 3) <u>理念教育のあり方を教員間で共有し、学生に浸透させる効果的な方法を検討する</u> 2. 主体性を育てる学生支援の充実：主体的学習のための環境整備と学習習慣の獲得 <ol style="list-style-type: none"> 1) アクティブラーニング、ICT活用等による <u>自主学習の増加、基本的学習習慣の獲得</u> 2) <u>キリスト教的人間観に基づく全人的理解を基盤においた臨床判断能力の強化</u> 3) 学習支援と生活支援の役割分担と教員間の連携による学生支援の強化 4) 生涯学習の意識を育てる授業や日々の関わり、卒業生の支援を検討する 3. 教員の教育・研究能力の強化と研究推進の体制づくり <ol style="list-style-type: none"> 1) <u>研究推進体制強化のための業務の見直し、研究時間の確保、成果の公表の推進</u> 2) 新任教員の育成や研修等指導・支援体制について検討、実施する 4. 教育指導体制の充実：PDCAに基づく学科活動の推進、教育の質保証体制の構築 <ol style="list-style-type: none"> 1) <u>2024年看護学教育分野別評価を受審し、学科全体で教育課程の評価と改善を行う</u> 2) 博士前期後期課程の今後を見据えた教育研究実績の積上げ、将来計画を立案する 5. 学生定員確保のための戦略の検討、長期的展望に基づく計画立案と各部署との連携 <ol style="list-style-type: none"> 1) 将来ビジョン、本学の特徴、アピール点を浸透させる方法を全学的に検討する

1. 教育課程

3). 栄養学科

担当：栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>2. 就職支援対策の充実</p> <p>3. 研究活動および社会・地域貢献の一環として地域連携の推進</p> <p>4. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ③④⑤⑥⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ④</p> <p>基準7 学生支援 ②③</p> <p>基準9 社会連携・社会貢献②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II：教育の質保証体制の構築 II-4 (1)</p> <p>III：研究業績の向上 III-1 (4)</p> <p>IV：教育に関するビジョンの構築 IV-1 (2)</p> <p>VI：包括的な学生支援対策の充実 VI-1 (1) (2) VI-2 (2)</p> <p style="text-align: center;">VI-3 (2) (3) (4)</p> <p>VII：地域連携と社会貢献の促進・充実 VII-1 (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>[活動内容]</p> <p>① 専門教育科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの充実を図るために、新カリキュラムの評価・検討は学部カリキュラム委員が中心になり実施している（継続）。 ・教育効果を高める授業展開を進め、学習成果の測定、カリキュラム評価は継続して実施した。 <p>② 臨地実習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習施設の確保と共に臨地実習内容・実習期間の検討を、臨地実習担当教員を中心として学科教員全体の協力体制のもと実施した。 ・臨地実習施設担当者対象の研修会・意見交換会の計画・実施 <p>臨地実習施設側と本学との連携強化を進め、学生の学習効果の向上のために、2024年2月27日研修会を実施した。</p> <p>③ 管理栄養士国家試験受験の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年より1名抜粋した国家試験WGのメンバーを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討・実施した。具体的な対策として、成績不振者に対し、夏期休暇前は国家試験WGメンバーによる、冬期休暇学科前からは学科長、支援教員による、個々の試験対策に向けた個別指導を月1回ペースで行った。 <p>④ 正課外教育である修養会や大学行事への参加率の学年差異がある状況を踏まえ、参加を促し、支援教員が中心となり内容の充実（修養会）を図った。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>① 専門教育科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの評価の検討は、学部カリキュラム委員が中心になり実施しており、問題

点を挙げる等、学科会議への提案がされカリキュラムツリー（案）も作成されたことは評価できる。

② 臨地実習について

- ・臨地実習に向け新規開拓、あるいは再開要請にて実習先を確保できたことは評価できる。
- ・次年度に向け臨地実習WGを中心に、今年度の臨地実習全体の意見交換を実施、問題点・課題の検討を行ったことは評価できる。
- ・臨地実習施設側と本学との連携強化を進め、学生の学習効果の向上のために、2024年2月研修会の計画・実施し参加実施施設は29施設となり、参加施設からも高評価を得ている。

③ 管理栄養士国家試験受験の支援について

- ・前年度同様、模擬試験1・2回目の結果から、成績不振者20名を抜粋し苦手な科目を中心に7・8月から、WGによる個々の試験対策（個々の苦手な科目を重点的に）に向けた個別指導を月1回ペースで行った。模試前では課題の提案を、模試後は自己評価と不得意課題の解決に向けた提案を行い、学生と共に課題へ取り組むことで学生のモチベーションも向上した。学生の進捗状況を確認しながらの指導は効果的だったと考える。しかしながら、模擬試験結果が全国平均点より学内平均点は高くなったのは、5回目（前年度3回目）以降であったことから、次年度の体制については検討とする。

- ④ 正課外教育である修養会に対しては、前年度と比較し時間を延長する等、内容の充実を図り、学生アンケートも高評価であった。

2. 就職支援対策の充実について

【活動内容】

- ・学科の就職委員及び学生支援教員と連携して活動を行った。

【活動内容に対する自己評価】

就職委員から学内での会社説明会を積極的に実施し、学生への参加を促し、幅広い分野での就職先を開拓した。学生支援教員を中心に個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施し、特に専門分野ごとに希望する施設の概要、面接指導、提出する書類等のアドバイス等を個別に行った。昨年同様、企業施設からの求人数は少ないながらも求人施設の内定者は天使大学学生がほぼ占めている。2月21日現在の内定率82.4%（前年度2月21日80.3%）は評価できる。

3. 研究活動および社会・地域貢献の一環として地域連携の推進

【活動内容】

- ・科学研究費1件の採択、日本医療研究開発機構1件での共同研究を行っている。
- ・個人としては論文9件、講演9件、シンポジスト2件、学会発表等16件
- ・道民の課題を解決するための共同プロジェクトとしてHTB、イオン北海道との「どうみん健康化計画プロジェクト」を継続して実施。
- ・北海道庁が関係機関と連携して推進する「ほっかいどうヘルスサポートレストラン推進事業」に協力し、登録飲食店等に掲示する栄養・食生活に関する普及啓発ツールを作成し、道民の健康づくりを支援
- ・札幌市東区役所と連携して市民の健康づくりを支援①広報さっぽろ東区版へのレシピ掲載、②東区役所食堂の定食メニューの考案
- ・セイコーマートとの共同研究で、コンビニ食を活用し健康に配慮したレシピをセイコーマートのwebサイト・ちらしに掲載し地域住民に広く発信した。
- ・北海道農政事務所と連携し、食育に関する普及啓発ツール（野菜のPRポップ）を作成し、道民の健康づくりを支援

【活動内容に対する自己評価】

個人の論文や学会等の講演、発表が増えてきたことと、地域連携の推進事業活動が増えてきたことは評価する。

4. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める

[活動内容]

- ・学科の広報委員を中心に他学科教員と連携して活動を行った。学科会議にて、受験者増に向けた検討を行った。
- ・総合型選抜試験の実施案の提案と作成

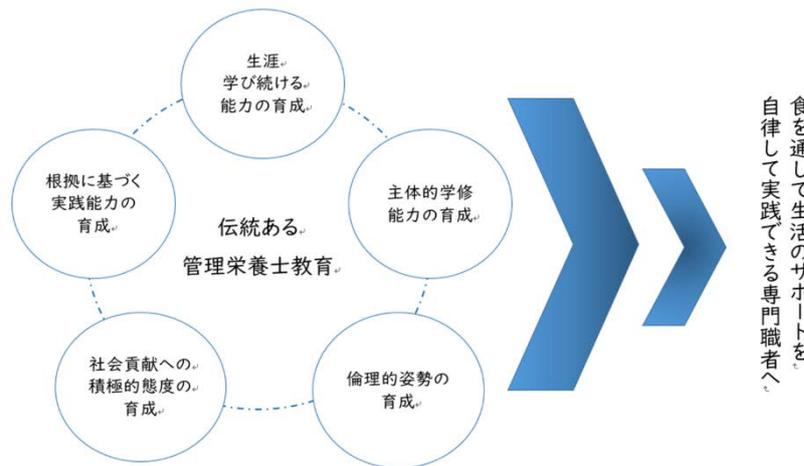
[活動内容に対する自己評価]

・昨年度作成したオープンキャンパスや高校訪問時用のプレゼンを使用し工夫しながら、出張講義へ積極的に行った。広報活動に対する提案等を行った。受験者増に対する検討を行い提案・実施（総合型選抜試験の実施案完成）は評価する。

5. 栄養学科の将来ビジョン案の作成に向け、WG を中心に検討を進める。

[活動内容]

・WG を中心に提案、検討されイメージ図、骨子（生涯学び続ける能力の育成、「主体的学修能力の育成」、「倫理的姿勢の育成」「社会貢献への積極的態度の育成」、「根拠に基づく実践能力の育成」）が示された。



[活動内容に対する自己評価]

・今後の栄養学科の方針を栄養学科教員で確認できたことは評価できる。

次年度への課題

1. カリキュラム委員会と連携をし、栄養科教員全員で 2020 年度から開講された新カリキュラムに向けた取り組みを行い、カリキュラムの充実を図りたい。
2. 将来ビジョンWG を中心とし将来ビジョン構築に向け栄養科教員全員で取り組んでいきたい。
3. 国家試験対策WG を中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策についてさらなる検討し、合格率 100% を目指す。今年度での結果が期待値であったならば、継続して 2023 年度と同様の対応をしていく。

1. 教育課程

3) 栄養学科－教職課程

担 当： 教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を円滑に実施する。 2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。 3. 外部との連携による教職課程のPRと地域貢献を行う。 4. 教職課程の自己点検・評価等を確実に実施する。 5. ICT活用能力の向上を図るため、授業におけるICT活用を推進する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織－②、 基準4 教育課程・学習成果－②～⑦ 基準5 学生の受け入れ－①、基準6 教員・教員組織－②、④ 基準7 学生支援－①～③、 基準9 社会連携・社会貢献－②</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番号記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ－3(3)、 戦略目標Ⅳ－3(5)、 戦略目標Ⅶ－1(6)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を円滑に実施する。 <u><基準4－②～⑦> <基準7－①～③> 戦略目標Ⅳ－3(5)</u></p> <p>[活動内容1.1] 現場の栄養教諭による授業(講演)の実施(4年次生対象)</p> <p>[活動内容に対する自己評価1.1] 4年次生対象の「栄養教育実習事前事後指導」と「教職実践演習」で合計3名の特別講師(現職の栄養教諭)による授業を実施し、現場理解と教員としての自覚を高めた。</p> <p>[活動内容1.2] 外部との連携による教育の充実 <別紙1参照></p> <p>[活動内容に対する自己評価1.2] 3年次生対象の「教職総合演習」において、石狩市学校給食センターでの見学と体験活動、及び特別講師2名による授業を実施して学生の意識を高めた。特に直近の卒業生による講話は効果的だった。</p> <p>[活動内容1.3] 北海道大学での農場体験、農作物の収穫・搾乳体験(1年次生対象)</p> <p>[活動内容に対する自己評価1.3] 2022年度は2種(果樹収穫・搾乳)の農場体験であったが、2023年度はコロナ禍前の5種の農場体験ができた。具体的には、果樹収穫・搾乳・田植え・稲刈り・農作物(ジャガイモ・トウモロコシ・枝豆)収穫体験と学内に戻っての調理実習であり、学生への教育効果は非常に高かった。</p> <p>[活動内容1.4] 小学校での夏休みインターンシップ体験(2年次生対象・正課外) ・連携学校:札幌市立の美香保・新琴似・北光小学校</p> <p>[活動内容に対する自己評価1.4] 21名の履修者中16名が参加し、大変有意義な体験活動となった。</p> <p>[活動内容1.5] 学外での栄養教育等体験 ・小学校授業参観(1年次生「教職概論」、札幌市立北光小学校) ・石狩市学校給食センター参観(3年次生「教職総合演習」、再掲)</p> <p>[活動内容に対する自己評価1.5] 小学校授業参観では、授業の様子や、児童の受け答え・反応などをしっかり観察して、栄</p>

養教諭を志望する意欲が高まった。

石狩市学校給食センター参観では、給食を作る現場を体験し、責務をしっかりと理解し、栄養教諭としての自覚を一層高めることができた。

[活動内容 1. 6]

履修カルテ活用の充実

- ・履修カルテ活用の点検・充実

[活動内容に対する自己評価 1. 6]

7月に「教職概論」を活用して1年次生に履修カルテの記入・活用のガイダンスを実施するとともに、記述方法の指導を行った。1・2月には全学生の記入状況を点検した。

また、12月に3年次生対象に履修カルテを活用した面接を行い、4年次生の「栄養教育実習事前事後指導」と「教職実践演習」では履修カルテを活用した授業を行い、学生に履修カルテを活用する意識を高めた。

[活動内容 1. 7]

教員採用試験対策ゼミの実施 <別紙1参照>

- ・教員採用試験ガイダンスⅡ（4月、4年次生対象、12名参加）
- ・1次直前ゼミ（5月、4年次生対象、3日間、8名参加）
- ・2次直前ゼミ（7～8月、4年次生対象、5日間、6名参加、就職委員会と連携）
- ・教員採用試験ガイダンス（11月、3年次生対象、1日間、2名参加）
- ・教員採用試験ガイダンス（12月、3年次生対象、1日間、2名参加）
- ・春期ゼミ（2月、3年次生対象、4日間、5名参加）

[活動内容に対する自己評価 1. 7]

全てのガイダンスおよびゼミが対面で予定通り実施できた。また、令和6年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援等は、就職委員会・学務課のご支援と、栄養学科・教養教育科の教員、外部講師にご協力をいただき実施した。1次合格者8名中4名が採用登録となった。内訳は、北海道における本学現役受験者は1次合格者3名中2名が登録、合格率は66.7%であり、登録者全体の現役学生の占有率は11.1%であった（前年度は現役2名と過年度生1名が登録、占有率8.8%）。また、札幌市における本学現役受験者は1次合格者4名中2名が登録となり、合格率は50.0%、登録者全体の現役学生の占有率は40.0%であり、採用枠5名中2名の合格となった。（前年度は現役2名が登録、占有率66.7%）。札幌市における占有率は昨年度よりは低下したが、これは札幌市の採用枠が増加したためであると分析した。

2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。

<基準5-①>

[活動内容 2]

教職課程科目の履修を希望する科目等履修生の受入れと支援

[活動内容に対する自己評価 2]

本学の卒業生を2名受け入れ、栄養教諭免許状取得の単位修得を支援した。

3. 外部との連携による教職課程のPRと地域貢献を行う。

<基準9-②> 戦略目標Ⅶ-1(6)

[活動内容 3. 1]

サッポロさとらんどにおける栄養教育体験・ボランティア活動
（3年次生「教職総合演習」）

[活動内容に対する自己評価 3. 1]

サッポロさとらんどにおける活動は、昨年度に引き続き実施した。食育に係る展示パネ

	<p>ルを作成・展示するとともに、会場での発表を行い、観客や会場担当者からは、大変好評であり、学生への教育効果も高かった。</p> <p>[活動内容 3. 2]</p> <p>サークル活動やボランティア活動の奨励</p> <p>[活動内容に対する自己評価 3. 2]</p> <p>栄養教諭としてのコミュニケーション力や実践力を高めるために、サークル活動や NPO 等でのボランティア活動を行うよう、1 年次から奨励している。栄養教諭に合格する割合も、これらの経験者が 8 割以上を占める現状があり、今後とも奨励していく。</p> <p>4. 教職課程の自己点検・評価等を確実に実施する。</p> <p><u><基準 3-②> <基準 6-②、④> 戦略目標Ⅱ-3(3)</u></p> <p>[活動内容 4. 1]</p> <p>教職課程 FD 研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時：2024 年 1 月 23 日 14：50～16：20 ・演題：「小学校における効果的な ICT 活用と大学教員の教材作成上のポイント」 ・出席者：35 名 <p>[活動内容に対する自己評価 4. 1]</p> <p>教育機関に勤務をする者として、実際の教育現場に即した ICT 教材の効果的な活用法を学び、大変有益な研修会となった。</p> <p>[活動内容 4. 2]</p> <p>自己点検・評価の実施と評価結果の公開</p> <p>[活動内容に対する自己評価 4. 2]</p> <p>1 月下旬～2 月上旬にかけて教職課程の 2～4 年次学生と教職員を対象とした自己点検・評価を実施した。評価結果を 3 月の委員会で分析し学長に報告するとともに、3 月末頃に、その結果を本学ホームページで公開予定である。なお、全国私立大学教職課程協会から 2023 年 5 月末に認証を受けた。</p> <p>5. ICT 活用能力の向上を図るため、授業における ICT 活用を推進する。</p> <p><u><基準 4 教育課程・学習成果-②～⑦> 戦略目標Ⅱ-3(3)</u></p> <p>[活動内容 5]</p> <p>栄養教諭の教職課程では実施が義務付けられていない「教育における ICT 活用論」を 2023 年度から開講するとともに、「教職実践演習」においても ICT を活用した授業を実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価 5]</p> <p>一層の ICT 活用を促進するため、「教職課程 FD 研修会」で ICT 活用に係る研修を実施（前掲）するとともに、学生に ICT を活用する意義等の指導を行った。</p> <p>また、教育実習の巡回等で教育現場における ICT 活用事例を視察して得られる情報を共有し、授業改善に取り組んでいくことを委員会で確認した。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教諭養成のための教育を円滑に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程委員会業務の円滑な実施と分担の均一化を図る。 2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・科目等履修生への指導・支援を強化する。 3. 外部との連携による教職課程の PR と地域貢献を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職総合演習（3 年次生対象）において、地域行事に参加し大学の PR と地域の活性化に貢献する。 4. 教職課程の自己点検・評価、FD 研修会等を確実に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程 FD 研修会を実施する。

	<ul style="list-style-type: none">・教職課程履修学生を対象とした自己点検評価アンケートを実施する。・教職課程科目担当教員および事務担当者を対象として自己点検評価を実施する。・自己点検・評価報告書を作成して教職課程の質保証・向上に役立てるとともに、全国私立大学教職課程協会の様式に基づき、自己点検評価報告書を作成し、結果をホームページに公表する。 <p>5. ICT 活用能力の向上を図るため、授業における ICT 活用を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none">・関連科目において授業を工夫し、学生が積極的に ICT 活用能力を実践できるよう環境整備と教育の充実を図る。
--	---

2023年度 教職課程委員会の行事等一覧

<別紙1>

(最終確定版)

<2023.4.27 教職課程委員会検討>
<2024.2.16 同 実施状況報告>

区分名	期日	時間	行事名	対象者など	担当者1	担当者2	備考
ガイダンス 履修カルテ	4月6日(木)	12:30~13:00	栄養教諭教職ガイダンス	1年次生	長谷川	神田	希望者:新入生オリエンテーション内
	4月13日(木)	13:10~13:40	教職課程履修の手引ガイダンス	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内)
	6月中旬まで		履修カルテ原稿確認・印刷・配布	1年次生	新井	金吉	
	7月27日(木)	13:10~13:40	履修カルテの活用・記入方法ガイダンス	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内)
	1月~2月初旬		履修カルテの記入点検・確認	1~4年次生	新井	神田	
栄養教育実習	5月29日(月)~6月9日(金)		栄養教育指導の巡回指導等	4年次生	教職課程委員全員 +栄養学科教員		科目責任者:蜂谷 事務業務:星
北大農場 体験等	5月20日(土)	9:30~11:30	田植え	1年次生	新井	神田	土曜開講日
	7月20日(木)	13:10~14:10	収穫体験1	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内)
	8月30日(水)	9:30~11:30	収穫体験2	1年次生	新井	神田	
	"	11:40~14:00	調理実習	1年次生	蜂谷・金吉	長谷川	学内の実習室
	9月8日(金)	15:10~17:10	搾乳体験	1年次生	新井	神田	
	9月16日(土)	9:30~11:30	稲刈り	1年次生	神田	長谷川	
	11月初~中旬 中止:★	12:15~13:00 ★:中止	お米の味くらべ	1年次生	長谷川	蜂谷	お米の講義の後
	11月初~中旬 中止:★	10:30~13:30 ★:中止	北天の先生によるお米の講義	1年次生	長谷川	蜂谷	4年次生補助
サッポロさとらんど 栄養教育	10月15日(日) ※13日(金)搬入	10:00~16:00	サッポロさとらんど 新米・新そばフェアにおける栄養教育発表会	3年次生	長谷川	授業担当者全員	日程や内容の打合せ:6月中 教職総合演習受講者(授業内)
インターンシップ	8月28(月)~9月8日(金)のうちの1週間	8:15~15:30	学校インターンシップ ・北光小学校 ・美香保小学校 ・新琴似小学校	2年次生	新井・長谷川 二宮	星	・4月下旬学校訪問 ・5月初旬:2次調査 ・5月中旬:学校決定 ・6月初旬:依頼文書発送 ・実習中:学校訪問
外部人材・地域を活用した特別講義・見学等	4月21日(金)	15:00~16:20	栄養教育実習事前事後指導	4年次生	新井		・講師:佐藤涼可先生(栄養教諭) (札幌市立陵北中学校)
	7月6日(木)	13:10~14:30	北光小学校の見学	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内)、今後交渉
	11月10日(金)	14:50~16:20	教職実践演習(1)	4年次生	長谷川	新井	・講師:石川恵美先生(栄養教諭) (伊達市立伊達西小学校)
	1月9日(火)	14:50~16:20	教職実践演習(2)	4年次生	長谷川	新井	・講師:白崎佳美先生(栄養教諭) (前北海道札幌伏見養護学校)
	10月12日(木)	9:00~12:10	教職総合演習:石狩市学校給食センター見学	3年次生	長谷川	授業担当者全員	・講師:宮原三希恵先生(栄養教諭) 中村明日香先生(栄養教諭)
教員採用 対策	4月11日(火)	15:40~16:20	教員採用試験ガイダンスII	4年次生	星・西川	新井	・東京アカデミー講話・資料 ・依頼:学務課西川、 ・願書配布・説明:星、ゼミ等の説明:新井
	5月23日(火)	13:10~15:40	1次直前ゼミ	4年次生	新井		教採1次が早まると実施できない(2024年度)?
	5月25日(木)	14:50~17:20	1次直前ゼミ	4年次生	新井		次年度の実施は、今後検討する。
	5月26日(金)	13:10~15:40	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	6月19日(月)	15:00~16:00	自己採点・教員採用2次ガイダンス	4年次生	新井	長谷川	・自己採点資料手配等:学務課西川 ・2次対策資料配付:新井
	7月24日(月)	13:10~18:00	2次直前ゼミ	4年次生	教職課程委員全員 +栄養教育科教員 +栄養学科教員 +講師		・2023年度は、講師依頼は5月、教員依頼は6月に行い、素案は7月初旬に完成した。 ・計画の確定は7月中旬の1次合格者発表後で、2023年度は7名が1次合格して1名辞退で、6名が面接を希望した。 ★教採試験は2024年度から早期化する。その場合授業と重複し教員対応が難しくなり、外部講師の比重が高まる可能性はある。 ★新井退職に当たり、誰が計画担当者になるかの検討が必要である。
	7月25日(火)	8:50~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月28日(金)	13:10~18:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月31日(月)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	11月21日(火)	14:50~16:20	教員採用試験ガイダンス	3年次生	二宮		・学生連絡等:神田
	12月19日(火)	10:40~12:10	教員採用試験ガイダンス	3年次生	新井	神田	・東京アカデミーの講話など ・依頼:学務課西川
	12月19(火)~22日(金)で調整	10:40~14:30	3年次生面接指導(進路希望等の確認)	3年次生	神田	教職課程委員全員	・日程調査と計画作成、実施日(12月21日(木))に実施した。
	2月初旬~2月中旬の4日間	9:30~12:00	春期ゼミ	3年次生	新井	長谷川	2023年度は、2月8日、9日、13日、14日の4日間で実施した。

※1: 北大関係は、北大に打診して確定する。

※2: 教職総合演習におけるサッポロさとらんどのは、2022年度から復活し、実施日は10月中旬である。

※3: 教員採用対策は、2023年度の実施要項に準じた日程である。2024年度は日程変更の調整が必要となる。

1. 教育課程

4) 教養教育科

担当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 初年次教育関連</p> <p>(1) 英語 習熟度別授業を実施し、各学生の英語力にあった指導を行うことで学生一人一人の英語力の増強を図る。</p> <p>(2) 共通基礎教育科目 高等学校の教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。</p> <p>(3) 専門基礎科目との連携 現行の教育課程の下、効果的な連携を目指す。</p> <p>2. 教職課程関連 栄養学科の教職課程への連携・協力をおこなう。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織 ①②</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ③～⑦</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>IV-1 (3)、VII-3 (1)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 初年次教育関連 (入学前教育・導入教育を含む)</p> <p>[活動内容]</p> <p>(1) 英語：新型コロナウイルスの感染防止に配慮した上で、新入学生に対しプレイスメントテストを実施し、習熟度別クラス編成のために活用した。また、前・後期末に到達度テストを実施し、到達度を測定した。</p> <p>(2) 共通基礎教育科目：</p> <p>1) 化学・生物学… 新入学生に対し、4月に診断テストを実施し履修指導に活用した。推薦・一般選抜入学予定者に対し、自学自習を促す問題集を配布した。また、推薦入学予定者には答案を提出させ、2月中旬に添削して返却した。</p> <p>2) 基礎学修演習… 多教室をオンラインで連結し、各教室に教員を配置した上で、対面授業により授業をおこなった。</p> <p>(3) 専門教育科目との連携：カリキュラム・マップに従い、教養教育科目群の各授業を実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>昨年度よりも、新型コロナウイルス感染防止の対応が、より対面授業を可能とする内容となり、現行教育課程における所期の目的を達成できつつあることは評価できる。ただし、未だ、時間割編成の困難さから土曜日開講や遠隔授業などが残り、これらは今後の課題である。</p> <p>2. 教職課程関連 (教職課程委員会にて別途、自己点検評価をおこなう。)</p> <p>3. その他</p> <p>[活動内容]</p> <p>本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」について、教育プログラム(リテラシーレベル)として認定され、着実に実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>本学の教育プログラムが「リテラシーレベル」として認定されたことは評価できる。また、計画されたプログラムを着実に実施できたことも評価できる。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 初年次教育関連（入学前教育・導入教育を含む）の実施、専門教育科目および栄養学科の教職課程との連携・協力を継続する。2. 法人統合後の（大学）中期計画および、客観的指標調査などを踏まえ、今後の教養教育科のあり方について検討を継続する。3. 本学の「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム」について、着実に実施する。
---------	---

1. 教育課程

5) 看護栄養学研究科

担当：看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 将来ビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部卒業生の進学機会の拡大に向けた大学院体制の検討（教員体制の整備） ・ 看護栄養学研究科としての特色の明確化 課程毎のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを作成し公表している。これらから修了時に身に付けられる能力について具体的に示し、課程の特色として分かりやすく広報していくことを検討する。 ・ カリキュラム評価のPDCAサイクルの確立 アセスメント・ポリシーを作成し、学生の学修成果の評価について達成すべき質的水準とその評価の具体的実施方法を定める。内部質保証推進委員会と連携し PDCA サイクルを確立する。 <p>2. 教育課程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カリキュラムの評価と新カリキュラムの検討 2) アセスメント・ポリシーを作成する。 <p>3. 大学院生定員確保のための対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学院の広報活動（広報委員会、入試広報室との連携） <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院ホームページの見直しと充実（専攻分野等の紹介） ・ 大学院説明会の実施、公開授業、特別講義等の実施 ・ 科目等履修制度を利用して大学院教育を体験できるように検討 ・ オープンキャンパスでの大学院のPR、大学院ブースの設置、大学院生の活用 ・ ホームページに大学院に関する記事の掲載 ・ 大学院生募集のPR（大学院看護栄養学研究科の案内送付） ・ 実習指導者会議、実習巡回時等の機会を活用してのPR、大学院案内、募集要項の配布等 ・ 学部生の進学支援の推進。奨学金制度の拡充案の策定と他大学院の情報収集。 <p>4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院生 PC ソフトのバージョンアップ等についてワーキンググループを立ち上げ検討を行う。 2) 院生学習室の備品等の購入検討 3) Zoom、Google Classroom 等を活用した授業・単位認定と評価 4) 図書館保存修士論文について院生が閲覧する際の手続きの整備 5) 職業実践力育成プログラム認定制度（文科省）の申請の検討 <p>5. 教育実践・研究活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護栄養学研究科としてのFDの企画・運営 2) 看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上 3) 両専攻の協働研究・協働事業の検討 <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ①-⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①-④</p> <p>基準7 学生支援 ①-③</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>Ⅱ-3 3ポリシーとアセスメント・ポリシーの明確化（1）（2）</p> <p>Ⅱ-4 特色を生かしたカリキュラムの編成・充実（1）</p> <p>Ⅱ-5 学修成果の可視化（4）</p>
-----------------	---

	<p>II-6 FD・SD活動の充実、強化（1）</p> <p>IV-1 学部・大学院の将来ビジョンの再構築（4）</p> <p>V-1 学生の受入れ拡充（3）</p> <p>V-2 入学者選抜への対応（4）</p> <p>VI-1 学生支援策の充実（2）（3）</p> <p>VI-3 キャリア支援の充実・強化（1）（2）</p> <p>VII-1 地域との連携（5）</p>
活動内容の評価	<p>1. 将来ビジョン</p> <p>[活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学専攻においては、前年度3月に設置認可申請を行った博士後期課程が認可され、次年度4月からの開設に向けて学内諸規定の整備、第1回入学者選抜を実施した。アセスメント・ポリシーについては、認可された博士後期課程を含め、その作成には至らなかった。 栄養管理学専攻においてはアセスメント・ポリシーの作成には至らなかったが、博士前期課程・後期課程におけるリサーチルーブリックの運用を行い、今後はリサーチルーブリックの評価を行う予定である。 <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学専攻においては、博士後期課程の設置が認可され、次年度より修士課程を博士前期課程に改めることと併せて大学院としての体制を整えることができた。また、博士後期課程の開設に伴い、4月より4名の特任教授を迎える予定であり、教員体制の充実を図ることができた。 栄養管理学専攻において、社会人のみならず、学部生に魅力ある大学院についてさらに検討していく必要がある。 看護栄養学研究科としての特色の明確化については、3つのポリシーを作成し、これに基づいた教育の推進を今後も継続する。 <p>2. 教育課程</p> <p>1) 新カリキュラムの検討</p> <p>[活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学専攻においては、現行カリキュラムの見直し等の検討を踏まえた新カリキュラムの検討は行っていない。 次年度より博士後期課程のカリキュラム開始に伴い、博士前期課程と合わせて開講スケジュールの調整を実施した。 栄養管理学専攻は博士前期課程の選択科目の整理を行い、2023年度から新カリキュラムの運用を開始した。また、博士後期課程のカリキュラム変更を行い、2024年度から実施する予定である。 次年度より看護学専攻博士後期課程の開設、修士課程の名称を博士前期課程に改めること等により、看護栄養学研究科の履修要項の構成、学位論文審査体制の見直しを行った。 <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学専攻では、次年度4月からの博士後期課程の開設に伴い、必要な事前準備を進めることができた。今後は運用する中で必要な検討を継続していく必要がある。また、博士前期課程の現行カリキュラムについて今後見直しを行い、新カリキュラムの検討についても進めていく必要がある。 栄養管理学専攻が新カリキュラムの運用を開始出来ることを評価する。今後もより良いカリキュラム構築を目指す。 <p>2) アセスメント・ポリシーを作成する</p> <p>[活動内容]</p>

・教育課程の PDCA サイクルの確立については、内部質保証推進委員会と連携し、アセスメント・ポリシーの検討を行ってきた。

[活動内容に対する自己評価]

・アセスメント・ポリシーの完成には至っていない。2024 年度も継続し体制整備を行う必要がある。

3) 現行カリキュラムに関する検討

[活動内容]

・看護学専攻では、前年度から引き続き高度実践看護師コースのディプロマ・ポリシー(DP)到達度ループリック(自己評価表)の検討を行った。

・北海道大学大学院と共通する非常勤講師の講義における合同実施の検討について、事務局にて対応・検討した結果、「連携開設科目として実施できない限りは大学院設置基準第 11 条第 1 項に抵触するため合同実施はできない」との報告が研究科委員会できなされ、合同実施に向けた体制の整備につながらなかった。

[活動内容に対する自己評価]

・看護学専攻では、今年度は高度実践看護師コースの DP 到達度ループリックを完成させることができた。

・他の大学院との講義の合同実施に向けては、大学間協定や合同講義の規定等を整備する必要があるなど具体的な検討課題を明確にし、今後進めていく必要がある。

3. 大学院生定員確保のための対策

1) 大学院の広報活動(広報委員会、入試広報室との連携)

[活動内容]

・看護学専攻では、保健師コースのオープンキャンパスを 2 回実施し、修士論文コース・高度実践看護師コースは個別相談会を 2 回開催した。また、大学院生募集のチラシの作成・配付を行った。

・更に、学部 3 年生を対象に本学大学院保健師コース進学相談会を 2023 年 12 月 22 日に実施した。参加者は 14 名であった。学部生に対しては「地域看護学」や「ヘルスプロモーション活動論」(選択科目・履修者 26 名)などの講義を通じて保健師の活動の実際を紹介し、保健師コースの院生と交流する機会もあるなど、関心が高まるような授業を展開した。

・栄養管理学専攻は学部生を対象に院生募集のチラシを作成し配布した。

・栄養学科の学生と外部者を対象とし、大学院進学説明会を 8 月 18 日に開催し、栄養学科 2 名(1 年生)、栄養学科の卒業生 3 名の参加があった。

・2024 年度入学者選抜の結果、看護学専攻は博士前期課程修士論文コース小児看護学領域に 3 名、高度実践看護師コースのホスピス緩和ケア看護学領域に 1 名、在宅看護 CNS 領域に 1 名、保健師コースに 7 名が合格した。博士後期課程には 6 名が合格した。栄養管理学専攻は博士前期課程に 5 名、博士後期課程に 2 名が合格した。

[活動内容に対する自己評価]

・保健師コースについては、学部講義との連動が大きく、講義を通じて保健師への関心の高まりや進学動機にもつながっていると考えられる。更に大学院への進学者が増加するように、大学院生が学部生のロールモデルとなるよう交流の機会を今後、拡大していく方向で検討する。

・栄養管理学専攻の大学院説明会等は参加者が増加傾向だが、さらに周知が必要だと感じた。しかし、学外者の参加は例年よりも多く、入学への意欲が感じられた。

・2024 年度入学者選抜の結果を踏まえると、看護学専攻は引き続き修士論文コース、高度実践看護師コースの広報活動を検討していく必要がある。

・栄養管理学専攻は次年度の入学者数が定員を満たすまで増加したことは評価できる。入学

	<p>予定者は学部からの進学1名を含むが社会人が多い状況であった。次年度も学部生への広報を強化したい。</p> <p>4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <p>[活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習環境整備として、看護学専攻では院生学習室PCの統計ソフトSPSSのアップデートのためBase Ver. 29を1台分購入し、インストールした。また、量的研究を行っている院生が最新バージョンのSPSSが使用できるよう、情報処理室の協力のもとパソコンの入れ替え等を行った。栄養管理学専攻では、統計ソフトSPSSのアップデートを解析用PC2台に行った。 ・次年度4月からの看護学専攻博士後期課程の開設に伴い、院生学習室整備ワーキングにて必要な整備と新たな使用方法を検討した。次年度より院生学習室は専攻別ではなく、博士前期課程と後期課程に分けた配置とし、全席自由席とする。院生の物品を保管するための鍵付き個人ロッカーを院生室内に設置し、在学生に割り当てることとした。院生学習室の配置変更等の整備は、2月後半の2週間で実施予定である。 ・院生学習室のPC管理・整備は、図書情報課(情報処理室)が、両専攻と調整を行い対応することとなった。 <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院生学習室のスペースとソフトウェアの有効活用に向けて、整備を進めることが出来たことは評価できる。今後は院生の意見を吸い上げ、よりよい学習環境の整備を行う必要がある。 <p>5. 教育実践・研究活動</p> <p>[活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科としてのFD第1回(栄養管理学専攻担当)として、2月16日「人を対象とした栄養学の基本としての食事調査法―食を測るとは―」東京大学 大学院 医学系研究科 栄養疫学・行動栄養学講座 特任教授 村上健太郎 先生の講演を行った。ハイブリット方式で実施し、学内教職員41名の参加(2月22日時点)があった。 ・FD第2回(看護学専攻担当)2月19日「質的研究方法論～『質的研究をめぐる10のキーエスチョン』に基づいて～」宮城大学 人間・健康学系 看護学群 教授 谷津裕子先生のZoomによる講演を対面または録画視聴の方法で実施し、41名(学内教員40名、院生1名)の参加(2月22日時点)があった。 <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会を実施し、教員の見識を高めるために貢献できたと評価できる。 ・看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上と両専攻の協働研究・協働事業の検討は進展がなかった。今後も継続して検討を行うこととする。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の拡充案の検討を進める。 2. 看護学専攻では、修士論文コース、高度実践看護師コース、保健師コースの3コースが明確にわかるように、配布物やHPの整備に取り組む。 3. 内部質保証システム整備のための実質的な検討として、教育課程のPDCAサイクルを確立する。 4. アセスメント・ポリシーの専攻毎の検討と策定を早急に行う。ディプロマ・ポリシーに明示した学修成果についての適切な把握および評価について検討する。 5. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の負担軽減のための方策を検討し、両専攻の協働研究・協働事業の進展につなげる。 6. 看護学専攻博士後期課程を円滑に運用し、質の高い教育、研究活動を展開する。

1. 教育課程

6) 助産研究科

担 当：助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職大学院としての適切なカリキュラムの運用 2. 適切な実習施設の確保、新規開拓 3. 教育指導体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教員及び実習指導教員、臨床指導者の教育能力の向上を図る ・教員体制の充実（臨床専任教員との情報共有、実習指導教員の確保） 4. 院生の支援活動 5. 教育課程連携協議会の開催 6. 日本助産評価機構による認証評価受審 7. カリキュラム改正準備 8. 社会貢献 9. 助産研究科開設 20 年記念誌の作成 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 4、基準 5、基準 6、基準 7</p> <p>(日本助産評価機構)</p> <p>1-2、2-1・2・3、3-1、4-1・2、5-1・2、7-1</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>Ⅱ-1・2・3・4・5・6、Ⅲ-1、Ⅳ-1、Ⅴ-1・2、Ⅵ-1・2・3・4、Ⅶ-2、Ⅷ-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職大学院としての適切なカリキュラムの運用 <p>[活動内容]</p> <p>基礎分野カリキュラムおよび教育計画に基づいた講義、演習、実習を実施した。 教育分野開講無し。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での海外実習休止を経て3年ぶりに「国際助産学実習」を実施し、教育効果を高められたことは評価できる。 (実習訪問国：ニュージーランド、科目選択院生8名、教員3名) ・「子育て支援論演習」において学内で子育てサロンを企画・実施し、参加した保護者と子どもに高評価を得られた。学習効果が高い演習であったと評価できる。 ・「健康教育論Ⅱ」においてweb 両親学級を企画・作成し社会に発信した。動画視聴回数が多くあったことは高い学修成果と評価できる。 ・「性教育実習」において高校3年生女子を対象にした性教育を2回実施し、受講後アンケートが高評価であったことは、効果的な実習であったと評価できる。 ・札幌市内および遠隔地（室蘭市、釧路市）の実習先においても、中堅以上のキャリアを持つ実習指導教員の配置は、実習指導体制の強化となったと評価できる。 2. 適切な実習施設の確保、新規開拓 <p>実習目標達成可能な実習施設を確保、院生配置を調整した。 今年度新規の実習施設（病院1，クリニック1）で実習を行った。また、次年度に向け、新規実習施設（助産所1）再開実習施設（病院1，クリニック1）を確保した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>次年度の実習施設として新規および実習受け入れ再開施設を確保したことは評価できる。しかし、実習施設のひとつが産科の一時閉鎖を決めたことから、さらなる実習施設の開拓が必要である。</p>

3. 教育指導体制の充実

- ・2023 年度の助産研究科教員体制は、専任教員 7 名（教授 3 名、准教授 2 名、講師 1 名、助教 1 名）、臨床専任教員 3 名（教授 3 名）、兼任教員（教授 2 名、准教授 3 名）の 15 名の構成である。
- ・専門職大学院である助産研究科の教育を担える人材の確保のため、助産研究科教員採用及び昇任に関する規定の見直しを行い改正の提言を行った。
- ・教員及び実習指導教員、臨床指導者の教育能力の向上を図るため

【臨床指導者 FD】 web 開催

10 月 5 日 10:30～12:00 テーマ「学生の学びからともに育つために」

講師：中根直子氏（日本赤十字医療センター）出席者：30 名（教員 7 名を含む）

【助産研究科主催 FD】 対面開催

10 月 24 日 16:20～18:00 テーマ「省察的実践に基づく教育」

講師：三輪建二氏（星槎大学大学院教育実践研究科教授）

・教員体制の充実

今年度末に退職する教員の後任教員を獲得することができた。

また、次年度には、要望し続けた専任教員 8 人体制を見込めることができた。（ただし任期付き採用の教員 1 名を含む）

[活動内容に対する自己評価]

臨床指導者 FD を臨床指導者会議と日程を合わせ、多くの臨床指導助産師、実習指導教員の参加があったことは評価できる。

4. 院生の支援活動

院生の学修、生活面の相談をメンター教員が受け、必要時教員間で情報を共有した。また、学生相談室や保健室等の利用を推奨した。休学等の相談については学務課と連携した。

インターンシップ型の実習では、担当教員が巡回し実習進捗状況の把握調整のほか自身の健康面の確認とフォローを行った。

遠隔地での長期実習に伴う交通費や生活関連費等、学納金以外の経済的負担が少なくないことから、助産研究科教育支援基金の創設を大学に諮り、承認を得た。具体的な創設時期、目標額、使途、基金集めの方法等については学長を交え、今後、助産研究科内で検討することになった。

[活動内容に対する自己評価]

メンター教員を中心にした少人数で 1 年次院生と 2 年次院生とが交流機会をもつことで院生双方の学修効果を高めており評価できる。

1 年次生の札幌市内・遠隔地における実習に実習期間中教員を配置、インターンシップ型実習においても教員が巡回し、実習調整や院生フォローを行っていることは評価できる。

助産研究科院生の就学中の経済的支援、助産教育支援のための基金創設が承認されたことは、今後、院生の経済的支援や効果的な教育につながることから評価できる。

5. 教育課程連携協議会の開催

前任委員の任期満了に伴い、新たに 2025 年 3 月末までの任期で、3 名の助産教育の有識者および医療機関看護責任者を委員として迎え、学内委員 2 名（助産研究科科长、学長）との 5 名構成で 2023 年度教育課程連携協議会をリモート開催した。

評議会では学外委員から、修了後に助産師として就業する臨地と連携したカリキュラムおよび授業内容となっていること、専任教員のほか適切な非常勤講師等の人選・配置であるとの評価であった。また、社会変化に対応した科目（授業内容）の強化、専任教

	<p>員の研究が可能な環境整備のため授業担当時間数の調整について提言があった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>任期満了に伴う次期委員を迅速に得て、早期に教育上の課題把握するために年度前半に教育課程連携協議会を開催したことは評価できる。</p> <p>6. 日本助産評価機構による認証評価受審</p> <p>6月に助産評価機構に助産専門職大学院認証評価自己点検評価報告書を提出し、10月23日には現地調査が行われた。すでに適合との内定連絡を受けているが、正式な認証評価報告書および認証評価結果は4月の予定である。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>助産研究科教員全員が評価報告原稿を分担し、総務課の認証評価担当職員をはじめ事務職員の協力を得て滞りなく受審できたことは評価できる。</p> <p>7. カリキュラム改正の準備</p> <p>基礎分野カリキュラム改正に向け、外部有識者を交え検討会を行った。次年度についても専門職大学院における助産教育カリキュラムについて、外部有識者を交えた検討を行い、改正カリキュラムの完成、関係機関への届け出を行う予定である。</p> <p>また、受講する院生側からの意見を参考にするため、2月に修了前の2年次生若干名から現行カリキュラムに対する意見、要望等を聴取した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>カリキュラム検討会に学外有識者を交えること、修了前の院生から現行カリキュラムに対する意見、要望を聴取し検討することは、より教育効果が高いカリキュラム作成のために評価できると考える。</p> <p>8. 社会貢献</p> <p>昨年に引き続き、高大連携事業の依頼に応え、教員2名が女子高校2年生を対象に助産師、看護師、保健師の仕事について紹介する出前授業を2回実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>受講者の反応が良好であることから、継続した依頼があることは社会貢献として高く評価できる。</p> <p>9. 助産研究科開設20年記念誌の作成</p> <p>わが国で初めて大学院での助産教育を開始し、現在までも唯一の専門職大学院における助産師教育を行っている助産研究科の20年の軌跡を記録に残すため、助産研究科開設20周年記念誌を作成した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>記念誌をとおして専門職大学院の教育を学内外の関係者に公表できることは、天使大学の広報面、助産教育上の資料としても意義があることと評価できる。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職大学院としての適切なカリキュラムの運用 2. 適切な実習施設の確保、新規開拓 3. 教育指導体制の充実 4. カリキュラム改正

2. 学生の受け入れ

担 当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 各種入学者選抜について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。</p> <p>2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学者選抜について検討を継続する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>V-2、VI-4、VIII-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 入学者選抜制度に関する重点課題の見直しについて</p> <p>[活動内容]</p> <p>2024年度入学者選抜について、実施をした。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>当該選抜制度にかかる選抜要項内容、及び実施・運営に関する改正等について滞りなく行ったことは評価できる。しかし、学校推薦型選抜の志願者数が減ってきており、現行のタイムスケジュールを見直す必要があったため、次年度に向けて検討を進めていきたい。一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の志願者数も減少しており、試験室数や採点に関わる教職員の配置等も検討を進めたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>インターネット出願の調査・研究について、実施をした。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>学生募集が厳しい中で、受験生が利用しやすいシステムを構築するため、業者と複数回にわたり検討出来たことは評価できる。大学全体の情報システム更改も見据えつつ、2026年度入学者より導入ができるよう対応していきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>新たな選抜試験の導入に関する検討について、実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>2025年度入学者選抜から、栄養学科で新たに総合型選抜を行う決定をしたことは評価できる。次年度は、実施した内容を見直し、2026年度入学者選抜でどのように改善をするか引き続き検討していきたい。</p> <p>2. 選抜業務の円滑な運営について</p> <p>[活動内容]</p> <p>選抜業務の時間や役割を各学科・科、事務局へ周知し、人員配置等を考慮し円滑な運営を行った。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>文部科学省の方針や大学入試センターの選抜要項変更等で、受験者に影響の無いよう入学者選抜要項を発行したことは評価できる。</p> <p>3. 大学入学共通テストの実施について</p> <p>[活動内容]</p> <p>共同実施の北海道大学（実施本部）、藤女子大学（試験場）、東海大学（札幌キャンパス）と密に連携を取りながら大学入学共通テストを実施・運営した。</p>

	<p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>大学入学共通テストにおいては、責任大学の藤女子大学、東海大学の3大学でいずれも不備なく終了することができたことは評価できる。しかし、大学入学共通テストの翌週に大学院選抜が控えているため、日程が過密になっていることが課題として残る。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 志願者及び入学者確保に向けた新たな入学者選抜制度検討を行う。2. 既存の入学者選抜が安定的な志願者確保ができていないか見直す。3. 大学入学共通テストの実施・運営体制の反省や見直しを3大学で行う。

2. 学生の受け入れ

担 当： 広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. ブランディング強化のため、広報ツールの充実を図る (新たな志願者層開拓(受験生への早期接触と多様な高校生へのアピール)を含む)</p> <p>2. 看護栄養学研究科の広報活動強化</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ② ③ ④</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標V-1. 学生の受入れ拡充 (2)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. ブランディング強化のため、広報ツールの充実を図る</p> <p>[活動内容]</p> <p>学生受け入れ方針に基づき、ブランディング強化のため以下活動により、広報ツールの充実を図った。</p> <p>(1) 資料送付・ダイレクトメール (DM)</p> <p>① 受験生向け</p> <p>本学に資料請求があった高校生、既卒者、中学生などへ2024年度大学案内パンフレット、入学者選抜要項、過去問題集、OC案内チラシ、志願促進リーフレット、クリスマスカードを送付し、年度を通したフォローアップを行った。</p> <p>② 高校進路指導部向け</p> <p>道内外の志願実績校(約200校)に対して、7月に2023年度大学案内パンフレット、入学者選抜要項、過去問題集、OC案内チラシ等を送付した。</p> <p>(2) オープンキャンパス (OC)</p> <p>次のコンテンツを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科紹介・職業紹介・模擬授業・入学者選抜ガイダンス・施設見学 ・学生発表(受験体験、学習・実習体験、学生生活など)・交流コーナー <p>① 第1回 6月10日(土) 高校3年生対象 学校祭と併催 相談ブース来訪者数：看護学科55名 栄養学科29名</p> <p>② 第2回 8月5日(土):看護(午前,午後)、8月6日(日): 栄養(午後のみ) 参加者数：看護学科186名 栄養学科99名</p> <p>③ 第3回 9月23日(土) 午前・看護、午後・栄養 参加者数：看護学科92名 栄養学科47名</p> <p>④ 第4回 3月23日(土) 午前・栄養、午後・看護 参加者数：看護学科104名 栄養学科59名</p> <p>(3) 公式ホームページ (HP) によるPR</p> <p>① 情報の掲載</p> <p>大学案内パンフレット、入学者選抜要項、各種広報チラシ、ショートムービー等を作成し、閲覧またはダウンロードを可能としている。</p> <p>(4) 高校訪問、進学相談会・校内ガイダンス、模擬授業 等</p> <p>① 高校訪問、進学相談会・校内ガイダンス</p> <p>高校訪問については、入試・広報室員および事務局職員が6月下旬から道内約130校の高校を訪問、進学相談会・校内ガイダンスについては道内各地の約100会場へ教職員が参加し、在学生の近況報告や国家試験合格率、入試制度の昨年からの変更点や本学の特徴をアピールし、オープンキャンパス参加を促した。</p>

② 模擬授業・大学訪問道内のべ17校で模擬授業及び職業に関する解説等を行った。

③ 選抜要項頒布会(大学見学 含む)

年末から1月中旬にかけ、ホームページで開催を通知し、学校案内・募集要項の手渡しおよび学校案内・教員との個別面談を可能とした。オープンキャンパスに来られなかった人や出願校の変更を検討していた志願者12名(保護者同伴多数あり)が来校し、本学の一般入試および共通テスト志願へ繋げた。

(5) 広報活動勉強会

教職員が現状の学生募集について共通認識を持つため、以下を実施した。

・動画配信

配信内容：2023年度入試動向について、入試選抜方法詳細について、各学科の解説

・セミナー開催

テーマ：「2023年度入試動向に関しておよび継続的な学生募集成功に向けて」

日 時：2023年7月11日(火)

講 師：(株)リクルート 梅津 直弥

(6) 内部質保証(点検評価)に向けたデータ整理・活用

以下データを回収し改善につなげた。

・入学者選抜データ ・新入生アンケート ・OCデータ ・OC参加者アンケート

(7) SNS及び動画を活用した大学の取り組み・教育内容に関する情報発信

今年度より学生広報アンバサダーを組織し、学生の日常風景や日々の取り組みの動画撮影を行い、広報委員と連携してInstagramやYouTubeでの情報発信を開始した。

[活動内容に対する自己評価]

18歳人口減に伴う本学志願者数の減少を食い止めるため、オープンキャンパスのコンテンツを参加学年に合わせて変更したり、高校訪問・進学相談会の対応件数を増やす等の従前活動の強化に加え、SNSの活用や急遽の資料頒布会開催等の新企画を試みたことにより、一定数の志願者を確保できたことは評価できるが、栄養学科の十分な受験生確保には至らなかったため、さらなる工夫を検討する必要がある。

また、勉強会開催や、入試・広報データの整理分析に取り組み、志願者減少の実態および定員割れリスク等について全教職員である程度認識を共有できた点は有効であったが、インパクトのある具体的なアクションに結びつかなかった。引き続き、最新の現状認識を共有し、志願者確保のために効果的な広報活動を展開したいと考える。

2. 看護栄養学研究科の広報活動強化

[活動内容]

各専攻と連携し、以下を実施した。

① 大学案内パンフレットの充実。

② 大学院ホームページの改修

学部ページから切り離し、より見やすい構成に変更し、大学院の取り組みや新着情報を発信しやすくするよう改修に努めた。

③ 大学院案内やチラシ等によるPR

大学院案内パンフレット、入学者選抜要項、看護学専攻・保健師コースチラシについて、6月に看護系大学及び実習施設等に送付または担当教員が持参、および本学の看護学科在学生にも配布した。また、看護学専攻博士課程申請に伴いチラシ、学生募集要項を作成・配布し、ホームページおよびSNSに掲載した。

	<p>④ オープンキャンパス等によるPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天使大学在学生対象の説明会 看護学専攻 12月22日(金) 保健師コース説明会 14名 ・ 個別相談会 看護学専攻 9月23日(土) 保健師コース2名 在宅看護 CNS 領域1名 ・ オープンキャンパス、大学院説明会 看護学専攻(オープンキャンパス) 6月10日(土) 保健師コース 13名 ホスピス緩和ケア看護学領域1名 8月5日(土) 保健師コース 12名 栄養管理学専攻(大学院説明会) 8月18日(金) 前期課程5名 <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>上記アピールにより、志願者増に結び付いた点について評価できる。引き続き看護栄養学研究科と連携し、ホームページコンテンツの充実を図るとともに、大学院の情報発信を積極的に行って、アピールを強化したい。</p>
次年度への課題	<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブランディング強化のため、広報ツールの充実を図る 2. 新たな志願者層開拓(受験生への早期接触と多様な高校生へのアピール) 3. 看護栄養学研究科の広報活動強化 <p>【重点課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学院入学者数の増加にむけた広報活動の充実 2. 栄養学科の志願者数の増加にむけた広報活動の充実

2. 学生の受け入れ

担 当： 助産入試広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 限られたマンパワー・予算の中で、「アドミッション・ポリシーに適った志願者」が増加するよう、広報効果の最大化を図る。</p> <p>2. 入試選抜のミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない選抜の実施・運営に万全を期する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <p>日本助産評価機構基準番号 第3章 入学者選抜 3-1-1、3-1-2、3-1-4、3-1-5</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>V-1、V-2</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 入学者選抜の見直しについて</p> <p>[活動内容]</p> <p>限られた人員で試験監督と出題者を兼ねる状況もあるため、事務局協力も含め、万全の体制で試験を実施できるよう検討した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>出題者が採点業務に集中できるように、面接室数を減らして行うなど工夫をして選抜を行えたことは評価できる。</p> <p>2. 看護系大学や病院等への広報活動を強化する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>フライヤー・ポスターを全国看護系大学対象に一斉送付した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>パンフレット及びフライヤーを一斉送付しているが、オープンキャンパスの参加者数及び出願者数が前年より減少している。今後の募集活動についてより良い方法を検討する。</p> <p>3. ターゲットとの対面広報活動（オープンキャンパス等）を重視する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>参加者の増加と高い満足度の維持を図るため、オープンキャンパスの開催内容について検討した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>進学説明会を6月はWEB型、8月は対面型、3月は学部生のための対面型とパターン化できたことは評価できる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 今後WEBサイトについて、より見やすく訴求内容が伝わりやすいよう見直しを行う。</p> <p>2. さらに魅力あるオープンキャンパスへの動員および出願者を増加させるため、引き続き、オープンキャンパスの魅力あるコンテンツの検討を行う。</p> <p>3. 天使大学 看護学科学生に対する広報活動を強化する。</p> <p>①天使大学 看護学科学生対象のオープンキャンパスを実施する。</p> <p>②学部進学者のメリット（入試、学費等）を検討する。</p> <p>4. 看護系大学や病院等への広報活動を強化する。</p> <p>①道内看護系大学 ②教育分野受験生への広報（ペリネイタルケア広告）</p> <p>5. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。次年度は面接試験を面接員三人体制で行えるよう検討する。</p>

3. 教員組織

担 当： 教育研究評議会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学長による学科長等の人事ヒアリング前倒しと人事方針の早期策定</p> <p>2. 看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置に向けた取組みの推進</p> <p>3. 2024 年度に向けた教養教育科教員の確保とあり方検討</p> <p>4. 2024 年度に向けた大学及び大学院の常設委員会等の見直し検討</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6 教員・教員組織 ①、②、③、⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅳ 教育に関するビジョンの構築</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学長による学科長等の人事ヒアリング前倒しと人事方針の早期策定について</p> <p>[活動内容]</p> <p>人事ヒアリングを4月中に実施し、2024年度人事方針を2023年5月理事会で決定した。また、2024年度からの看護学専攻博士後期課程の特任教員及び助産研究科教員に関する修正人事方針を12月理事会で決定した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>人事方針及び教員募集大綱の早期決定、教員公募の8月開始については評価できる。しかし、一部学科、研究科において採用教員の決定が3月理事会までずれ込んだことを反省し、一層の改善に努める必要がある。</p> <p>2. 看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置に向けた取組みの推進について</p> <p>[活動内容]</p> <p>看護学専攻博士後期課程の設置については、○合教員の確保に努め、2023年9月に文部科学大臣から認可された。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>計画どおりに2024年度設置ができたことで目標を達成した。</p> <p>3. 2024年度に向けた教養教育科教員の確保とあり方検討について</p> <p>[活動内容]</p> <p>退職教員の後任者を確保できたが、教養教育科のあり方検討に関しては、藤学園との法人統合を前に取組みを行わなかった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>2024年度以降の取組みについて、改めて藤女子大学との共通認識の醸成を含めて検討する必要がある。</p> <p>4. 2024年度に向けた大学及び大学院の常設委員会等の見直し検討について</p> <p>[活動内容]</p> <p>法人統合に向けた2024年度の天使大学校務分掌を全学的に行い、11月に新たな校務分掌を最終決定し、年度内の関係規程の整備につなげた。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>理事会設置委員会の廃止、管理運営協議会、IR委員会、大学院入試委員会の設置等の新しい視点での会議・委員会が整備されたことは評価するが、依然として教員数に比較し委員会数が多い状況にある。また、国際交流委員会については藤女子大学との連携を期待し休止としたことは課題である。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 人事方針の早期策定と公募開始時期の前倒し</p> <p>2. 法人合併後も天使大学の自律的な運営を確保することが重要であり、教員採用の決定機関である理事会と大学学長との適切な役割分担を図る。</p> <p>3. 法人合併後の藤女子大学と天使大学の教員の連携協力の可能性の検討</p>

4. 研究活動・研究環境

担当：学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 科学研究費等競争的外部研究資金獲得のための情報提供や研究発表の機会を設け、研究意欲の発揚と共同研究の推進に努める。</p> <p>2. 天使大学紀要を年2回発行する。</p> <p>3. 2022年度本学ホームページに設置した「本学の研究活動」を研究成果の発信ルートとして、学内の学術情報流通の拠点を目指す</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境 ③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>Ⅲ-1 (2)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 科学研究費等競争的外部研究資金獲得のための情報提供や研究発表の機会を設け研究意欲の発揚と共同研究の推進に努めた。</p> <p>[活動内容]</p> <p>㈱羊土社が主催する「科研費獲得ウェビナーfor2024」の募集を行い、9名の参加申込みがありオンデマンドで実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>㈱羊土社が主催する「科研費獲得ウェビナーfor2024」に9名の参加がありオンデマンドで実施したことは評価できる。</p> <p>講演内容についても「科研費獲得の方法とコツ」著者の児島将康氏から採択に近づくための応募戦略や、より良い申請書の書き方のノウハウを豊富な事例をもとにご講演いただけたことは大変参考になった。今後も、活用していきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>各学科・科の協力のもと経験豊富な教授5名に「科学研究費アドバイザー」を依頼して、相談体制を整備した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>各学科・科の協力のもと「科学研究費アドバイザー」を選出・依頼し科学研究費の採択率や獲得額の増大を目指すとともに、教育研究環境の向上を図るために、申請書の作成等各種相談体制を整備し、大学が一丸となって協力体制を構築していることは評価できる。今後も、学科・科の枠組みを越えた協力体制を維持していきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>若手研究者のための「よろず相談」として、今年度も学術振興委員4名が相談員となって、研究環境や研究倫理に関することを中心に相談に対応した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>若手教員の研究活動が推進されるよう、学術振興委員が中心となって、研究のための「よろず相談」体制を整備し、相談に対応できたことは評価できる。今後もこの体制を維持していきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>2023年度特別研究費への応募が無かったため、2024年3月に予定していた研究報告会は開催できなかった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>科学研究費補助金や本学特別研究費への申請件数が少なく、また科研費採択課題での論</p>

	<p>文発表数が非常に少ない状況について、個々の教員の力量では解決できない組織的な原因が根底にあるものと考え、教員の研究環境を調査して、研究活動の活性化に向けた提言を行うべく全ての教員（助手含む）を対象にアンケートを実施した。実施期間は、2023年6月13日（火）～7月28日（金）。全体回収率は、75.3%（栄養75.0%、看護78.8%、教養100%、助産54.5%）。研究環境の課題として、「研修日の取得が困難など研究時間の確保ができていない」、「教員間での研究に関する情報交換やディスカッションの機会がない。新人教員がどのように研究をスタートして良いかが分からない」等が明らかになった。実施結果は、2023年10月2日教育研究評議会で報告し、問題点とその解決に向けた提言を示したことは評価できる。</p> <p>2. 2023年度天使大学紀要を年2回発行した。</p> <p>[活動内容]</p> <p>2023年度天使大学紀要第24巻第1号、第2号を発行した。</p> <p>1) 紀要第24巻第1号（2023年9月30日発行） 原著：3件 報告：3件</p> <p>2) 紀要第24巻第2号（2024年3月31日発行予定） 原著：1件 報告：1件</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>2023年度天使大学紀要第24巻第1号、第2号を2回発行し、機関リポジトリに公開したことは評価できる。</p> <p>3. 2022年度本学ホームページに設置した「本学の研究活動」を研究成果の発信ルートとして、学内の学術情報流通の拠点を目指した。</p> <p>[活動内容]</p> <p>令和5年度科学研究費補助金等の外部研究費による研究課題や教員の論文等、ホームページの掲載情報を都度更新した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>学内外の学術情報流通の拠点として教員の研究活動や研究成果を紹介したことは評価できる。今後も、常に新しい情報を発信し、研究活動の活性化につなげたい。</p>
次年度への課題	<p>1. 科学研究費等競争的外部研究資金獲得のための情報提供や研究発表の機会を設け研究意欲の発揚と共同研究の推進に努める。</p> <p>1) 2024年度科研費獲得の方略や研究に関する教員交流会について検討する。</p> <p>2) 各学科・科の協力のもと「科学研究費アドバイザー」を選出・依頼し、申請書の作成等各種相談体制を継続して整備する。</p> <p>3) 若手教員の研究活動が推進されるよう、学術振興委員が中心となって、研究のための「よろず相談」体制を整備する。</p> <p>4) 特別研究費による報告会は、年度末（3月）に体面で実施する。</p> <p>2. 2024年度天使大学紀要第25巻第1・2号を発行し、機関リポジトリに公開する。</p> <p>3. 2022年度に設置したバナー「本学の研究活動」を通して、本学の学部・大学院に興味を持たれている中高生・大学生・社会人の方々に、本学教員がどのような研究をしているか発信する。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 研究の活性化に対応する倫理審査の実施 2. 迅速かつ厳正な倫理審査 3. 教員の倫理的感受性の向上への取組 4. 適切な倫理審査体制の整備</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準8 教育研究等環境⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) Ⅷ-6 (2) 科研費補助金の不正受給の防止対策の推進</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 研究の活性化に対応する倫理審査の実施 [活動内容] 年度初めに作成した日程表に基づき、滞りなく委員会を開催した。 [活動内容に対する自己評価] 研究の活性化に対応するため、原則として毎月開催することで、切れ目なく倫理審査を実施することができた。(審査件数：36件)</p> <p>2. 迅速かつ厳正な倫理審査 [活動内容] 倫理審査の焦点を明確にし、研究対象者の保護と権利の確保に重点をおき倫理審査を行った。また、委員会開催前に委員に対し申請書類を配布し、事前に意見聴取を行った上で審議を行った。 [活動内容に対する自己評価] 研究倫理委員会として公正な審査を実施することができた。また、各委員からの意見を事前に申請者に伝え、必要に応じ修正された申請書類を委員会で審議することで、迅速な倫理審査を実施することができた。</p> <p>3. 教員の倫理的感受性の向上への取組 [活動内容] 研究倫理に関する基本的な内容および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の近年における改正事項について理解を深めることを目的として、研究倫理研修会をウェブセミナー形式で6月に開催した。また、研究倫理研修会開催前の申請については、日本学術振興会によるeラーニング研修の受講により対応した。 [活動内容に対する自己評価] 倫理指針に定められた研究を行う上で遵守しなければならない事項についての理解が深まり、本学教員の倫理的感受性の向上に繋げることができた。</p> <p>4. 適切な倫理審査体制の整備 [活動内容] 年度初めの委員会において、研究倫理委員長代行を指名するとともに、倫理審査の進め方などの本学研究倫理委員会の倫理審査体制についてあらかじめ委員間で確認を行った。 [活動内容に対する自己評価] 倫理審査の進め方および倫理審査体制についてあらかじめ確認しておくことで、委員会の運営を円滑に進めることができた。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、研究対象者の保護と権利の確保に重点をおいた公正な審査を行うとともに、従来どおりの迅速な倫理審査を実施する。2. 引き続き、倫理審査体制の改善および倫理体制の明確化を図り、委員会の運営がより円滑に行われるよう取組を行う。3. 学内外からの要請により新たに見直しや検討を行うべき事項が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、必要な対応を行う。
---------	--

4. 研究活動・研究環境

担 当： 病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 保有している病原体等を、引き続き安全に管理する。 2. 病原体等の入手・分与の際には、安全性を考慮し、適切に対応する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 8 教育研究等環境①、④</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 保有している病原体等を引き続き安全に管理する。 [活動内容] 2021 年度に制定した「遺伝子組換え実験に関する基準要領」に基づき天使大学が保有する病原体等を安全に管理した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 関係諸規程等に従い安全かつ適切に対応したことは評価できる。</p> <p>2. 病原体等の入手・分与の際には、安全性を考慮し、適切に対応する。 [活動内容] 実験継続者から提出(1 件)された「遺伝子組換え実験計画書」について内容を確認した結果、管理方法等に問題は見当たらなかったため「承認」とした。 なお、病原体の分与及び譲渡の申請はなかった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 適切に対応したことは評価できる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 保有している病原体等を、引き続き安全に管理する。 2. 病原体等の入手・分与の際には、安全性を考慮し、適切に対応する。</p>

5. FDSD活動

担当：FDSD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 「天使大学における人材育成の目標・方針とFDSD実施計画」に掲げる目標を達成するため、別に定める「FDSD活動実施要領」に基づき研修等を実施する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6、基準10</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教員間の授業参観の実施について</p> <p>[活動内容]</p> <p>動画視聴を基本としつつ、対面授業も参観可能とし、参観可能な対面授業の情報をGoogle Classroomに掲載することで、参観しやすい環境を整えた。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>対面授業の参観をしやすくしたことが、対面授業の参観者数増に繋がった。</p> <p>2. 学生による授業評価アンケートの実施と見直しについて</p> <p>[活動内容]</p> <p>前期及び後期に学生による授業評価アンケートを実施した。また、アンケートについては4年を1サイクルとして見直すこととしており、2024年度からの新しいアンケートに向けて質問項目や選択肢の見直しを進めたが、検討期間が短く、2024年度からの実施には至らなかった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>2023年度の学生による授業評価アンケートは滞りなく実施できたが、アンケートの回収率は科目によってばらつきがあり、改善の余地がある。アンケートの見直しについては、2024年度からの実施には至らなかったものの、第1回FDSD研修会で授業評価アンケートの見直しをテーマとし、広く教員の意見を取り入れながら検討を進められたことは評価できる。</p> <p>3. FD及びSD研修会の実施について</p> <p>[活動内容]</p> <p>FDは、本委員会主催の研修会を対面及び動画配信で8月に実施したほか、6月に研究倫理委員会、10月に助産研究科、2024年1月に教職課程委員会、2月に看護栄養学研究科各専攻が主催したFDをそれぞれ実施した。SDは、本委員会主催の研修会を対面及び動画配信で9月に実施したほか、8月に学園が教職員説明会、同じく8月にハラスメント防止委員会とキャンパス・ハラスメント対策委員会の共催でハラスメント相談員研修会、カトリックセンターが12月に教職員修養会をそれぞれ実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>いずれの研修会も動画視聴による参加を可能とすることで、教職員の参加の機会を確保でき、参加者数増につながった。</p> <p>また、本委員会主催の第1回FDSD研修会は、「授業評価アンケートの見直し」をテーマとして実施した。これは、2022年度の自己点検評価報告書で「次年度への課題」としていた「本学の状況や課題に即したテーマや内容となるようFD・SD研修会を企画し、実施する」に対応できたものとする。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 「学生による授業評価アンケート」を「学生による授業アンケート」と名称を変更し、質問項目や選択肢等を全面的に見直し、2025年度からの実施を目標として検討する。</p> <p>2. 本学が抱える課題解決に結びつくような内容のFD・SD研修会を企画し、実施する。</p>

6. 社会貢献

担 当： 地域連携等委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2023 年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び 2024 年度公開講座の企画 2. 東区役所との連携事業及び 5 者連携事業の推進 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握 5. 国・行政の地域連携の施策等の把握</p> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄） 基準 9 社会連携・社会貢献 ①、②、③</p> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄） VII：地域連携と社会貢献の促進・充実 VII-1</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2023 年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び 2024 年度公開講座の企画 [活動内容] オンデマンド形式で開催し、過去最高の 198 名（2022 年度 161 名）の受講申し込みがあった。2024 年度についても引き続きオンデマンド形式にて開催する予定である。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 昨年度より申し込み者数が増加した。今回が初めての参加という割合が高く（58.4%）、地域では札幌市外の参加者の割合が高い（37.7%）。年齢層も対面時よりも若返っているため（50 代以下、62.7%）、時間や場所の影響を受けないオンデマンド形式の実施は評価できる。</p> <p>2. 東区役所との連携事業及び 5 者連携事業の推進 [活動内容] 1) 5 者連携事業イベント「ひがしく健康・スポーツまつり」（つどーむ）でブース参加（「天使大の健康塾－食事バランスチェック&血圧・血管年齢測定&正しい手指消毒体験－」）を行い、教職員と学生（両学科計 19 名）が参加した。地域住民約 200 名の参加があった。 2) 「ひがしく健康づくりフェスティバル」は新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止となってきたが、2023 年度は実施することとなり、本学に健康講話の依頼があった。学生ボランティアを募り、「元気に暮らすコツ」というテーマについてクイズ等も交えながら講話を行った（両学科計 10 名の学生が参加）。地域住民 64 名が参加し、学生の発表を聞いていると元気をもらえた等の感想が寄せられた。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 実施内容について工夫し、結果、イベントでは想定を超える参加者がいたことは評価できる。</p> <p>3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 [活動内容] 1) 北海道科学大学が実施する「夕張地域医療体験」（3/5-7）について、参加学生の募集を行った結果、定員を超える 3 名（栄養学科）の申込があった。 2) コロナ禍以降初となる介護予防センターとの連携協力を行い、3/8 に鉄東会館にて両学科学生が健康講話を行う。</p>

	<p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>※3月実施のため、実施結果について評価できず。夕張地域医療体験の募集に関しては、定員を超える応募があったものの、看護学科3年次は追再試験期間と重なるためか、応募がなかった。介護予防センターとの連携協力は、コロナ禍以降初の実施となる。本学の働きかけによって連携協力が再開し、学生の学びの場が増えたことは評価できる。</p> <p>4. 地域・他大学との連携事業の実態把握</p> <p>[活動内容]</p> <p>東区役所が開催した「タッピーフレンズ交流会」(1/30)に地域連携等委員2名が出席した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>地域において本学を認知してもらう機会となった。今後も積極的に参加し、本学について発信し続ける必要がある。また、地域のニーズに対し、本学としてどのように実施・連携につなげていくかのシステム構築が課題である。</p> <p>5. 国・行政の地域連携の施策等の把握</p> <p>[活動内容]</p> <p>今後の動向について委員会で情報を共有しながら把握を行った。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>国の動向を引き続き情報を把握していく。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5者連携事業をはじめ、東区役所との連携を一層推進していく。 2. 本学 web サイトを通じ社会貢献・地域連携活動の情報を発信する。 3. 北海道科学大学・介護予防センター等との連携について検討する。 4. 国・行政の地域連携の施策の動向を把握し、本学の取組について検討していく。 5. 地域のニーズについての情報共有・実施連携のシステム構築について検討していく。

7. 国際交流

担 当： 国際交流委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2024 年の藤学園との法人統合を見据え、天使大学における「国際交流委員会」の設置を含めたあり方について、検討する。</p> <p>2. 本学の規模に合った国際交流活動の内容と実施を検討する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VII-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 天使大学としての国際交流活動の検討について</p> <p>[活動内容]</p> <p>2023 年度の活動として英語版ホームページの設置を予定していたが、当初予算では承認されなかったため、2024 年度の設置に向けて、必要なコンテンツ等の検討や学内関係部署との調整を行うこととした。しかし、学内組織の見直しにより、2024 年度以降、国際交流委員会は活動休止となることが決定したため、具体的な検討は見送ることとなった。</p> <p>また、2024 年 4 月の法人統合を機に、ASEACCU の活動を長く経験している藤女子大学と合同で国際交流について検討する組織の設置検討について要望書を 2022 年度に学長に提出したが、藤女子大学との大学間連携については、2024 年度新法人発足後に会議を設置して検討することになった。この会議についての本学対応は、学生委員会が引き継ぐこととなった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>本学の規模で可能な国際交流活動について検討したが、実施までには至らなかった。本学だけで国際交流活動を充実させるための経験とマンパワーが不足している。今後、本学での国際交流活動を推進するためには、藤女子大学との相互作用的な活動の発展につながる組織・体制の整備がのぞましいと考える。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 本学における英語版ホームページ設置に関する検討部署の検討</p> <p>2. 藤女子大学との国際交流活動合同検討会議設置に関連する経緯や情報の、担当部署（学生委員会）への引継ぎ</p>

8. 学生生活

担当： 学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 新型コロナウイルスが2023年5月8日から感染法上の「2類相当」から「5類」に引き下げられることに伴い、感染防止対策が大幅に緩和されるであろう天使祭・体育祭を、学生が安心・安全に実施・運営できるようにサポートする。また、2023年度の海外研修再開、2024年度の合唱コンクール再開に向けて準備を進める。</p> <p>2. 学生食堂の改善に注力し、学生からの満足度の上昇、喫食数の増加を目指す。</p> <p>3. 現在検討を続けている「本学の新しい奨学金制度」を各部署等と調整して成案させ、2024年4月からの運用を目指す。</p> <p>4. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準7 学生支援 ①～③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VI-1、VI-2、VI-4、VII-1、VII-3、VIII-7</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の行事等について</p> <p>[活動内容]</p> <p>2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」となったことで、これまでの制限をほぼ全面的に緩和して、天使祭や体育祭を実施できるよう、葦の会役員をサポートした。海外研修や合唱コンクールについても再開に向けた検討を重ねた。</p> <p>①天使祭</p> <p>新型コロナウイルスの影響でこれまで実施できなかった、健康チェック・栄養体験コーナー、東区保健センターの健康増進に関する展示、JCNAのバザー、円ブリオ北海道のブース、セラピー犬とのふれあい体験等のコンテンツを再開させた。さらに4年ぶりに一般公開も再開し、本学卒業生、他大学の学生、地域の方々等が幅広く来場した。</p> <p>②体育祭</p> <p>昨年度は、「北海きたえーる」での半日の開催であったが、今年度は「東区体育館」でコロナ禍以前のように1日で実施した。</p> <p>③海外研修</p> <p>複数の旅行業者に本学の海外研修の目的に沿った研修プログラムを提案してもらい、それをもとに学生委員会で協議した。その結果、カナダ バンクーバーの研修プログラムを採用することとし、帯同教員の旅費を補正予算として申請したが、旅費の高騰等を理由に承認されなかった。それを受け、2023年度の海外研修は中止することとした。</p> <p>④合唱コンクール</p> <p>2024年度は全学生が本学の合唱コンクールを経験したことがないという状況で実施することから、各学科・科の意見を聞き、発表を「クラス単位」から「学科学年単位」にするなど、実施要項を時代に合った内容に見直した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>①天使祭</p> <p>葦の会役員同士の引継ぎが不十分であったこと等により、準備・運営がスムーズに進まない場面が見られたが、教職員のサポートもあり、コロナ禍以前に近い形で天使祭を開催することができたことは評価できる。4年ぶりに一般公開を再開でき、1,500名（本学学生を含む）の方が来場した。2024年度は外部出店等、今年度再開できなかったコンテンツを実施できるよう、引き続きサポートする。</p>

② 体育祭

東区体育館の担当者と複数回打合せをすることができ、適宜輩の会役員をサポートしたことで、4年ぶりの「1日開催」の体育祭を開催できたことは評価できる。2024年度は、より多くの学生に参加してもらえるように、会場の見直し等の運営企画をサポートする。

③ 海外研修

今年度、再開に向けて検討する中で、まだ病院・福祉施設等の受け入れを再開していない国や地域があること、航空券料金の高騰、海外の物価高騰により、研修費用が以前に比べて約1.5～2倍程度高くなっていることがわかった。学生からの海外研修参加に対するニーズが十分にあることから、そうした状況をふまえ、海外研修プログラムのさらなるブラッシュアップ、研修地の固定化、藤女子大学 国際交流室との連携を進め、2024年度以降の海外研修再開に向けて検討を続ける。

④ 合唱コンクール

合唱コンクールの実施要項を、全学的に意見を聞いた上で見直すことができ、時代にあった新しい形で2024年度合唱コンクール実施要項を策定できたことは評価できる。合唱コンクールの開催に向けて、学生に早期に情報を周知するなど、今後準備を進める。

2. 学生食堂の改善について

[活動内容]

1日の売上目標（5万円）を設定してそれを達成すること、学生や教職員の満足度を上げることを目的に、様々な取り組みを行った。

① 「みんなが食べたいプレートランチを出します！」（2023年9月25日～9月29日）

昨年度のプレートランチで人気が高かった10品をピックアップし、学生に投票してもらい、投票数の多かった上位5品を期間中に提供する、という企画を行った。

② 「美味しいメニュー」、「美味しくないメニュー」調査（2023年7月～）

随時学生食堂のメニューに対する意見を寄せられることができるよう、Googleフォームを活用した調査を行った。寄せられた意見は、学生食堂委託業者魚国総本社へ即座に報告するとともに、改善できるかについて回答を要求した。

③ 「サンキュー！フェア」（2023年11月27日）

通常420円で提供しているプレートランチを、日頃の感謝を込めて30円引きの390円で提供した。

④ ミルクラが考案したレシピのメニュー化（2023年12月18日～12月22日）

ミルクラが雪印メグミルクと考案したレシピを学生食堂のプレートランチとして提供する企画を、昨年度に引き続き行った。

[活動内容に対する自己評価]

運営会社（株式会社魚国総本社）と協力しながら、1日の売上目標（5万円）を目指して、フェアの実施、学生からの意見・要望の改善を図ったことは評価できる。売上目標に達した日は3日のみ（そのうち2日はミルクラが考案したレシピ企画）であったが、今後も目標達成に向けて鋭意サポートしていく。

3. 「本学の新しい奨学金制度」について

[活動内容]

本学学生が経済的な理由で修学をあきらめることがないように、本学独自の奨学金制度を各部署等と連携・調整して成案する予定であったが、今年度は成案に至らなかった。

[活動内容に対する自己評価]

今後、学生の奨学金に対するニーズをふまえ、2025年度からの運用開始を目指す。

4. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」について

	<p>[活動内容]</p> <p>近年つきまとい・ストーカーによる事件が増加傾向にあることを受け、「学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアル」に「つきまとい・ストーカー」の項目を追加した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」に「つきまとい・ストーカー」の項目を新たに追加したことは評価できる。今後も引き続き、優先度の高いものから順次整備する。</p> <p>5. その他</p> <p>①学生生活についての調査、卒業・修了時アンケートの実施</p> <p>[活動内容]</p> <p>全学生に対し「学生生活についての調査（学生生活実態調査と学生満足度調査、3年に1度実施）」、卒業・修了予定者に対し「卒業・修了時アンケート（毎年度実施）」を Google フォームを活用した Web 回答で実施した。調査報告は 2024 年 5 月を目途とし、集計・分析を行う。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>「学生生活についての調査」の質問項目を、新型コロナウイルスの影響で中止となった行事を削除するなど、現在に合致する形に見直したことは評価できる。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施形態を大きく変更した「2024 年度合唱コンクール」が、準備も含め過誤なく運営できるようにする。 2. 「学生生活についての調査」、「卒業・修了時アンケート」等の調査結果をふまえ、学生の実態を把握するとともに、学生の満足度向上につながるよう全学的に促す。 3. 学生の参加に対するモチベーションの低下が懸念される天使祭、体育祭、喜びのわかちあい、学生総会等の葦の会が運営する行事等をサポートする。 4. 学生食堂のさらなる改善（学生の満足度の向上、売上目標の達成）を図る。 5. 海外研修の催行に向けて準備を進める。同時に、今後の海外研修のあり方について抜本的に検討するとともに、藤女子大学 国際交流室との連携を模索する。 6. 「学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアル」を順次更新する。 7. 奨学金制度の見直しを、学生からのニーズをふまえつつ、各部署等と連携・調整しながら継続し、2025 年度からの運用開始を目指す。

8. 学生生活

担当：保健相談室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学生の健やかな学生生活のため、学生の身体的・精神的な健康をあらゆる角度からサポートするとともに、さまざまな啓発活動を行う。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準7 学生支援 ①～③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VI 包括的な学生支援策の充実</p> <p>2 健康管理面の支援</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学生への健康面からのサポート・啓発活動</p> <p>(1) 学生の健康や生活等の面接相談</p> <p>[活動内容]</p> <p>保健相談室を訪れた学生から様々な相談を受け、面談した。状況に応じて、学生相談室や学生支援教員と連携して学生をサポートした。また、年度初めに収集する健康調査票に基づき、既往歴や現病歴から必要に応じて個別面談を行った。障害学生に対しては、関係教職員と情報共有しながら継続的に支援を行った。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>気軽に相談できる場になるよう温かな対応を心がけた。今後も学生にとって敷居の低い、相談しやすい環境を維持したい。健康調査については、重要な既往・現病歴を正しく把握するため、質問項目の修正を行う必要がある。今後も個人情報の取扱いに留意しながら、関係教職員・学校医と適切に連携を図っていきたい。</p> <p>(2) 学生・教職員のケガ・体調不良への応急処置、医療機関の紹介・連携</p> <p>[活動内容]</p> <p>ケガや体調不良者に対して応急処置や休養を促し、必要に応じて医療機関の受診を勧奨した。早急な受診や単独での帰宅にリスクがあると判断したケースでは、保護者と連絡を取り、学生の安全が確保されるよう配慮した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>学生の安全を第一とした対応ができたと自己評価している。今後も、学務課等と連携しながら、適切に対応していきたい。</p> <p>(3) 掲示・イベントなどによる、健康情報等の発信・啓発</p> <p>[活動内容]</p> <p>①行事や季節に合わせて、計5回、保健相談室ニュースを発行した。</p> <p>第1号(5月) どう変わる?新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>第2号(7月) 夏の健康管理</p> <p>第3号(9月) インフルエンザワクチン接種について</p> <p>第4号(12月) 自分の健康について考えよう!</p> <p>第5号(2月) 定期健康診断のお知らせ</p> <p>②保健相談室前に、月に2回「健生ニュース」を掲示し、健康について最新の情報を提供した。その他、キャッチアップ接種が開始されたHPVワクチンや感染症関連の情報の掲示、リーフレットの設置を行った。</p>

	<p>③学生相談室と合同で「こころの健康ミニ講座」を3回実施した。内容は「みつろうラップを作ろう」、「癒しのキャンドル作り」、「スノードームをつくろう」。3回の講座で合計43名(前年32名)の学生が参加した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>「保健相談室ニュース」は、健康診断の結果や学生生活実態調査の結果を活用し、本学の学生の現状に沿った内容の工夫ができた。「こころの健康ミニ講座」は、参加学生の満足度が高いため、次年度もその評価を維持していきたい。HPVワクチンのキャッチアップ接種は2025年3月で終了となるため、希望者が漏れなく接種できるよう、次年度も積極的に情報提供を行っていく。</p> <p>(4) 定期健康診断、感染症予防のための抗体価検査、各種ワクチン接種等の実施</p> <p>[活動内容]</p> <p>①4月8日(土)、9日(日)に学生の定期健康診断を実施した。職場で健康診断を受けた大学院生と休学中の学生を除き、全員が健康診断を受けた。精密検査該当者には個別に通知し、受診勧奨と事後フォローを行った。</p> <p>②改訂された「実習のための感染症予防プログラム」に基づき、小児4種感染症とB型肝炎ワクチン接種を学内で3回実施した。個別接種のフォローも行った。</p> <p>③インフルエンザワクチンの学内接種を2回実施し、学生・教職員あわせて193名が接種した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>「実習のための感染症予防プログラム」改訂による支障は現時点で出ておらず、従来よりも学生の身体的・経済的負担が軽減した点や、早期に実習参加の要件を満たすことができる点、記録管理が容易になった点から改訂の意義があったと評価している。健康診断や各種ワクチン接種は関係機関と連携を取り、円滑に実施できたので、次年度も継続したい。</p> <p>(5) 学校医との連携</p> <p>[活動内容]</p> <p>保健相談室利用状況の報告や学校保健に関する相談を毎月一回、必要に応じて随時行った。学校医による学生の健康相談を再開し、3件の相談があった。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>学校医が学内医師となり、相談や連携を細やかに行うことができた。また、学校医による学生の健康相談は、件数は多くなくとも、学生の安心につながる相談場所として大切であると考えている。今後も連携を取り、学生の健康保持に努めていく。</p> <p>(6) 学校保健に関する研修会に参加しての知見の習得、他大学の情報把握</p> <p>[活動内容]</p> <p>全国大学保健管理協会主催の北海道地方部会研究集会(札幌市)と全国研究集会(石川県)に参加した。他大学の学校保健関係者(保健師・看護師)とは、メール等で保健業務に関する情報交換を行っている。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>研修会参加により、学校保健への知見を深めることができた。また、他大学との交流により、相談の場が増えた。次年度も研修参加や他大学との交流を継続したい。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康調査票の質問項目の修正と評価 2. HPVワクチンのキャッチアップ接種の情報提供、勧奨 3. 「実習のための感染症予防プログラム」の分析・評価の継続

8. 学生生活

担当： キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 新入生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。</p> <p>2. 実習に行く前に、言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、3年生を対象とした講演会を開催する。</p> <p>3. 相談員及びキャンパス・ハラスメント対策委員会構成員を対象とするハラスメントに関する研修会を実施する。</p> <p>4. 定期的なキャンパス・ハラスメント実態調査アンケートを実施する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>7. 学生生活支援 1-② ③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番号記入欄)</p> <p>VI-2-(4) ハラスメントへの対応</p>																																																												
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 新入生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>学部及び助産研究科の新入生を対象としたハラスメントに関する講演会を、2023年6月15日～8月31日の期間にオンラインで開催した。</p> <table border="1" data-bbox="427 842 1273 1205"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>在学生数</th> <th>参加者</th> <th>参加率</th> <th>2022年度の参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>1年</td> <td>105</td> <td>92</td> <td>88%</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>1年</td> <td>93</td> <td>88</td> <td>95%</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学部合計</td> <td>198</td> <td>180</td> <td>91%</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>助産研究科</td> <td>1年</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>90%</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総合計</td> <td>219</td> <td>199</td> <td>91%</td> <td>69%</td> </tr> </tbody> </table> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>学部1年生について、支援教員の協力もあり前年度に比べて参加率が大幅に増えたことは評価できる。助産研究科についても、支援教員の協力と開催期間を長くしたことにより前年度に比べて参加率が大幅に増えた。</p> <p>2. 実習に行く前に、言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、3年生を対象とした講演会を開催する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>両学科3年生を対象としたハラスメントに関する講演会を、2023年7月6日～9月30日の期間にオンラインで開催した。</p> <table border="1" data-bbox="421 1630 1273 1886"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>在学生数</th> <th>参加者</th> <th>参加率</th> <th>2022年度の参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>3年</td> <td>97</td> <td>65</td> <td>67%</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>3年</td> <td>92</td> <td>83</td> <td>90%</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>189</td> <td>148</td> <td>78%</td> <td>66%</td> </tr> </tbody> </table> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>両学科の支援教員の協力があったことで、前年度よりも参加率が増えたことは評価できる。次年度のさらなる参加率向上のため、引き続き周知方法や開催時期の検討が必要である。</p>			在学生数	参加者	参加率	2022年度の参加率	看護学科	1年	105	92	88%	74%	栄養学科	1年	93	88	95%	77%	学部合計		198	180	91%	76%	助産研究科	1年	21	19	90%	13%	総合計		219	199	91%	69%			在学生数	参加者	参加率	2022年度の参加率	看護学科	3年	97	65	67%	49%	栄養学科	3年	92	83	90%	85%	合計		189	148	78%	66%
		在学生数	参加者	参加率	2022年度の参加率																																																								
看護学科	1年	105	92	88%	74%																																																								
栄養学科	1年	93	88	95%	77%																																																								
学部合計		198	180	91%	76%																																																								
助産研究科	1年	21	19	90%	13%																																																								
総合計		219	199	91%	69%																																																								
		在学生数	参加者	参加率	2022年度の参加率																																																								
看護学科	3年	97	65	67%	49%																																																								
栄養学科	3年	92	83	90%	85%																																																								
合計		189	148	78%	66%																																																								

	<p>3. 相談員及びキャンパス・ハラスメント対策委員会構成員を対象とするハラスメントに関する研修会を実施する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>ハラスメント防止委員会と共催により、2023年8月22日に対面で研修会を開催した。2023年度は講義形式ではなく実習形式で実施し、人数も最大30名として開催した。参加者は主にハラスメント防止委員会相談員およびキャンパス・ハラスメント対策委員会委員とし、計16名が参加した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>事例を踏まえた実習形式で実施することにより、ハラスメントに対する理解が深めることができたことは評価できる。ただし、人数が限定されてしまうため、より多くの教職員が参加できる方法を検討する必要がある。</p> <p>4. 定期的なキャンパス・ハラスメント実態調査アンケートを実施する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>2023年度キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートについて、回答率が低いことから、学部4年生および大学院2年生については、2024年2月1日～3月15日に実施し、学部1～3年および大学院1年生については、2024年4月以降に実施することとした。</p> <table border="1" data-bbox="427 833 1158 1146"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> <th>在籍者数</th> <th>回答率</th> <th>前年度回答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護4年</td> <td>13</td> <td>99</td> <td>13.3%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>栄養4年</td> <td>19</td> <td>90</td> <td>21.1%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>27.5%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>43</td> <td>233</td> <td>18.8%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大学院は、助産研究科2年、看護学専攻修士課程2年、栄養管理学専攻博士前期課程2年、栄養管理学専攻博士後課程3年が含まれる。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>学年によって開催時期を変えたことによる効果について、すべてのアンケートが終了した後に検討する。</p>		回答数	在籍者数	回答率	前年度回答率	看護4年	13	99	13.3%	—	栄養4年	19	90	21.1%	—	大学院	11	40	27.5%	—	全体	43	233	18.8%	—
	回答数	在籍者数	回答率	前年度回答率																						
看護4年	13	99	13.3%	—																						
栄養4年	19	90	21.1%	—																						
大学院	11	40	27.5%	—																						
全体	43	233	18.8%	—																						
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人のハラスメント防止委員会と統合するため、委員会の体制を見直す。 2. 学生向けハラスメント講演会の参加者を増やすため、開催方法や時期、周知方法について検討する。 3. キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートの回答率を増やすため、開催時期および周知方法について見直す。 4. 2024年度に法人のハラスメント防止委員会と統合することに伴い、学生だけではなく教職員も含めた啓発活動の実施を検討する。 																									

8. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. キリシト教（カトリック）精神に基づく建学の精神の浸透と人間の育成を図る。</p> <p>2. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。</p> <p>3. カトリック精神に基づく研修会への参加・助成をする。</p> <p>4. カトリックセンターとの連携を図る。</p> <p>5. アッセンブリー・アワーの内容・日程調整と行事等の実施を図る。</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準1 理念・目的 ①、②、③</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>I－1 建学の精神の浸透</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 建学の精神の浸透とキリシト教的精神に基づく人間の育成を図る。</p> <p>1) 学生及び教職員を対象とする宗教的行事について</p> <p>[活動内容]</p> <p>①学部・助産の「建学の理念正課外教育マニュアル」を見直し、修正した。</p> <p>②イースターの集いを企画運営し、各学年の対面授業後、学生役割者を選出し、学科別に2回に分けて対面で実施した。また、イースタープレゼント（クッキー等）を配布した。（看護・栄養1年はほぼ全員参加、看護・栄養2年は約100名、看護・栄養3・4年は約90名の参加数であった。）</p> <p>③クリスマスの集いを、コロナ禍後3年ぶりに全学年集めての開催を企画運営し、学生役割者を選出して、対面で実施した。また、クリスマスプレゼント（クッキー等）を配布した。（看護学科は約30名、栄養学科約20名全体で約50名の参加数であった。）</p> <p>④週日のミサ（聖母月・創立記念日・新年ミサも含む）の企画運営を行った。</p> <p>⑤その他の宗教的行事（灰の儀式・助産研究科実習前ミサ・死者追悼ミサ・クリスマス点灯式、国家試験前の祈り等）の企画運営を行った。</p> <p>⑥卒業・修了感謝のミサを企画運営した。北11条教会で、午後開催予定。</p> <p>2) 学生のみを対象とする宗教的行事について</p> <p>[活動内容]</p> <p>①学生満足度調査の結果を踏まえ、各学科支援教員と連携して参加促進を図った。</p> <p>②アッセンブリー・アワーにおける宗教講話は、授業方針により時間割が取れず中止した。</p> <p>③前期・後期チャペルアワーについて、例年、試験終了後に実施していたが、今年度、定期試験期間が設定されず中止した。</p> <p>④出会いと親睦ゼミ・学生修養会・ステップアップセレモニー・戴帽式における宗務関連の支援をした。</p> <p>3) 教職員のみを対象とする宗教的行事について</p> <p>[活動内容]</p> <p>①教職員修養会の運営をした。（企画はカトリックセンターが行う） 対象教職員99名 出席者80名（出席率80.8%） 講義・業務等で出席できない教職員には録画映像をGoogle Classroomに配信した。</p> <p>②退職される教職員への感謝ミサの、企画運営し開催予定。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリシト教の行事、ミサや修養会を通して学生・教職員が精神的・スピリチュアルに成長する機会の目的・意味を「建学の理念正課外教育マニュアル」として、学部・助産別に作成活用し、教職員への共有を図り推進した。 ・各行事については支援教員と連携して学生への参加を促したが、参加率が悪く、授業時間割の配置について学部と連携をとることが必要である。 ・各行事（イースター・クリスマスの集い等）は、事務局職員、各学科・科、大学院、学生支援教員、宗務委員、ケン神父の協力なくして実施できず、概ね教職員の協力の下実施できた事は評価できるが、さらなる連携協力を図る。 <p>2. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。</p> <p>1) 学内及びチャペル等の環境整備について</p> <p>[活動内容]</p> <p>①ミサを実施するにあたり、チャペルに生花を飾った。</p> <p>②クリスマスに向けてクリスマスツリーの老朽化のため2台買い換え、チャペル、学生・</p>

	<p>正面玄関にクリスマスツリーを設置した。</p> <p>③クリスマスキャロルを昼休みに流しクリスマスに向けての雰囲気作りを行った。</p> <p>2) 宗教的行事のための物品調達について [活動内容] ケン神父から司式で使用する白布等の物品寄付をいただき活用した。 [活動内容に対する自己評価] キリスト教の精神に基づくカトリック大学として、本学の宗教的環境が整っていることが評価できる。</p> <p>3. カトリック精神に基づく研修会等への参加・助成をする。 1) 「2023年度カトリック医療関連学生セミナー」の学生参加について [活動内容] 新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年に引き続き中止になった。 [活動内容に対する自己評価] 次年度、カトリック医療関連学生セミナーが開催する場合、学生参加を支援する。</p> <p>4. カトリックセンターとの連携を図る。 [活動内容] カトリックセンターと共同して、宗務委員会の活動を遂行した。なお、2024年度から藤女子大学との法人統合により、カトリックセンター（法人）が廃止となるため、カトリックセンター事業を宗務委員会で継続して実施する。 [活動内容に対する自己評価] 学生や教職員のカトリック行事をサポートしていることは評価できる。キリスト教の信仰とその精神を広く伝えるHPの更新支援は十分とは言えず、連携して支援をする。</p> <p>5. アssenブリー・アワーの内容・日程調整をする。 [活動内容] アssenブリー・アワーの時間が授業方針によりを授業に振り替えたため、授業の空きコマを利用して行事・各委員会等で調整し実施した。 [活動内容に対する自己評価] 今年度もアssenブリー・アワーの時間は、授業に振替えた為、調整・実施などは果たさせていない。</p> <p>6. カトリック北11条教会との連携について [活動内容] 北11条教会から教会の使用について申し入れがあり、協議した。 [活動内容に対する自己評価] 北11条教会を使用する本学の宗務行事について、引続き教会の意見を伺い、連携して実施する。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. イースター・クリスマスの集い、チャペルアワー等カトリック精神を涵養する宗教的行事等について、ホームページやT-NAVI、メールなどを利用し、行事の目的や内容などの周知を行い、学生支援教員と連携して学生・教員の参加率を上げる。 2. 教務委員会との調整を密にして、特にイースターの集い、クリスマスの集いは、授業予定表配布時にコマ数の確保をする。 3. 建学の理念の浸透と学士力に貢献するアssenブリー・アワーの内容・日程調整と行事等の実施を図る。 4. 新任教職員への建学の精神の理解を図るための企画運営を実施する。 5. カトリック精神に基づく研修会・セミナーへ積極的に参加を促す。 6. 宗教的環境を整備する。 7. カトリック北11条教会と連携を図る。

9. 就職支援

担当： 就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 2. 新卒応援ハローワークから、就職支援ナビゲータの派遣 3. 看護師・管理栄養士の管理職経験者による面接練習 4. 就職活動に関する支援活動 5. 求人開拓の実施 6. 教職課程（栄養教諭）履修者への就職支援 7. 卒業生アンケート調査・就職先へのアンケート調査 8. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 9. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援</p> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄） 基準7 ①～③</p> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄） VI-VI-3（1）～（2）、VI-VI-4（3）</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 就職ガイダンス・セミナー（オンライン含む）の企画・実施について [活動内容] 1) 就職ガイダンス・セミナー（オンライン含む）の企画・実施 学生から要望が多かった、就活スケジュールを作成した。 各学科学年の就職活動時期に合わせ、就職スタートアップ、自己PR作成、マナー講座、小論文・履歴書・エントリーシートの書き方、SPI受検会、面接対策、公務員試験対策、教員採用試験のガイダンス・セミナーを対面中心とし、オンラインの併用で企画・実施した。 例年1月に実施している栄養学科3年次生対象の「就職活動終了者の体験談」は対面で実施し、講師の栄養学科4年次生5名には体験談を話してもらい、その後、希望業種別に分かれグループワークを行った。3年次生がこれから始まる就職活動に向けての疑問、不安な点等を積極的に質問し、活発なグループワークが行われた。また、資料をGoogleClassroomに投稿し閲覧できるようにした。 助産研究科1・2年合同で、就職ガイダンス（自己分析、志望動機の作成、小論文の作成、メディアリテラシー）のガイダンスを対面で実施した。 2) 就職ガイダンス・セミナーの開催時期の検討、内容の充実・強化 開催時期、内容を精査、吟味して対面中心のガイダンス・セミナーを実施した。 3) 学内企業説明会の企画・開催 5月から6月に対面で4社（給食委託、食品、病院）、10月にオンラインで1社（食品）、対面で4社（給食委託3社、調剤薬局1社）、栄養学科対象に開催した。 [活動内容に対する自己評価] 3年生から4年生の就職活動スケジュールを作成し、スケジュールに沿った内容のガイダンスを情報会社や卒業生が活躍している企業等に支援いただき、企画・開催したことで内容の充実・強化が図れた。対面授業後の参加率は30%～100%であったため、引続き授業予定表を確認し、対面とオンラインを併用して実施する。</p> <p>2. 新卒応援ハローワークから、就職支援ナビゲータの派遣について [活動内容] 新卒応援ハローワークに、就職支援ナビゲータの派遣依頼をし、毎週1回（12：30～13：30）、一日2名に就活支援を実施した。 [活動内容に対する自己評価] 採用面接の繁忙期は、学生の希望日に就職相談室の予約できない時期があるため、新卒応援ハローワークの就職支援ナビゲータの派遣時間を、毎週1回（12：30～14：30）、一日4名に増やして就活支援を実施した。</p>

3. 看護師・管理栄養士の管理職経験者による面接練習について

[活動内容]

採用面接の繁忙期に、看護師・管理栄養士の管理職経験者に、学生の面接練習指導を依頼した。

[活動内容に対する自己評価]

病院等の採用面接がピークの月に、学生が面接練習を希望する日時に、就職相談室の相談員の予約が取れない状況が改善された。

4. 就職活動に関する支援活動について

[活動内容]

1) 就職相談員による就職相談・面接練習・履歴書添削等の支援（オンライン含む）

就職相談員による学生支援については、就職支援システムから予約制とし、オンラインまたは対面で、学生の希望に沿った方法で実施した。

進路相談：108回 書類添削：449回 面接練習：532回（2024年2月21日現在）

内定率 看護学科：100.0% 栄養学科：82.3%（2024年2月21日現在）

キャリア支援の遠隔化の一環として、2021年11月より導入した求人票配信システム「キャリアタスUC」（天使大学就職支援ナビ）の操作説明動画を学部3年生対象に配信し利用を促した。

2) 就職委員による就職活動全般の支援

各学科の就職委員、学生支援教員、学務課で連携し、就職活動全般の支援を行った。

[活動内容に対する自己評価]

卒業・修了対象学生に、「天使大学就職支援ナビ」の利用促進を図り、利用率が100%になったことは評価できる。今後、低学年にも周知する。

5. 求人開拓の実施について

[活動内容]

1) 病院・福祉施設等への求人票の送付

学生のニーズに対応するため札幌市内・札幌近郊に、求人依頼のパンフレット等を、病院・福祉施設・保育所・調剤薬局・給食委託・一般企業等へ送付した。

（1,256施設に2/13発送）

また、関東の病院（400床以上）にも送付し新規開拓に努めた。

2) 病院・企業等訪問の実施

病院・企業等から、75件（4月から2月現在）採用担当者の訪問があり、求人票をいただき、情報交換を行った。

3) 実習先へ、担当教員が求人票を持参した。

[活動内容に対する自己評価]

求人依頼のパンフレットが届いたことで、本学への求人実績がない施設等から、求人票をいただいたことは評価できる。

6. 教職課程（栄養教諭）履修者への就職支援について

[活動内容]

1) 教職課程委員会との連携

教職課程委員会と連携し、教職課程履修者への就職活動支援を行った。

2) 教員採用試験出題傾向分析と試験対策ガイダンス等の実施

4年次生対象の教員採用1次ガイダンスは、対面で実施し、願書、資料等を教職課程履修者へ配布した。2次検査対策直前ゼミは、教職課程担当教員等が出題傾向等の分析を行い、対面で実施した。その結果、本学の北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、北海道2名、札幌市2名（一次合格者、北海道3名、札幌市5名）であった。

[活動内容に対する自己評価]

札幌市採用枠5名中、本学から2名が登録となったことは評価できる。次年度も教職課程委員会と連携し、支援を継続する。

7. 卒業生アンケート調査・就職先へのアンケート調査について

[活動内容]

1) 卒業生アンケート調査および就職先へのアンケート調査の実施

①卒業・修了生対象就職状況調査(2022年度卒業生対象:12月実施)

回収率 38.6% (2/20 現在)

②就職先アンケート調査(2021年度 学部卒業生対象:5月実施)

回収率 看護学科 70.7%、栄養学科 44.4%

①、②のアンケート調査をGoogleフォームとアンケート用紙の併用で実施した。

2) 卒業生アンケート調査および就職先へのアンケート調査結果の分析・評価・改善実施したアンケート調査について集計、分析し、改善案を検討した。

3) 調査項目の検討(関係部署と連携し実施)

調査項目の検討をし、内部質保証推進委員会に提案・確認後、アンケート調査集計結果を天使大学HPで情報公開をした。

[活動内容に対する自己評価]

回収率向上に向けて方策を検討し、Googleフォームとアンケート用紙の併用で実施した結果、就職先アンケート調査の回収率が前年度と比べて、看護学科42.1%から70.7%、栄養学科34%から44.4%に上がった。

令和5年度教育の質に係る客観的指標調査について、卒業生のキャリア状況等の調査を実施・結果の分析し、情報公開したことで得点を獲得できたことは評価できる。

8. 就職に関する情報交換及び最新情報収集について

[活動内容]

1) 他大学との情報交換及び最新情報収集

日本私立大学協会北海道支部就職指導研究協議会に参加し、就職支援方法、内定率、感染対策等について情報交換を行った。

2) 日本私立大学協会・日本私立大学北海道支部、全国私立大学就職指導研究会との情報交換及び最新情報収集

就職指導実務担当者研修会に参加し、就職支援方法、内定率、感染対策等について、グループディスカッションで実情交換等の自由討議を行った。

3) 就職情報関連企業との情報交換及び最新情報収集

就職情報会社から病院、企業等の採用数、採用状況、内定状況等の最新情報を収集し、対面、Zoom等で情報交換を行った。

4) 就職関連研修会・セミナー等への参加

オンラインでの研修会等に参加し、最新情報の収集を行った。

[活動内容に対する自己評価]

各大学から取り組み等を伺うことができ、とても有意義な研修会であった。

9. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援について

[活動内容]

1) 求人情報の配信(求職登録者)

求職登録者に求人情報等を配信し、就職支援を行った。

求職登録者数:33名(看護学科4名、栄養学科29名) 内定者数:1名

2) 直接来室した場合の就職支援

就職相談に28名の卒業生が来室し、対応した。

	<p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>今後も、既卒者の希望する求人情報を速やかにメール配信し、支援を継続する。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職ガイダンス・セミナー（オンラインを含む）の開催時期の検討、内容の充実・強化を図る。全員参加のガイダンスは、学科担当教員と連携し授業時間割に入れる。 2) 早期化する就職活動に備えて、就職先選択の準備をするため、学内で、看護学科就職説明会（病院・施設）、栄養学科企業説明会を実施する。 2. 就職活動に関する支援活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 4年次の11月末までに一度も就職相談室を利用していない学生を対象に連絡をし、就職活動状況の把握を行い、希望する就職先への内定につなげる。 2) 卒業・修了時アンケートの意見を踏まえて、面接指導の繁忙期は、新卒応援ハローワークの就職支援ナビゲータの派遣や、看護師・管理栄養士の管理職経験者による面接練習の支援を依頼する。 3. 卒業生アンケート調査（12月実施）・就職先へのアンケート調査（4月実施）の回答率の向上 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2024年度から助産研究科修士生の就職先へのアンケート調査を実施する。 2) スマートフォンを使用し、回答しやすいアンケートを Google フォームで作成する。また、回答率を上げるため回答方法を選択できるように、依頼文送付時にアンケート用紙（返信用封筒を同封する）と、Google フォーム URL の案内をする。 4. 就職活動と就職支援に関する調査（2月実施）の回答率の向上 <p>スマートフォンを使用し、回答しやすいアンケートを Google フォームで作成する。</p>

10. 図書館

担当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 教育・学修支援 修学上の相談等に対応しながら、学生の自律的な学修を支援する。</p> <p>2. 研究支援 本学の学術研究成果等を収集・保存し、ホームページ等で公開する。</p> <p>3. 社会貢献 他大学図書館等の連携を強化し、社会の活性化に貢献する。</p> <p>4. 情報発信 ホームページ等の充実を図り、社会に開かれた図書館として積極的に情報を発信する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境 ③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>I-2 (2)、VIII-4 (3)、VIII-7 (1)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教育・学修支援について</p> <p>[活動内容] 入学時や各学年の要望に応じて図書館利用案内、蔵書検索、学术论文の検索等、授業との連携により図書館司書職員がガイダンスを実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 情報リテラシー教育の必要性を重視し、授業との連携によりガイダンスを実施したことは評価できる。次年度も継続していきたい。</p> <p>[活動内容] ラーニングコモンズ及びグループ学習室については、昨年に引き続き、学生の居場所として自由に開放した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 開放した結果、学生の居場所スペースとして定着していることは評価できる。</p> <p>ラーニングコモンズ及びグループ学習室の今後の在り方については、本委員会で審議・検討を重ねてきた。</p> <p>検討の参考材料として他大学の状況についても、各大学ホームページから情報を収集してきたが、ラーニングコモンズについては、図書館内に設置されている事が前提であり、本学のように図書館外に設置されている事例は見当たらなかった。</p> <p>ただ、図書館の内外に3つのコモンズを有する大学が1カ所あり、そのコンセプトを参考にすると図書館内にあるコモンズは、「学び」を具現化する「ラーニングコモンズ」、「発表」を具現化する「サークルコモンズ」、そして図書館外にあるコモンズは、「交流」を具現化する「オープンコモンズ」として飲食可能な、リラックスした空間として定義されている。本学のラーニングコモンズは、図書館外であり、学生食堂と隣接しているため、昼食時は、学生食堂に座れない人たちの喫食の場としての役割も果たしているのが現状である。この状況から、本学のラーニングコモンズについては、今後も「オープンコモンズ」として運用を続けていくことが、学生への支援に繋がると考える。グループ学習室については、利用時間、利用人数、予約制等のルールを定め、図書館施設としてグループ学習室を機能させる予定である。</p> <p>(参考)</p> <p>ラーニングコモンズについては、令和5年1月25日付文部科学省「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ)」の、大学図書館という「場」</p>

についての中で、ラーニングコモンズの運用は、教育の観点から学生対応を行っている部署を含め、大学内での役割分担を整理する必要性が提案された。

[活動内容]

学生参加による図書選書については、図書館ホームページのマイライブラリから随時、図書の購入希望を受け付けた。

[活動内容に対する自己評価]

学生並びに教職員から図書の購入希望を随時受付、選書したことは評価できる。

次年度も継続していきたい。

2. 研究支援について

[活動内容]

本学教員の学術論文、紀要等を機関リポジトリに登録しホームページで公開した。

[活動内容に対する自己評価]

教育・研究活動の成果をホームページで公開し情報を発信したことは評価できる。

3. 社会貢献について

[活動内容]

文献複写・相互貸借の対応については、他大学からの文献複写依頼が日々多く、都度、丁寧に対応した。

[活動内容に対する自己評価]

本学図書館には、現在入手困難で貴重な専門書が多く所蔵しているため、全国の医療系大学等からの照会が多く、都度、丁寧に対応したことは評価できる。

これからも大学の研究活動における電子ジャーナル利用の定着と各大学の紀要等、学術雑誌のオープンアクセス化は進むと思われるが、利用者のニーズに応えられるよう真摯に対応していきたい。

[活動内容]

本学卒業生については2023年5月11日から図書館利用サービスを再開した。

[活動内容に対する自己評価]

本学卒業生への図書館利用サービスを再開できたことは評価できる。一般学外者の利用については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、再開に向けて検討していききたい。

4. 情報発信について

[活動内容]

ホームページについては、新着図書案内等、随時、新しい情報に更新した。

[活動内容に対する自己評価]

学術データベースについては、ID・パスワードを申請することで、学外からも文献検索をすることができ、多くの学生からの申請に対応していることは評価できる。

[活動内容]

企画、展示を6回実施した。

- ①「新生活応援」【展示期間】2023/4/5（水）～7/4（火）
- ②「2023 本屋大賞受賞作品フェア」【展示期間】2023/7/5（水）～9/11（月）
- ③「Wellcome !!I.S.K インターナショナルスクールのみなさん 天使大学図書館の本ってどんな本？」9/13（水）I.S.K 札幌インターナショナルスクールの小学生がキャリア教育のひとつとして体験学習に来学し、図書館を見学した。
【展示期間】2023/9/12（火）～10/1（日）
- ④「TRICK or READ !」【展示期間】2023/10/3（火）～11/6（月）
- ⑤「クリスマスを味わう本」【展示期間】2023/11/20（月）～12/28（木）
- ⑥「料理レシピ本大賞受賞作品フェア」【展示期間】2024/1/22（月）～3/15（金）ま

	<p>た、今年度をもって幕を閉じる「天使学園」の沿革と、関連資料等について 2023/12～2024/3 末まで特設コーナーを設置した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>企画、展示を定期的実施し、情報を発信したことは評価できる。</p> <p>それにより、図書館施設の多様な有効活用と利用者数の拡大、そして交流の機会の拡大を図られた。次年度も各種イベントや展示を継続して開催していきたい。</p> <p>合わせて、オープンキャンパスや学内見学等で図書館を来館する高校生等にも本学の特徴等、わかりやすい展示も企画していきたい。</p> <p>また、天使学園のこれまでの歴史的資料等についても、随時収集と保存に努め、関連する行事等の際には、適宜展示していきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>新著図書や雑誌等の最新情報をより分かりやすく提供出来るよう、閲覧室内の資料の配置等について工夫した。「いのち」を考える本学ならではのゼミ「生と死の看護ゼミ」に関連する図書コーナーを復活させ、来館した高校生にも関心を持ってもらい、志願者の増加につながる一助となれるよう協力していきたい。両学科合同科目「国際保健学演習」についても、関連する図書コーナーを 2023/12 下旬～2024/2 月上旬まで設置した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>本学ならではのゼミや、両学科合同科目について関連する図書コーナーを設置して、本学の学びの特徴を具現化し、より関心を持ってもらえたことは評価できる。</p> <p>今後も、閲覧室内の資料の配置も含めて常に新しい情報も取り入れながら、情報発信していきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>学生や教職員のサポート、セキュリティ強化に努めた。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>図書館と情報処理室と常に連携を取りながら、学生や教職員のサポート、セキュリティ強化に努めたことは評価できる。</p> <p>専門職業人を育成する本学においては、高度な専門性を求められる場合もあり、研修への参加や自己研鑽など日々重ね、利用者の声に丁寧に対応出来る図書情報課職員としての資質の向上を図っていきたい。</p> <p>[活動内容]</p> <p>札幌近郊の大学図書館職員との業務情報交流会に参加した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>北星学園大学と札幌学院大学が世話人となって、札幌近郊の大学図書館職員に対して業務情報交流会のご案内をいただいた。</p> <p>業務外の時間設定で、開催も不定期で、有志による企画ではあったが、本図書館の司書職員3名が積極的に参加し、図書館業務に対する課題や悩みを共有し、図書館職員同士のネットワークを広げ、研鑽を積めたことは評価できる。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献検索ガイダンス等の実施による教育・学修支援 2. グループ学習室の図書館施設としての活用による教育・学修支援 3. 学術情報等をホームページ等で公開する事による研究支援 4. 他大学図書館等との連携を強化する等の社会貢献 5. ホームページ等を整備・充実する等の情報発信

1 1. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. サーバ、学内 LAN、無線 LAN 環境、PC の整備・維持管理 2. 現代に即した情報処理室運営 3. システムの更改検討 4. 教職員 PC 入れ替え検討</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 8 教育研究等環境 ②</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-4 (3)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. サーバ、学内 LAN、無線 LAN 環境、PC の整備・維持管理 [活動内容①] 今年度発生したシステム障害 (NAS のディスク故障、サーバのストレージ枯渇等) について、早急に対応を行った。 [活動内容に対する自己評価①] 業務に影響が出ないよう対応を行った点は評価できる。</p> <p>[活動内容②] サーバ、ネットワーク、PC 等のメンテナンス作業を実施した。 [活動内容に対する自己評価②] 定期的なメンテナンス作業を実施することで利用中の不具合を最小限に抑えることができた点については評価できる。</p> <p>2. 現代に即した情報処理室運営 [活動内容①] 学生が自習時間帯にほとんど情報処理室を利用していない状況を踏まえ、情報処理室の今後の利用方法について検討を行った。 現状は学生が 1 人 1 台 PC を持っており、自分の PC で作業する傾向が強くなっているため、次年度のシステム更改の際に常設 PC を減らし、空いたスペースで学生個人の PC が利用できる環境を提供することとした。 [活動内容に対する自己評価①] 現状の利用状況を踏まえ、情報処理室の利用方法について検討したことは評価できる。</p> <p>3. システムの更改検討 [活動内容①] 次年度、実施予定のシステム更改に向けて、作業内容を検討した。本作業を進めるにあたって、以下の日程で学内調整を進めた。 10 月 10 日 対応内容について事務連絡会議で説明した。 11 月 7 日 作業に伴う現状との変更点について事務連絡会議で説明した。 11 月 7 日 本委員会でも審議し、各学科・科からの意見聴取を依頼した。 11 月 12 日 本委員会でも各学科・科からの意見を踏まえた最終案を審議し、了承された。 12 月 11 日 学部教授会に提案し、了承された。 12 月 13 日 助産研究科教授会に提案し、了承された。 [活動内容に対する自己評価①] 膨大な費用が伴う作業のため、事務連絡会議、各委員会で順に機関決定し、学内の合意が得られるよう慎重に進めた点は評価できる。</p>

	<p>4. 教職員 PC の入れ替え検討</p> <p>[活動内容①]</p> <p>教職員 PC を Windows10 から Windows11 に入れ替える検討を行った。</p> <p>入替後の機器について、デスクトップ PC ではなく、低価格かつ利用の幅が広がるノート PC を選定する方針とした。</p> <p>[活動内容に対する自己評価①]</p> <p>ノート PC に入れ替える上で、現状より不便な使用方法にならないように大型モニター、外付マウス、外付キーボードを利用する構成とし、現状と同等の使用方法で提供できるよう検討を進めた点は評価できる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、PC の整備・維持管理 2. 現代に即した情報処理室運営 3. サーバネットワークシステムの更改対応 4. 教職員 PC 入れ替え対応

1 2. 施設・設備

担 当：事務局（財務室）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期財務計画に基づいた施設・設備の整備を行う。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 8 教育研究等環境②、⑥</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-4</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 中期施設整備計画に基づき、既存棟における建物や設備の老朽化に伴う改修工事及び機器の更新工事を実施する。</p> <p>[活動内容]</p> <p>2023 年度に行った主な改修工事等は以下のとおりである。</p> <p>① 7 号館、8 号館 LED 照明交換工事</p> <p>② 1 号館、4 号館研究室エアコン設置工事</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>7 号館、8 号館の照明を LED 照明に交換し CO2 削減による環境保護及びコストの削減に繋げた。</p> <p>また、1 号館及び 4 号館の研究室にエアコンを設置し、労働環境の改善に繋げた。</p> <p>その他の修繕工事についても計画どおりに終了することができた。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中期財務計画に基づいた施設・設備の整備を行う。</p>

1 3. 管理運営

担 当： 事務局（総務課）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2024 年度の法人統合に向けて、本学の管理運営に関する組織の設置準備及び法人から学長への委任事項を検討する。</p> <p>2. 2024 年度の法人統合後を見据えた天使大学の校務分掌の見直しを検討する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 10 大学運営・財務－ (1) 大学運営－①・②</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ－1 (1)</p> <p>戦略目標Ⅳ－1 (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 天使大学の管理運営組織の設置について</p> <p>[活動内容]</p> <p>藤学園との法人統合により、2024 年度から藤天使学園となることから、本学園理事会に代わる天使大学の管理運営に関する組織を設置準備し、法人統合協議会において、新法人理事会から天使大学学長への委任事項を協議し、藤天使学園理事会業務委任規則の一部改正及び天使大学学長職務権限規程を新たに制定することとした。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>法新法人の理事会業務委任規則及び本学の学長職務権限規程に基づき、本学の管理運営に関する事項を学内で協議する組織として、新年度から管理運営協議会を新設することとなったことは評価できる。</p> <p>2. 校務分掌の見直しについて</p> <p>[活動内容]</p> <p>法人統合を契機に学内規程及び校務分掌を見直しする際に、法人設置委員会の廃止又は学内設置委員会としての継続、常設委員会と特設委員会の見直しを実施するとともに、委員会構成員や委員会定足数を改正した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>校務分掌の見直しにより、委員総定数の削減を図りつつも、委員会を適切に配置し、法人統合後の校務分掌を見直しできたことは評価できる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 管理運営協議会の円滑な運営に努める。</p> <p>2. 天使大学職務権限規程に基づき、天使大学の自律的な運営に努める。</p>

1 4. 財務

担 当： 事務局（財務室）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期財務計画の見直し 2. 経常費補助金等、私学助成金の獲得を目指す 3. 寄付金等、外部資金の獲得を目指す 4. 財務諸規程の見直し</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 10 大学運営・財務 (2) 財務①、②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 中期財務計画の見直し [活動内容] 2024 年 4 月に学校法人藤学園と統合することから、今年度は 2022 年度に策定した中期財務計画をベースに最小限の見直しに留めた。 [活動内容に対する自己評価] 現状を踏まえながら毎年度、中期計画を柔軟に見直し策定している点は評価できる。 また、次年度以降も校舎の改修・更新工事やネットワーク更改工事が予定されているため、財務状況は厳しくなることが予想されるが、収支が均衡するよう、毎年度の経営状況に留意しながら新法人においても中期財務計画及び単年度の予算編成と執行について検討を行えるよう基礎資料を整えていきたい。</p> <p>2. 経常費補助金等、私学助成金の獲得を目指す [活動内容] 教育の質に係る客観的指標調査は 43 点/44 点を獲得し、一般算定の増減率は昨年度に引き続きプラス 6 点となった。 [活動内容に対する自己評価] 教育の質に係る客観的指標調査については数年間に渡って全学で取り組んだ結果であり、私学助成金の獲得に繋がることのできたことは評価できる。</p> <p>3. 寄付金等、外部資金の獲得を目指す [活動内容] 助産研究科に係る寄付金募集について検討を開始したが、募集の開始には至らなかった。 [活動内容に対する自己評価] 引き続き助産研究科と協力しながら取り組んでいきたい。</p> <p>4. 財務諸規程の見直し [活動内容] 学校法人藤学園との統合を見据えて、経理規程等の見直しに取り組んだ。 また、2024 年度から会計ソフトを変更するため、規程の改正と並行して会計ソフトの導入について検討を行った。 [活動内容に対する自己評価] 会計ソフトの導入についての準備は順調に進んでおり、2024 年 4 月から問題なく稼働できる見込みである。 経理規程等、主要な経理関係規程についての改正手続きは終了したが、検討中の規程も多く残されている。2025 年度から施行できるよう速やかに規程の見直しを進めたい。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 中期財務計画の見直し2. 経常費補助金等、私学助成金の獲得を目指す3. 寄付金等、外部資金の獲得を目指す4. 財務諸規程の見直し
---------	--

15. 事務組織

担当：事務局（総務課）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2024年度の法人統合に向けて準備作業を行い、天使大学事務局の3課2室体制について見直しを検討する。</p> <p>2. 専任職員と臨時職員の人数にも配慮し、事務局の人員配置を考慮していく。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準10 大学運営・財務－(1) 大学運営－①・②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ－1 (1)</p> <p>戦略目標Ⅳ－1 (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 事務局の3課2室体制について</p> <p>[活動内容]</p> <p>事務局の3課2室体制について、法人統合を契機に新年度からは5課体制とすることとした。</p> <p>また、事務職員が少ないことから、課・室の枠組みにとらわれることなく、事務局全体で横断的に業務に取り組んでいる。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>今年度は、法人合併の認可申請業務、看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程設置の認可申請業務及び管理栄養士養成施設の認可申請業務など、課・室にまたがる業務を行ったが、事務局全体でカバーしながら業務を遂行できたことは評価できる。</p> <p>2. 事務局の人員配置について</p> <p>[活動内容]</p> <p>事務局の人員配置について、法人統合を見据えて、法人関連業務を遂行する専任職員を配置するため、職員の選考を実施した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>各課・室の適正な人員配置を行った結果、時間外勤務の削減を達成できたことは評価できる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 藤天使学園法人局との連携のために、事務担当職員を配置し、適切な業務運営に努める。</p>

16. 自己点検・評価活動

担 当： 内部質保証推進委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教学マネジメント委員会の設置を受けて、内部質保証推進委員会、IR、カリキュラム検討委員会の各々の役割機能、活動範囲を明確にし、学内に周知する。 2. 助産評価機構 2023 年度受審を進める。 3. 看護学分野別評価 2024 年度受審に向けて、ワーキングを中心に看護学科教員が協働して進める。 4. 外部評価委員による評価方法を検討する。 5. 年度末評価報告会の在り方を検討する。 6. 2022 年度自己点検・評価における課題を整理し、学長・理事長に報告する。学長、理事長からの改善指示は担当部署にフィードバックする。 7. 2023 年度教育の質にかかる客観的指標調査に取り組む。 8. 看栄研、助産研究科における学修成果の評価について検討を進める。 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>2. 内部質保証 ①②③④⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-1 教学マネジメントの確立と課題への対応 (2) (3) (4) (5)</p> <p>II-2 内部質保証体制と点検評価の実質化 (1) (2) (3) (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部質保証推進委員会、教学マネジメント委員会、IR、カリキュラム検討委員会の各役割機能および活動範囲の明確化・学内周知について [活動内容] <p>教学関連においてはアセスメントポリシーに基づき、各担当部署が主体的に自己点検評価活動を実施しており、全学的なカリキュラム評価にむけたデータの集積が進みつつある。</p> <p>2023 年度は、教学マネジメント委員会の発足をうけ、「内部質保証と教学の関連図」を教授会における検討を踏まえて改訂し、関連する組織の役割を整理した。</p> <p>さらに教学マネジメント委員会の役割を「学修成果の評価」に集約し、2020 年度カリキュラムによる学修成果の評価のための IR 室とカリキュラム検討委員会の活動内容を整理した。2024 年 2 月末から、2020 年カリキュラムの学修成果に関する IR 室分析結果を動画にて学内共有した。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 今年度は、教学マネジメント委員会が始動したことから、内部質保証推進委員会、IR 室、カリキュラム検討委員会の役割分担が成立されたことは評価できる。今後、学内全体の自己点検評価のリーダーシップは内部質保証推進委員会が担い、学修成果の評価は教学マネジメント委員会が中心的に担う方向で、活動が定着することが期待される。</p> 2. 助産評価機構 2023 年度受審について [活動内容] <p>2023 年 6 月に助産評価機構へ点検評価報告書を提出し、2023 年 10 月 23 日に現地調査を受けた。2023 年 12 月末に評価報告書原案を受け、12 の改善を要する点があったものの、助産専門職大学院評価基準に適合していると認定された。</p> <p>[活動内容に対する自己評価] 助産専門職大学院評価基準に適合していると認定されたことは評価できる。しかし、12 の改善を要する点が付されたため、改善に向けて全学的に取り組む必要がある。</p>

3. 看護学分野別評価 2024 年度受審について

[活動内容]

2023年4月25日に受審校説明会（オンライン）を受けた。看護学科教員が主になり点検評価報告書を作成し、2024年3月末に点検評価報告書草案を提出した。

[活動内容に対する自己評価]

看護学分野別評価に向けて前年度から取り組んでいたことから、事前に課題を洗い出し、改善に向けて取り組んでいたことで、スムーズに点検評価報告書を作成できたことは評価できる。引き続き、本提出に向けて取り組むと同時に、実地調査に向けての準備を行う。

4. 外部評価委員による評価方法の検討について

[活動内容]

2名の外部評価委員により、本学の自己点検評価の仕組みに関する意見を主に聴取した。指摘事項はなく、ハラスメント対応に関する質問があった。

[活動内容に対する自己評価]

教学に関する評価、意見を聴取するために、外部委員として大学の教学に関する学識経験者を委嘱することが課題である。

5. 年度末評価報告会の在り方の検討について

[活動内容]

天使学園としての最終年度であることから、年度末評価報告会は例年通りの開催とした。

[活動内容に対する自己評価]

来年度は、大学基準協会第4期認証評価の受審に向けて、報告内容、開催の仕方を検討する必要がある。

6. 2022 年自己点検・評価における課題の整理および理事長・学長への報告について

[活動内容]

度末評価報告会、および教授会を通して、全学の活動報告をするとともに、自己点検評価報告書の完成をもって、理事長・学長への最終報告とした。

[活動内容に対する自己評価]

自己点検評価報告書の作成にあたり、活動報告のみならず、評価の視点を意識して作成をしたことは、次年度以降の活動に向けた改善につながり評価できる。

2024年度以降は大学基準協会第4期認証評価の受審に向けて、自己点検評価報告書の作成内容、形式について検討する必要がある。

7. 2023 年度教育の質にかかる客観的指標調査について

[活動内容]

学内に周知を図り、43点を獲得することができた。

[活動内容に対する自己評価]

客観的指標調査の得点を意識して改善した体制が継続して有効に機能するよう、さらに整備を進める必要がある。

8. 栄養研、助産研究科における学修成果の評価の検討について

[活動内容]

栄養管理学専攻においては、ルーブリックを活用した研究指導と評価が行われており、看護学専攻においてはDPの到達度に関するルーブリック評価が行われている。

	<p>[活動内容に対する自己評価]</p> <p>専攻毎に異なる評価形式ではあるものの、学修成果の可視化がされている事は評価できる。栄養管理学専攻においては、大学院全体の学修成果を可視化することが課題である。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 2024 年度日本看護学教育評価機構による看護学科の受審を滞りなく進める。2. 2025 年度大学基準協会第 4 期認証評価の受審に向けて、準備を進める。3. アセスメントポリシーに基づき、教学マネジメント委員会、IR 委員会、IR 室との連携を進める。4. 大学全体の主体的な自己点検、評価活動を推進する。

16. 自己点検・評価活動

担 当： 教学マネジメント委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>2023年度については、次の2点について検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会活動目標及び活動計画の策定 2. 2020年度以降入学生カリキュラムにおける学修成果の可視化 3. 入学者の学力等分析 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4：教育課程・学習成果 ⑥⑦</p> <p>基準5：学生の受け入れ ④</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会活動目標及び活動計画の策定 <p>今年度に発足した教学マネジメント委員会の活動目標及び活動計画について定めた。 また、関連して、内部質保証推進委員会に対して「天使大学における内部質保証と教学の関連図」の修正意見を提出した。</p> <p>[自己評価]</p> <p>学内他部署等との役割分担を整理しながら、教学マネジメント委員会の活動について整理することができた。</p> 2. 2020年度以降入学生カリキュラムの評価 <p>次年度に2020年度入学者におけるディプロマ・ポリシー到達度の分析作業を行なうに当たり、今年度は、2020年度入学生における学修成果の現状（3年次までのデータ等）を共有し、学科会議等においてカリキュラム評価に関する意見交換を行う機会を設けた。</p> <p>[自己評価]</p> <p>2020年度入学生以降カリキュラムの評価に向けて、両学科の教員と情報共有しながら検討作業を進めることができた。</p> 3. 入学者の学力等分析 <p>入学者のアドミッション・ポリシー到達度の分析作業を行うことを決定した。</p> <p>[自己評価]</p> <p>入試・広報室へ相談をしながら作業を行うことを決定したが、具体の検討については次年度に継続されることになった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度以降入学生カリキュラムの評価 2. 入学者のアドミッション・ポリシー到達度及び学修状況の分析 3. 授業評価データの活用方法等の検討

自己点検・評価資料

目次

1. 学事暦	68
2. 2023年度教育課程	70
3. 学生数・奨学金の採用状況	83
4. 国家試験合格率	87
5. 就職・進学状況	88
6. 2024年度入学試験結果	92
7. 教員組織	93
8. 事務組織	95
9. 研究等の活動	96
10. 組織図	98
11. 会議の開催状況	99
12. 委員会構成一覧	107
13. 委員会の活動報告	109
14. 図書館の利用状況	133
15. 情報処理室の利用状況	134
16. 施設・設備の状況	135
17. 財務状況	137

2023年度 学事暦【看護学科】

1. 学事暦

「土曜・祝日は必要に応じて開講日とします。授業予定の詳細については、各学科・学年毎に示される授業予定表で確認してください。」

2023.3.13
教授会

暦							1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等	
日	月	火	水	木	金	土						
26	27	28	29	30	31	1	4/4 入学式・オリエンテーション 4/4・5 オリエンテーション 4/6・7 出会いと親睦ゼミ 4/10 授業開始(前期) 4/10-14 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-12 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-12 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-12 履修登録期間	4/8(1・4年・院)・9(2・3年)健診 4/10PM イースターの集い/学生総会	
2	3	4	5	6	7	8						
9	10	11	12	13	14	15						
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29						
30	1	2	3	4	5	6						
7	8	9	10	11	12	13				↑ 精神看護学臨地実習 在宅看護学臨地実習 小児看護学臨地実習 母性看護学臨地実習 5/8-7/14		
14	15	16	17	18	19	20						
21	22	23	24	25	26	27						
28	29	30	31	1	2	3					6/3 B肝1回目・小児4種ワクチン接種(1・2年) 6/8PM-10 天使祭 6/10 オープンキャンパス	
4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24						
25	26	27	28	29	30	1					7/8 B肝2回目・小児4種ワクチン接種(1・2年)	
2	3	4	5	6	7	8						
9	10	11	12	13	14	15		7/31-8/25 夏期休業	7/31-8/25 夏期休業	↓ 統合看護臨地実習 7/18-28		
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29						
30	31	1	2	3	4	5	8/7-9/8 夏期休業				8/7-9/8 夏期休業	8/5・6 オープンキャンパス
6	7	8	9	10	11	12						
13	14	15	16	17	18	19						8/14-8/16 大学休業日
20	21	22	23	24	25	26						
27	28	29	30	31	1	2		↑ 基礎看護学臨地実習Ⅱ 8/28-9/8	↑ 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 小児看護学臨地実習 母性看護学臨地実習 8/28-10/27			
3	4	5	6	7	8	9						
10	11	12	13	14	15	16	↑ 9/11 授業開始(後期) ↓ 9/11-15 履修登録変更期間	9/19 授業開始(後期) 9/19-9/25 履修登録変更期間		9/11 授業開始(後期) 9/11-9/15 履修登録変更期間	9/16 入試(大学院) 9/23 オープンキャンパス	
17	18	19	20	21	22	23						
24	25	26	27	28	29	30					9/29 前期学位記・卒業証書授与式	
1	2	3	4	5	6	7						
8	9	10	11	12	13	14						
15	16	17	18	19	20	21						
22	23	24	25	26	27	28	↑ 基礎看護学臨地実習Ⅰ 10/23・24・25 ↓ 10/30・31・11/1	10/31・11/1 修養会	↑ 成人看護学臨地実習Ⅱ 10/30-12/7		10/14 入試(大学院)	
29	30	31	1	2	3	4						
5	6	7	8	9	10	11		↑ 老年看護学臨地実習Ⅰ ↓ 11/13-17				
12	13	14	15	16	17	18		11/20PM 看2戴帽式総練習 11/21PM 戴帽式			10/28 追試(大学院)	
19	20	21	22	23	24	25					11/11 B肝3回目・小児4種ワクチン接種(1・2年) 11/18 入試(学部)	
26	27	28	29	30	1	2						
3	4	5	6	7	8	9						
10	11	12	13	14	15	16			↓ 12/12 授業開始(後期) 12/12-18 履修登録変更期間		12/2 追試(学部) 12/8 創立記念日 12/11 体育祭 12/18PM クリスマスの集い・学生総会 12/25 クリスマス降誕祭	
17	18	19	20	21	22	23						
24	25	26	27	28	29	30	12/24-1/8 冬期休業	12/24-1/8 冬期休業	12/24-1/8 冬期休業	12/24-1/8 冬期休業		
31	1	2	3	4	5	6						
7	8	9	10	11	12	13			1/16・17 修養会		1/13・14 大学入学共通テスト 1/20 入試(大学院)	
14	15	16	17	18	19	20					1/27・28 大学入学共通テスト(追試)	
21	22	23	24	25	26	27						
28	29	30	31	1	2	3	1/29-2/2 定期試験(検討中)	1/29-2/2 定期試験(検討中)		1/31-2/2 追再試験(検討中)	2/6・7・15 入試(学部)	
4	5	6	7	8	9	10	2/5-3/31 春期休業	2/5-3/31 春期休業				
11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24	2/20-22 追再試験(検討中)	2/20-22 追再試験(検討中)	2/20-22 定期試験(検討中)	2/19・20 修養会 2/22 卒業判定	2/26 追試(学部)	
25	26	27	28	29	1	2			2/26-3/31 春期休業		3/2 追試(大学院)	
3	4	5	6	7	8	9			3/5-7 追再試験(検討中)		3/11 進級判定(看3除く)	
10	11	12	13	14	15	16				3/14 卒業・修了感謝のミサ 3/15 卒業証書・学位記授与式	3/23 オープンキャンパス	
17	18	19	20	21	22	23			3/22 進級判定			
24	25	26	27	28	29	30						
31												

この学事暦の日程は、一部変更することがあります。学期では、前期 4月1日から9月15日まで、後期 9月16日から翌年3月31日までと定められていますが、実際には、臨地(学外)実習などの事情により、学科・学年ごとに学事暦が異なります。

2023年度 学事暦【栄養学科】

「土曜・祝日は必要に応じて開講日とします。授業予定の詳細については、各学科・学年毎に示される授業予定表で確認してください。」

2023.3.13
教授会

暦		1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>30</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>31</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							<p>4/4 入学式・オリエンテーション 4/4・5 オリエンテーション 4/6・7 出会いと親睦ゼミ 4/10 授業開始(前期) 4/10-14 履修登録期間</p>	<p>4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-12 履修登録期間</p>	<p>4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-12 履修登録期間</p>	<p>4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-12 履修登録期間</p> <p>↑ 公衆栄養学実習Ⅱ 5/29-6/16、(8/14-9/15) (うち5日間)</p> <p>↓ 給食経営管理論実習Ⅲ 5/29-6/16(うち5日間)</p> <p>栄養教育論実習 6/5-6/16(うち5日間)</p> <p>8/7-9/15 夏期休業</p> <p>↑ 公衆栄養学実習Ⅱ 8/14-9/15、(5/29-6/16) (うち5日間)</p> <p>給食経営管理論実習Ⅳ 8/14-9/15(うち5日間)</p> <p>臨床栄養学実習Ⅴ・Ⅵ 8/14-9/15(うち15日間)</p> <p>9/19 授業開始(後期) 9/19-9/25 履修登録変更期間 9/29 前期学位記・卒業証書授与式</p> <p>↑ 給食経営管理論実習Ⅱ 10/2-10/6</p> <p>↑ 臨床栄養学実習Ⅲ 10/30-11/17(うち10日間)</p> <p>↓</p> <p>11/30・12/1 修養会</p> <p>12/14・15 修養会</p> <p>12/24-1/8 冬期休業</p> <p>1/29-2/2 定期試験(検討中) 2/5-3/31 春期休業 2/20-22 追再試験(検討中)</p> <p>1/29-3/31 春期休業 1/31- 2/2 追再試験(検討中) 2/22 卒業判定 3/14 卒業・修了感謝のミサ 3/15 卒業証書・学位記授与式</p>	<p>4/8(1・4年・院)・9(2・3年)健診 4/10PM イースターの集い/学生総会</p> <p>6/3 B肝1回目・小児4種ワクチン接種(1・2年) 6/8 PM-10 天使祭 6/10 オープンキャンパス</p> <p>7/8 B肝2回目・小児4種ワクチン接種(1・2年)</p> <p>8/5・6 オープンキャンパス</p> <p>8/14-8/16 大学休業日</p> <p>9/16 入試(大学院) 9/23 オープンキャンパス</p> <p>10/14 入試(大学院)</p> <p>10/28 追試(大学院)</p> <p>11/11 B肝3回目・小児4種ワクチン接種(1・2年) 11/18 入試(学部)</p> <p>12/2 追試(学部) 12/8 創立記念日 12/11 体育祭 12/18PM クリスマスの集い・学生総会 12/25 キリスト降誕祭</p> <p>1/13・14 大学入学共通テスト 1/20 入試(大学院) 1/27・28 大学入学共通テスト(追試)</p> <p>2/6・7・15 入試(学部)</p> <p>2/26 追試(学部)</p> <p>3/2 追試(大学院) 3/11 進級判定 3/23 オープンキャンパス</p>
	日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	26	27	28	29	30	31	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	9	10	11	12	13	14	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	16	17	18	19	20	21	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	23	24	25	26	27	28	29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	30	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	7	8	9	10	11	12	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	14	15	16	17	18	19	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	21	22	23	24	25	26	27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	28	29	30	31	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	11	12	13	14	15	16	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	18	19	20	21	22	23	24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25	26	27	28	29	30	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	9	10	11	12	13	14	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	16	17	18	19	20	21	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	23	24	25	26	27	28	29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	30	31	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	13	14	15	16	17	18	19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	20	21	22	23	24	25	26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	27	28	29	30	31	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	17	18	19	20	21	22	23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
15	16	17	18	19	20	21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
29	30	31	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5	6	7	8	9	10	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
12	13	14	15	16	17	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
19	20	21	22	23	24	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
26	27	28	29	30	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
17	18	19	20	21	22	23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
31	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7	8	9	10	11	12	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
14	15	16	17	18	19	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
21	22	23	24	25	26	27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
28	29	30	31	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
11	12	13	14	15	16	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
18	19	20	21	22	23	24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
25	26	27	28	29	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
17	18	19	20	21	22	23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

この学事暦の日程は、一部変更することがあります。学期では、前期 4月1日から9月15日まで、後期 9月16日から翌年3月31日までと定められていますが、実際には、臨地(学外)実習などの事情により、学科・学年ごとに学事暦が異なります。

2. 2023年度教育課程

1) 看護学科

〈2022年度以降入学生対象〉

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実習		
しきたり 人間教育を 基盤と する 科目群	キリスト教概論	1前	2		○			必修科目114単 位、選択科目15 単位以上(選択 必修科目含む) 修得	
	聖書の講読	1後		▲2	○				
	キリスト教人間学	2前		▲2	○				
	キリスト教思想論	2後		▲2	○				
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1前	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅢ	3後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅣ	4後	1		○				
小計(8科目)		—	6	6	—				
教養教育科目群	共通 基礎	基礎学修演習	1前	1		○		—	
		情報処理演習	1前		1	○			
		教養ゼミ	2後		2	○			
	自然 科学	化学	1前	2		○			
		生物学	1前		2	○			
		データの科学	1後	2		○			
		科学的思考	2前		2	○			
	外国語	英語ⅠA	1前	1			○		
		英語ⅠB	1後	1			○		
		英語ⅡA	2前		1		○		
		英語ⅡB	2後		1		○		
		オーラルイングリッシュⅠA	1前	1			○		
		オーラルイングリッシュⅠB	1後	1			○		
		オーラルイングリッシュⅡA	2前		1		○		
		オーラルイングリッシュⅡB	2後		1		○		
		フランス語	2前		1		○		
		中国語	2前		1		○		
	韓国語	2前		1		○			
	スペイン語	2前		1		○			
	健康・ スポーツ	健康とスポーツⅠ	1通		1		○		
		健康とスポーツⅡ	2通		1		○		
小計(21科目)		—	9	17	—				
共通教養教育科目	人間と 文化	倫理学	1後	2		○			
		宗教学	1後		2	○			
		音楽概論	1後		2	○			
		美術概論	1後		2	○			
		民族と異文化理解	2後		2	○			
	人間と 社会	法学(日本国憲法)	1前		2	○			
		対人関係の心理学	1前		2	○			
		社会学	1前		2	○			
		近現代の日本	1後		2	○			
		現代の政治経済	2後		2	○			
小計(10科目)		—	2	18	—				
小計(31科目)		—	11	35	—				
専門教育科目群	専門 基礎科 目	形態機能学Ⅰ	1前	2		○			
		形態機能学Ⅱ	1後	2		○			
		栄養代謝学	1前	2		○			
		微生物学	1後	2		○			
		病理学	1後	2		○			
		看護薬理学	2前	2		○			
		病態診療学Ⅰ	2前	2		○	○		
		病態診療学Ⅱ	2後	2		○			
		環境健康論	1後	2		○			
		社会福祉論	1前	2		○			
		保健医療福祉システム論	3前	2		○			
		生涯発達論	1前	1		○			
		医療と倫理	2前	1		○			
		医療人類学	4後		1	○			
小計(14科目)		—	24	1	—				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
看護基礎科目	看護学原理	1前	2		○				
	人間関係論	1後	1			○			
	看護過程とヘルスアセスメントⅠ	2前	2		○				
	看護過程とヘルスアセスメントⅡ	2前	1			○			
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	1			○			
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2			○			
	基礎看護技術論Ⅲ	2前	1			○			
	基礎看護技術論Ⅳ	2前	1			○			
	小計(8科目)	—	—	11	0	—	—	—	
	専門教育科目群 看護臨床科目	地域看護学Ⅰ	2前	1		○			
		地域看護学Ⅱ	2後	1		○			
		成人看護学Ⅰ	2前	1		○			
		成人看護学Ⅱ	2後	2			○		
		成人看護学Ⅲ	3前	2		○	○		
		老年看護学Ⅰ	2前	2		○			
		老年看護学Ⅱ	3前	2		○	○		
		小児看護学Ⅰ	2後	2		○			
		小児看護学Ⅱ	3前	2		○	○		
		母性看護学Ⅰ	2後	1		○			
		母性看護学Ⅱ	2後	2		○			
		母性看護学Ⅲ	3前	1			○		
		精神看護学Ⅰ	2後	1		○			
		精神看護学Ⅱ	3前	2		○			
		精神看護学Ⅲ	3後	1			○		
		在宅看護学Ⅰ	3前	1		○			
		在宅看護学Ⅱ	3後	2		○			
		家族看護学	3前	1		○			
		医療安全	3前	1		○			
		多職種連携	1後	1		○			
	多職種連携演習	3後	1			○			
	看護倫理	4前	1		○				
	臨地実習科目	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1後	1				○	
基礎看護学臨地実習Ⅱ		2後	2				○		
成人看護学臨地実習Ⅰ		3後	3				○		
成人看護学臨地実習Ⅱ		3後	3				○		
老年看護学臨地実習Ⅰ		2後	1				○		
老年看護学臨地実習Ⅱ		3後	3				○		
小児看護学臨地実習		3後～4前	2				○		
母性看護学臨地実習		3後～4前	2				○		
精神看護学臨地実習		4前	2				○		
在宅看護学臨地実習		4前	2				○		
小計(32科目)	—	—	52	0	—	—	—		
小計(54科目)	—	—	87	1	—	—	—		
統合発展科目群	生と死の看護ゼミ	2後	1			○			
	ホスピス・緩和ケア論	3前	1		○				
	ヘルスプロモーション活動論	3後		1	○				
	リハビリテーション看護学	4前		1	○				
	国際保健学	2前		1	○				
	国際保健学演習	2後/3後		1		○			
	看護英文講読	3後		1	○				
	看護研究の基礎	3後	1			○			
	看護研究	4前後	2			○			
	看護管理	4前	1		○				
	災害看護学	4前	1		○				
	看護教育学	4前		1	○				
	統合看護臨地実習	4前	2				○		
	統合看護技術演習	4後	1			○			
小計(14科目)	—	—	10	6	—	—	—		
合計(107科目)	—	—	114	48	—	—	—		

▲は選択必修科目

2) 栄養学科

<2020年度以降入学生対象>

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
しきたり 人間教育を 基盤と 目群	キリスト教概論	1前	2		○			必修科目104単位、 選択科目23 単位以上(選択 必修科目含む) 修得	
	聖書の講読	1後		▲2	○				
	キリスト教人間学	2前		▲2	○				
	キリスト教思想論	2後		▲2	○				
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1前	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅢ	3後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅣ	4後	1		○				
小計(8科目)		—	6	6	—				
教養教育科目群	共通基礎	基礎学修演習	1前	1			○		
		情報処理演習	1前		1		○		
		教養ゼミ	2後		2	○			
	自然科学	化学	1前	2		○			
		生物学	1前		2	○			
		データの科学	1後	2		○			
		科学的思考	2前		2	○			
	外国語	英語ⅠA	1前	1			○		
		英語ⅠB	1後	1			○		
		英語ⅡA	2前		1		○		
		英語ⅡB	2後		1		○		
		オーラルイングリッシュⅠA	1前	1			○		
		オーラルイングリッシュⅠB	1後	1			○		
		オーラルイングリッシュⅡA	2前		1		○		
		オーラルイングリッシュⅡB	2後		1		○		
		フランス語	2前		1		○		
	健康・スポーツ	中国語	2前		1		○		
		韓国語	2前		1		○		
		スペイン語	2前		1		○		
	健康とスポーツⅠ	1通		1			○		
	健康とスポーツⅡ	2通		1			○		
小計(21科目)		—	9	17	—				
共通教養教育科目	人間と文化	倫理学	1後	2		○			
		宗教学	1後		2	○			
		音楽概論	1後		2	○			
		美術概論	1後		2	○			
		民族と異文化理解	2後		2	○			
	人間と社会	法学(日本国憲法)	1前		2	○			
		対人関係の心理学	1前		2	○			
		社会学	1前		2	○			
		近現代の日本	1後		2	○			
		現代の政治経済	2後		2	○			
小計(10科目)		—	2	18	—				
小計(31科目)		—	11	35	—				
専門教育科目群	社会・環境と健康	人間関係論	1前	1		○			
		生涯発達論	1前	1		○			
		公衆衛生学	2前	2		○			
		医療概論	2前		2	○			
		健康管理概論	2後	2		○			
		公衆衛生学実習	2後	1			○		
		保健医療福祉システム論	4前	1		○			
	小計(7科目)		—	8	2	—			
	人体の構造と機能・ 疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	1前	2		○			
		生化学Ⅱ	1後	2		○			
		形態機能学Ⅰ	1前	2		○			
		形態機能学Ⅱ	1後	2		○			
		有機化学	1前		2	○			
微生物学		1後	2		○				
形態機能学実習Ⅰ	1後	1				○			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
専門基礎科目	形態機能学実習Ⅱ	3前	1				○		
	病理学	2前	2			○			
	生化学実験	2前	1				○		
	病態診療学	2後	2			○			
	小計(11科目)	—	17	2	—				
	食べ物と健康	食品科学Ⅰ	1前	2			○		
		食品科学Ⅱ	1後	2			○		
		食品科学Ⅲ	4前	2	2		○		
		調理学	1前	2			○		
		調理学実習Ⅰ	1前	1				○	
		調理学実習Ⅱ	1後	1				○	
		食品科学実験Ⅰ	1後	1				○	
		食品科学実験Ⅱ	3前	1				○	
		食品衛生学	2前	2			○		
		食品衛生学実験	2前	1				○	
		食品微生物学実験	2前	1				○	
		食文化論	4後		1		○		
	小計(12科目)	—	14	3	—				
	小計(30科目)	—	39	7	—				
専門教育科目群	栄養の基礎	基礎栄養学	1後	2			○		
		応用栄養学Ⅰ	2前	2			○		
		応用栄養学Ⅱ	2後	2			○		
		応用栄養学Ⅲ	3後	2			○		
		基礎栄養学実験・実習	2後	1				○	
		応用栄養学実習	3前	1				○	
		スポーツ栄養学	4前		2		○		
		国際栄養学	4後		1		○		
	小計(8科目)	—	10	3	—				
	栄養の教育	栄養教育論Ⅰ	2前	2			○		
		栄養教育論Ⅱ	2後	2			○		
		栄養教育論Ⅲ	3後	2			○		
		栄養教育論実習	3前	1				○	
		カウンセリング演習	3前		1		○		
		学校栄養指導論Ⅰ	3前		2		○		
		学校栄養指導論Ⅱ	3後		2		○		
	小計(7科目)	—	7	5	—				
	栄養の実践	臨床栄養学Ⅰ	2前	2			○		
		臨床栄養学Ⅱ	2後	2			○		
		臨床栄養学Ⅲ	3前	2			○		
臨床栄養学Ⅳ		3後	2			○			
給食経営管理論Ⅰ		2前	2			○			
給食経営管理論Ⅱ		2後	2			○			
給食経営管理論実習Ⅰ		2後	1				○		
臨床栄養学実習Ⅰ		3前	1				○		
臨床栄養学実習Ⅱ		3後	1				○		
臨床栄養学実習Ⅳ		4前	1				○		
公衆栄養学Ⅰ		3前	2			○			
公衆栄養学Ⅱ		3後	2			○			
公衆栄養学実習Ⅰ		3後	1				○		
多職種連携		2後	1			○			
多職種連携演習		3後	1			○			
総合演習Ⅰ	3通年	1			○				
総合演習Ⅱ	4通年	2			○				
在宅栄養管理論	4前	1			○				
地域栄養活動演習	4前		1		○				
フードサービス演習	4前		2		○				
小計(20科目)	—	27	3	—					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実 習		
学 外 実 習	給食経営管理論実習Ⅱ	3後	1				○		
	給食経営管理論実習Ⅲ	4前		▲1			○		
	給食経営管理論実習Ⅳ	4通年		▲1			○		
	公衆栄養学実習Ⅱ	4通年		▲1			○		
	臨床栄養学実習Ⅲ	3後	2				○		
	臨床栄養学実習Ⅴ	4通年		▲1			○		
	臨床栄養学実習Ⅵ	4通年		2			○		
小計 (7科目)	—	—	3	6	—	—	—		
小計 (42科目)	—	—	47	17	—	—	—		
小計 (72科目)	—	—	86	24	—	—	—		
統 合 発 展 科 目 群	国際保健学	2前		1	○				
	国際保健学演習	2後		1		○			
	英文文献講読	3後		1		○			
	食といのちのゼミ	4後	1		○				
	卒業研究	4通年		3		○			
小計 (5科目)	—	—	1	6	—	—	—		
合計 (116科目)		—	104	71	—	—	—		

▲は選択必修科目

3) 教職課程

科目区分	授業科目	開講 年次	学期	単位数		区分			備考
				必修	選択	講義	演習	実習	
教職課程科目	教育原論	1	後		1	1			
	教職概論	1	前		2	2			
	教育制度論	2	前		1	1			
	発達と学習の心理学	1	後		2	2			
	特別支援教育論	2	前		1	1			
	教育課程論	1	後		1	1			
	道徳教育論	2	後		1	1			
	総合学習指導論	3	前		1	1			
	特別活動論	2	後		1	1			
	教育方法論	2	前		1	1			
	教育におけるICT活用論	2	前		1	1			
	生徒指導論	2	後		2	2			
	カウンセリング概論	1	後		2	2			
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1				1
	栄養教育実習	4	前		1				1
	教職実践演習（栄養教諭）	4	前後		2		2		
	教職総合演習	3	後		2		2		
合計					23	17	4	2	

4) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

2023年度以降入学生対象

授業科目	共通科目	配当年次	学期	単位数		授業区分				
				必修	選択	講義	演習	実習		
基礎科目	倫理学特論	☆	1		後	1		1		
	統計学特論	☆	1		前	1			1	
	疫学	☆	1		前	1		1		
	人間関係論特論	☆	1		後		1	1		
	研究方法論特論	☆	1		前	2		2		
	医療情報・医療経済	☆	1		後		1	1		
	国際保健学特論	☆	2		前		1	1		
	国際保健学特論演習	☆	2		前		1		1	
専門基礎科目	食品衛生学特論		1		前	2		2		
	食品機能学特論		1・2	※	前		1	1		
	栄養生理学特論		1・2	※	前		2	2		
	代謝栄養学特論	★	1		後	2		2		
	地域ケアシステム論	☆	1		後		1	1		
	ヘルスカウンセリング論	★	1		前		1		1	
	環境保健学	★	1		前		1	1		
	健康社会学	★	2		前		1	1		
	医療人類学特論	★	2		前		1	1		
専門実践科目	栄養管理学特論		1		前	2		2		
	栄養疫学特論		1		後		1	1		
	健康行動科学特論	☆	1		前	1		1		
	健康・食行動理論		1		前		1	1		
	健康栄養エビデンス論		1・2	※	前		2	2		
	栄養診断学特論		1		後	2		2		
	臨床栄養学特論		1		前	2		2		
	栄養管理学特別研究		1~2		前後	4				4
栄養管理学特別演習		1~2		前後	4			4		
合計					24	16	29	7	4	

修了に必要な単位数:30単位以上

※:隔年開講

☆:両専攻共通科目

★:両専攻選択可能科目

5) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程) 2016年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	配当 年次	学期	単 位 数		授 業 区 分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研 究 方 法 特 論	1	前後	4		4		
基礎系栄養 管理学 分野	基礎系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	基礎系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
実践系栄養 管理学 分野	実践系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
合 計				4	28	8	0	24

修了に必要な単位数：18単位以上

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践 看護師コース		CNS 対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択	必修	選択				
看護学・栄養管理学両専攻共通科目	倫理学特論	☆	1	後	1		1		○	1		1		
	人間関係論特論	☆	1	後		1		1			1	1		
	研究方法論特論	☆	1	前	2		2		○	2		2		
	統計学特論	☆	1	前		1		1		1			1	
	疫学	☆	1	前		1		1		1		1		
	地域ケアシステム論	☆	1	後		1		1		1		1		
	健康行動科学特論	☆	1	前		1		1		1		1		
	医療情報・医療経済	☆	1	後		1		1			1	1		
	国際保健学特論	☆	2	前		1		1			1	1		
国際保健学特論演習	☆	2	前		1		1			1		1		
看護学専攻共通基礎科目	看護理論特論		1	前	2		2		○	2		2		
	看護倫理特論		1	後	1		1		○		1	1		
	看護研究法Ⅰ(量的研究)		1	後		1		1			1		1	
	看護研究法Ⅱ(質的研究)		1	後		1		1			1		1	
	看護教育学特論Ⅰ		1	前		2		2		○	2	2		
	看護教育学特論Ⅱ		1	後		1		1			1		1	
	看護管理学特論		1	後		2		2		○	2	2		
	家族関係論特論		1	前		1		1			1	1		
コンサルテーション論		1	後		1		1		○		1	1		
専門基礎科目	フィジカルアセスメント		1	後			2		○			2		
	病態生理学		1	前		2	2		○			2		
	臨床薬理学		1	前		2	2		○			2		
	保健医療福祉政策論		1~2	後		1		1		○	1	1		
	保健医療福祉行政論		1	前		3					3	3		
	疫学・保健統計特論		1	前		2					2	2		
	ヘルスカウンセリング論	★	1	前		1		1			1		1	
	代謝栄養学特論	★	1	後		2		2			2	2		
	環境保健学	★	1	前		1		1			1	1		
	健康社会学	★	2	前		1		1			1	1		
医療人類学特論	★	2	前		1		1			1	1			
専門分野専門科目	基礎看護学領域	基礎看護学特論Ⅰ		1	前	2						2		
		基礎看護学特論Ⅱ		1	前	2						2		
		基礎看護学演習Ⅰ		1	前	2							2	
		基礎看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2							2	
	成人看護学領域	成人看護学特論Ⅰ		1	前	2						2		
		成人看護学特論Ⅱ		1	前	2						2		
		成人看護学演習Ⅰ		1	前	2							2	
		成人看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2							2	
	老年看護学領域	老年看護学特論Ⅰ		1	前	2						2		
		老年看護学特論Ⅱ		1	前	2						2		
		老年看護学演習Ⅰ		1	前	2							2	
		老年看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2							2	
	母性看護学領域	母性看護学特論Ⅰ		1	前	2						2		
母性看護学特論Ⅱ			1	前	2						2			
母性看護学演習Ⅰ			1	後	2							2		
母性看護学演習Ⅱ			1~2	後前	2							2		

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択	必修	選択				
専門分野専門科目	小児看護学領域	小児看護学特論Ⅰ	1	前	2							2		
		小児看護学特論Ⅱ	1	前	2							2		
		小児看護学演習Ⅰ	1	前	2								2	
		小児看護学演習Ⅱ	1～2	後前	2								2	
	精神看護学領域	精神看護学特論Ⅰ	1	前	2							2		
		精神看護学特論Ⅱ	1	前	2							2		
		精神看護学演習Ⅰ	1	後	2								2	
		精神看護学演習Ⅱ	1～2	後前	2								2	
	公衆衛生看護学領域	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前	2					2		2		
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1	前	2							2		
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1	前	2								2	
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1～2	後前	2								2	
高度実践看護師コース	ホスピス緩和ケア看護学領域	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ	1	前			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ	1	後			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	1～2	後前			2		○				2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅳ	1	後			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅴ	1	前			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ	1	前後			2		○			1	1	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ	1	後			1		○				1	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ	2	前			1		○				1	
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅰ	1	後			4		○					4
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅱ	2	前			4		○					4
	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ	2	前			2		○					2	
	老年看護CNS領域	老年看護学特論Ⅰ(理論・概念)	1	前			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅱ(健康生活評価)	1	前			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅲ	1	後			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅳ	1	後			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅴ	1	後			2		○			2		
		老年看護学展開論Ⅰ	1	後			2		○				2	
		老年看護学展開論Ⅱ	2	前			2		○				2	
老年看護学実習Ⅰ		1	後			4		○					4	
老年看護学実習Ⅱ	2	前			6		○					6		
高度実践看護	精神看護CNS領域	精神看護学特論Ⅰ	1	前			2		○			2		
		精神看護学特論Ⅱ	1	前			2		○			2		
		精神看護学特論Ⅲ	1	後			2		○			2		
		精神看護学特論Ⅳ	2	前			2		○			2		
		精神看護学演習Ⅰ	1	後			2		○				2	
		精神看護学演習Ⅱ	2	前			2		○				2	
		リエゾン精神看護学特論	2	前			2		○			2		
		高度実践精神看護実習Ⅰ	1	後			1		○					1
		高度実践精神看護実習Ⅱ	1	後			2		○					2
		高度実践精神看護実習Ⅲ	2	前			4		○					4
高度実践精神看護実習Ⅳ	2	前			2		○					2		
高度実践精神看護実習Ⅴ	2	後			1		○					1		

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択	必修	選択				
看護師コース	在宅看護CNS領域	在宅看護学特論Ⅰ	1	前			2		○			2		
		在宅看護学特論Ⅱ	1	前			2		○			2		
		在宅看護学特論Ⅲ	2	前			2		○			2		
		在宅看護学特論Ⅳ	1	後			2		○			2		
		在宅看護学演習Ⅰ	1	後			2		○				2	
		在宅看護学演習Ⅱ	1	前			2		○				2	
		在宅看護学演習Ⅲ	1	後			2		○				2	
		高度実践在宅看護学実習Ⅰ	1	後			2		○					2
		高度実践在宅看護学実習Ⅱ	1	後			2		○					2
		高度実践在宅看護学実習Ⅲ	2	前			2		○					2
		高度実践在宅看護学実習Ⅳ	2	前			2		○					2
高度実践在宅看護学実習Ⅴ	2	前			2		○					2		
保健師コース	公衆衛生看護学原論	1	前							2		2		
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	1	前							2		2		
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	1	後							2		2		
	健康学習支援特論	1	後							2		2		
	家族看護学特論	1	前							2		1	1	
	公衆衛生看護診断	1	後							2		1	1	
	公衆衛生看護管理	1	後							2		2		
	健康危機管理特論	1	後							2		2		
	産業・学校保健活動論	2	前							2		2		
	地域ケアシステム論特論	2	前							2		2		
	公衆衛生看護課題研究演習	1	後							2			2	
	家族看護継続実習	1	後							2				2
	公衆衛生看護活動実習	1	後							3				3
	公衆衛生看護管理実習Ⅰ	1	後							2				2
公衆衛生看護管理実習Ⅱ	2	前							1				1	
特別看護研究		2	前後		8							8		
ホスピス緩和ケア看護課題研究		2	前後				2					2		
老年看護課題研究		2	前後				2					2		
精神看護課題研究		2	前後				2					2		
在宅看護課題研究		2	前後				2					2		
公衆衛生看護課題研究		2	前後						4			4		
合計	—	—	—		70	33	110	30	—	53	18	118	77	48

修了に必要な単位数：30単位以上

注1：保健師コースにおいて、保健師国家試験受験資格を取得するためには、必須の31単位と大学院修士課程修了に必要な30単位の計61単位を修得すること。

注2：修士論文コースは、専攻分野ごとに定める専門科目を履修・修得すること。

注3：高度実践看護師コースにおいて、高度実践看護師資格を取得するためには必修科目38単位を修得すること。

<記号説明>

☆：両専攻共通科目

★：各専攻の専門科目（両専攻で選択可）

7) 【助産基礎分野】

2022年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
基 礎 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は、 ・展開科目 ・選択科目 ・選外科目 ・3単位以上 ・1単位以上 ・5単位を 修得すること。 なお、 選択科目は、 ①から④の いずれかの 領域の単位を 必ず修得し、 かつ①、 ③の領域を 選択した場合は、 発
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	2	後		1	1			
		出産の文化	1	前	1		1			
	専門基礎	女性のフィジカルイグザミネーション	1	前	1			1		
		助産薬理学Ⅰ	1	前	1		1			
		助産薬理学Ⅱ	2	前	1		1			
		妊産褥婦乳幼児の栄養	1	前	1		1			
		助産女性学	1	前	1		1			
		助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
	助産機能	助産研究法	1	後	1			1		
		助産管理論Ⅰ	1	後	1		1			
		助産管理論Ⅱ	2	前	1		1			
		助産師教育論	2	前	1		1			
		助産師教育方法論	2	後		1	1			
		母子保健行政・財政論	1	後	1		1			
母子保健活動論（疫学・統計を含む）	2	前	1		1					
実 践 専 門 科 目	マタニティサイクル 助産ケア	マタニティサイクル助産ケアⅠ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅡ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅢ	1	通年	2		1	1		
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産演習	2	前	1			1		
		独立助産実践概論	2	前	1		1			
		独立助産演習	2	前	1			1		
	マタニティサイクル 助産ケア実践	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅱ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅲ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ	1	後	6				6	
		マタニティサイクル独立助産実習	2	前	6				6	
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ	2	後	2				2	
発 展 ・ 展 開 科 目	発展・展開	子育て支援論Ⅰ	1	後	1		1			
		子育て支援論Ⅱ	2	後		① 1		1		
		子育て支援論演習	2	後		1		1		
		性教育Ⅰ	2	前	1		1			
		性教育Ⅱ	2	後		② 1		1		
		性教育実習	2	後		2			2	
		ウイメンズヘルスⅠ	1	後	1		1			
		ウイメンズヘルスⅡ	2	後		③ 1		1		
		ウイメンズヘルス演習	2	後		1		1		
		国際助産学Ⅰ	2	前	1		1			
		国際助産学Ⅱ	2	前		④ 1		1		
		国際助産学実習	2	後		2			2	
特別統合研究科目	特別統合課題研究	2	通年	2			2			
合 計					54	12	25	17	24	

8) 【助産教育分野】

2015年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
助 産 専 門 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は選択科目8単位以上を含む 45単位以上を修得すること。
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	1	後	1		1			
		出産の文化	1	前		1	1			
		助産女性学	1	前		1	1			
	助産教育技術	助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前		1		1		
	助産ケア 特論・実践	独立助産実践特論	1	前	1		1			
		独立助産演習	1	前	1			1		
		独立助産実習	1	後	6				6	
		助産薬理学	2	前		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後		1	1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後		1	1			
		助産管理論Ⅱ	1	前	1		1			
		母子保健行政・財政論	1	後		1	1			
		母子保健活動論(疫学・統計を含む)	2	前		1	1			
	発展・展開	子育て支援論	1	後		1	1			
性教育		1	前		1	1				
ウィメンズヘルス		1	後		1	1				
国際助産学		1	前		1	1				
教 育 科 目	助産・ 看護教育	教育概論	1	前	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開	1	通年	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習	1	後	1			1		
		教授学習法の理論と展開	1	通年	2		2			
		教授学習法の理論と展開演習	1	後	1			1		
		教育評価	1	後	2		2			
		教育評価演習	1	後	1			1		
		教育機関の運営と評価	1	後	2		2			
		助産教育(Classroom Teaching)演習	2	前	1			1		
		助産教育(Classroom Teaching)実習	2	前	1				1	
		臨床助産教育(Clinical Teaching)演習	2	前	1			1		
	臨床助産教育(Clinical Teaching)実習	2	前	2				2		
	特別統合研究	助産研究法Ⅰ	1	前	1		1			
		助産研究法Ⅱ	1	後	1			1		
助産教育課題研究		2	前	2			2			
合 計						37	13	29	12	9

3. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2023年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護学部 栄養	看護学科		400	105 (2)	106 (4)	97 (4)	99 (1)	407 (11)	101.8%
	栄養学科		360	99 (1)	96 (3)	92 (2)	90 (4)	371 (10)	103.1%
	小 計			760		202 (7)	189 (6)	189 (5)	778 (21)
助産 大学院 研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	21 -	22 -	- -	- -	43 -	71.7%
		助産教育分野	20	0 -	0 -	- -	- -	0 -	0.0%
	小 計			80	21 -	22 -	- -	- -	43 -
看護学 大学院 研究科	看護学専攻	基礎看護学コース	28	0	1	- -	- -	1	3.6%
		成人看護学コース		0	0	- -	- -	0	67.9%
		老年看護学コース		0	0	- -	- -	0	
		母性看護学コース		0	0	- -	- -	0	
		小児看護学コース		0	0	- -	- -	0	
		精神看護学コース		0	0	- -	- -	0	
		公衆衛生看護学コース		0	0	- -	- -	0	
		ホスピス緩和ケア看護学コース		0	2 (1)	- -	- -	2 (1)	
		老年看護CNSコース		0	1	- -	- -	1	
		精神看護CNSコース		0	1 (1)	- -	- -	1 (1)	
		在宅看護CNSコース		0	0			0	
	保健師コース	8 (1)	6	- -	- -	14 (1)			
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	1	1	- -	- -	2	33.3%
		博士後期課程	6	1	1	6 (1)	- -	8 (1)	133.3%
小 計			40	10 (1)	13 (2)	6 (1)	- -	29 (4)	72.5%
合 計			880	229 (4)	237 (9)	195 (7)	189 (5)	850 (25)	96.6%

奨学金の種類と採用数（学部生） 2024年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数		
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	20人	
	日本学生支援機構奨学金	貸与	第一種	月 額	自 宅 54,000円 自 宅外 64,000円 上記以外に月額20,000円～50,000円まで、1万円単位で選択することができます（自宅通学の方は50,000円選択不可）。	無利子貸与	163人
			第二種	月 額	月額20,000円～120,000円まで、1万円単位で選択することができます。	有利子貸与 利率3%以内	198人
	給付	第Ⅰ区分	月 額	自 宅 38,300円 自 宅外 75,800円	住民税非課税世帯（年収300万円未満の世帯）、それに準ずる世帯で、一定の学力・資質要件を満たす学生等が対象	46人	
				自 宅 25,600円 自 宅外 50,600円		28人	
				自 宅 12,800円 自 宅外 25,300円		14人	
				停止中		14人	
	2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ記念奨学金		年 額	300,000円	給付、返還不要	3人
天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	12人		
天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	1人		
2～4年次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	6人	
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	36,000円	道内特定施設に一定期間勤務の場合返還免除	7人	
全学生	その他の奨学金		札幌市奨学金(7)、北海道信用金庫奨学金(2)、天使病院奨学金(2)、森記念奨学金(4)、あしなが育英会奨学金(2)、日本教育文化財団育英奨学金(1)、コカ・コーラ教育環境財団(1)、ウェスレー財団(1)			20人	
合 計						532人	

奨学金の種類と採用数（看護栄養学研究科） 2024年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	0人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	修士課程 50,000円または88,000円 博士課程 80,000円または122,000円	無利子貸与	4人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円から選択	有利子貸与 利率3%以内	0人
天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	0人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	36,000円	道内特定施設に一定期間勤務の場合返還免除	0人
その他の奨学金					0人
					4人

奨学金の種類と採用数（助産研究科） 2024年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	0人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	15人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円から選択	有利子貸与 利率3%以内	7人
天使大学同窓会奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	2人
日本助産師会奨学金		月 額	50,000円	無利子貸与	0人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	36,000円	無利子貸与。道内施設に一定 期間勤務の場合返還免除	17人
その他の奨学金					0人
合 計					41人

4. 国家試験合格率

国家試験合格率（2023年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (新卒) (%)
看護栄養学部看護学科	看護師国家試験	94 人	91 人	96.8%	93.2%
看護栄養学研究科看護専攻	保健師国家試験	6 人	6 人	100.0%	97.7%
助産研究科助産専攻	助産師国家試験	20 人	20 人	100.0%	99.3%
看護栄養学部栄養学科	管理栄養士国家試験	87 人	66 人	75.9%	80.4%

5. 就職・進学状況

看護栄養学部就職状況（2024年5月1日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	74	98.7%	1	1.3%	75	79.8%	81	96.4%	3	3.6%	84	95.5%
	希望無しの者	19	100.0%	0	0.0%	19	20.2%	3	75.0%	1	25.0%	4	4.5%
計(卒業生数)		93	98.9%	1	1.1%	94	100.0%	84	95.5%	4	4.5%	88	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		74	100.0%	1	100.0%	75	100.0%	79	97.5%	3	100.0%	82	97.6%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科 n=75						栄養学科 n=82					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	21	28.4%	0	0.0%	21	28.0%	18	22.8%	0	0.0%	18	22.0%
	道内	53	71.6%	1	100.0%	54	72.0%	61	77.2%	3	100.0%	64	78.0%
	市内(再掲)	51	(68.9%)	1	(100.0%)	52	(69.3%)	40	(50.6%)	3	100.0%	43	(52.4%)
職種別	看護師	73	98.6%	1	100.0%	74	98.7%	/		/		/	
	管理栄養士	/		/		/		46	58.2%	1	33.3%	47	57.3%
	栄養士	/		/		/		13	16.5%	2	66.7%	15	18.3%
	栄養教諭	/		/		/		4	5.1%	0	0.0%	4	4.9%
	上記以外	1	1.4%	/		1	1.3%	16	20.3%	0	0.0%	16	19.5%

※看護学科：上記以外の職種は看護助手

〔進学状況〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	進学希望者に対する割合	女子		男子		計	進学希望者に対する割合
進学希望者数		16		0		16	/	1		1		2	/
進学合格者数		16		0		16	100.0%	1		1		2	100.0%

看護栄養学研究科就職状況（2024年5月1日現在）

〔就職希望者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科			
専攻		保健師コース		基礎看護学コース		ホスピス・緩和ケア看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	修了者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	6	75.0%	1	12.5%	1	12.5%	8	100.0%	1	33.3%	2	66.7%	3	100.0%	11	100.0%
	希望無しの者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計(修了者数)		6	75.0%	1	12.5%	1	12.5%	8	100.0%	1	33.3%	2	66.7%	3	100.0%	11	100.0%

〔就職決定者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科			
専攻		保健師コース		基礎看護学コース		ホスピス・緩和ケア看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	就職希望者に対する割合
就職者数/決定率		6	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	8	100.0%	1	100.0%	2	100.0%	3	100.0%	11	100.0%

〔地域別決定者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科			
専攻		保健師コース		基礎看護学コース		ホスピス・緩和ケア看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%
	道内	4	66.7%	1	100.0%	1	100.0%	6	75.0%	1	100.0%	2	100.0%	3	100.0%	9	81.8%
	市内(再掲)	3	(50.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)	5	(62.5%)	1	(100.0%)	1	(50.0%)	2	(66.7%)	7	(63.6%)

助産研究科就職状況（2024年5月1日現在）

〔就職希望者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	卒業者に 対する割合
就職希望 の有無	希望有りの者	20	-	20	100.0%
	希望無しの者	0	-	0	0.0%
計(修了者数)		20	-	20	100.0%

〔就職決定者〕

分野	助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
決定数/決定率	20	-	20	100.0%

〔地域別・就職別決定者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
地域別	道外	7	-	7	35.0%
	道内	13	-	13	65.0%
	市内(再掲)	10	-	10	(50.0%)
職種別	助産師	20	-	20	100.0%
	教員	0	-	0	0.0%
	上記以外: 看護師	0	-	0	0.0%

2023年度求人件数・人数（2024年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	42	99	212	311	564	1,148	8,763	9,911
保健師	6	84	48	132	17	179	137	316
助産師	6	32	84	116	17	80	222	302
計	54	215	344	559	598	1,407	9,122	10,529

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	13	77	79	156	69	327	339	666
管理栄養士	38	166	127	293	109	483	539	1,022
栄養教諭	0	0	0	0	0	0	0	0
食品衛生監視員	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 保健医療従事者	0	0	0	0	0	0	0	0
計	51	243	206	449	178	810	878	1,688

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	9	65	24	89	21	462	238	700

合計	114	523	574	1,097	797	2,679	10,238	12,917
----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	--------	--------

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

6. 2024年度入試結果

看護栄養学部

◆看護学科

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	6	(5)	6	(5)	6	(5)	6	(5)	1.0
公募制推薦		38	(48)	38	(48)	37	(37)	37	(37)	1.0
社会人	40	0	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般		180	(213)	177	(207)	88	(91)	46	(47)	2.0
共通テスト利用	20	120	(136)	120	(136)	62	(64)	14	(14)	1.9
総計	100	344	(403)	341	(396)	193	(197)	103	(103)	1.8

◆栄養学科

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	44	2	(4)	2	(4)	2	(4)	2	(4)	1.0
公募制推薦		34	(51)	34	(51)	34	(46)	34	(46)	1.0
社会人	36	2	(2)	2	(2)	1	(2)	1	(2)	2.0
一般		39	(49)	39	(49)	39	(43)	29	(38)	1.0
共通テスト利用	10	34	(48)	34	(48)	27	(13)	0	(3)	1.3
総計	90	111	(154)	111	(154)	103	(108)	66	(93)	1.1

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻（修士課程）

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	4	(3)	4	(3)	3	(3)	3	(3)	1.3
一般Ⅰ期		9	(7)	9	(7)	7	(3)	7	(3)	1.3
一般Ⅱ期		2	(3)	2	(3)	2	(2)	2	(2)	1.0
在宅看護CNS		0	(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	-
総計	14	15	(14)	15	(14)	12	(8)	12	(8)	1.3

◆看護学専攻（博士課程）

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般Ⅱ期	2	8	(0)	8	(0)	6	(0)	6	(0)	1.3
総計	2	8	(0)	8	(0)	6	(0)	6	(0)	1.3

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般Ⅰ期	3	3	(1)	3	(1)	3	1	3	(1)	1.0
一般Ⅱ期		2	(0)	2	(0)	2	0	1	(0)	1.0
総計	3	5	(1)	5	(1)	5	(1)	4	(1)	1.0

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般Ⅰ期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般Ⅱ期		2	(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	1.0
総計	2	2	(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	1.0

大学院 助産研究科

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	12	(30)	12	(30)	11	(13)	11	(12)	1.1
	一般Ⅰ期	15	11	(32)	11	(32)	8	(6)	6	(5)	1.4
	社会人Ⅰ期		0	(2)	0	(2)	0	(1)	0	(1)	-
	一般Ⅱ期	5	8	(13)	8	(13)	2	(3)	2	(3)	4.0
	社会人Ⅱ期		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
教育分野	Ⅰ期	10	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	Ⅱ期		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
総計	40	31	(77)	31	(77)	21	(23)	19	(21)	1.5	

7. 教員組織

教員組織一覽

(2023年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	6人	2人	1人	1人	0人	10人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	
看護栄養学部	看護学科	8人	7人	9人	8人	0人	32人
	栄養学科	5人	8人	4人	1人	5人	23人
	教養教育科	3人	2人	0人	0人	0人	5人
	計	16人	17人	13人	9人	5人	60人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	
合計		22人	19人	14人	10人	5人	70人

専任教員年齢構成

(2023年5月1日現在)

所属	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	25歳 以下	計
助産研究科	教授	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	6
		0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
計	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	0	10	
	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
小計	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	0	10	
	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	2	4	2	5	0	3	0	0	0	0	0	16
		12.5%	25.0%	12.5%	31.3%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	2	6	4	5	0	0	0	0	0	17
		0.0%	0.0%	11.8%	35.3%	23.5%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	2	2	5	2	2	0	0	0	13
		0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	38.5%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	2	0	2	1	3	0	1	0	9
0.0%		0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	100%	
計	2	4	4	15	6	15	3	5	0	1	0	55	
	3.6%	7.3%	7.3%	27.3%	10.9%	27.3%	5.5%	9.1%	0.0%	1.8%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100%	
小計	2	4	4	15	6	15	3	6	0	5	0	60	
	3.3%	6.7%	6.7%	25.0%	10.0%	25.0%	5.0%	10.0%	0.0%	8.3%	0.0%	100%	
合計	2	6	8	17	7	15	4	6	0	5	0	70	
	2.9%	8.6%	11.4%	24.3%	10.0%	21.4%	5.7%	8.6%	0.0%	7.1%	0.0%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2024年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者			退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	准教授から教授	講師から准教授	助教から講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
看護学科	1人	1人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
栄養学科	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
教養教育科	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
計	3人	1人	0人	3人	1人	0人	2人	0人	2人	0人	1人	0人	1人

8. 事務組織

(2023年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職員	臨時職員	パート職員	派遣職員	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学業務系	総務課	4	1	0	2	0	0	6
	学務課	7	1	2	3	3	0	15
	図書情報課	3	1	1	2	0	0	6
	財務室	3	1	2	1	5	0	11
	入試・広報室	3	1	0	1	0	0	4
	計	20	5	5	9	8	0	42
合 計		20	5	6	9	8	0	43

9. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

	区分	種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	伊藤 治幸	酸化ストレスを指標とした生活習慣の状況とヘルスリテラシーの実態と評価
2	継続	基盤研究(C)	榑 建二郎	NMDを介した小胞体ホメオスタシス制御因子の細胞内局在メカニズムの解明
3	継続	基盤研究(C)	吉田 礼維子	住民の視点による介護予防システムの評価指標の開発と有用性の検討
4	継続	基盤研究(C)	田中 さおり	成長ホルモン治療中の子どもと家族の治療継続を支えるピア・サポートプログラムの開発
5	継続	基盤研究(C)	秋山 雅代	熟練看護師の介助シャワー浴技術の思考発話に基づく新しい授業教材の開発
6	継続	基盤研究(C)	伊織 光恵	改訂版初経教育プログラムの構築による知的障害のある女子の母親への継続支援
7	継続	若手研究	小島 有沙	介護老人保健施設におけるスキナーケア予防策の構築ー援助者の認識する発生状況からー
8	新規	基盤研究(C)	福田 早織	外来における退院後の生活を見据えた術前看護実践自己評価尺度の開発と検証
9	継続	若手研究	船木 沙織	原爆傷害調査委員会が実施した遺伝学調査における助産婦の活動
10	新規	若手研究	船木 沙織	占領終焉前後におけるABCC医療職の活動および協働体制の変容
11	新規	基盤研究(C)	横山 聖美	中高年の男性遺族と地域社会がつながる支援モデルの開発
12	継続	基盤研究(C)	小野澤 かおり	妊婦を対象とした出生前検査に関する包括的な相談支援要件の明確化
13	継続	基盤研究(C)	高橋 彩華	農漁村地域の環境が保護者の価値観に与える影響と子どもの生活習慣および肥満との関連
14	継続	基盤研究(C)	松下 真美	ヒト褐色脂肪組織の活性に関連する食事・生活習慣因子の解明
15	継続	基盤研究(C)	中田 かおり	正期産期の血圧の安定につながる妊婦の水とくらしに関する研究

特別研究費の助成状況

該当なし

受託研究等

該当なし

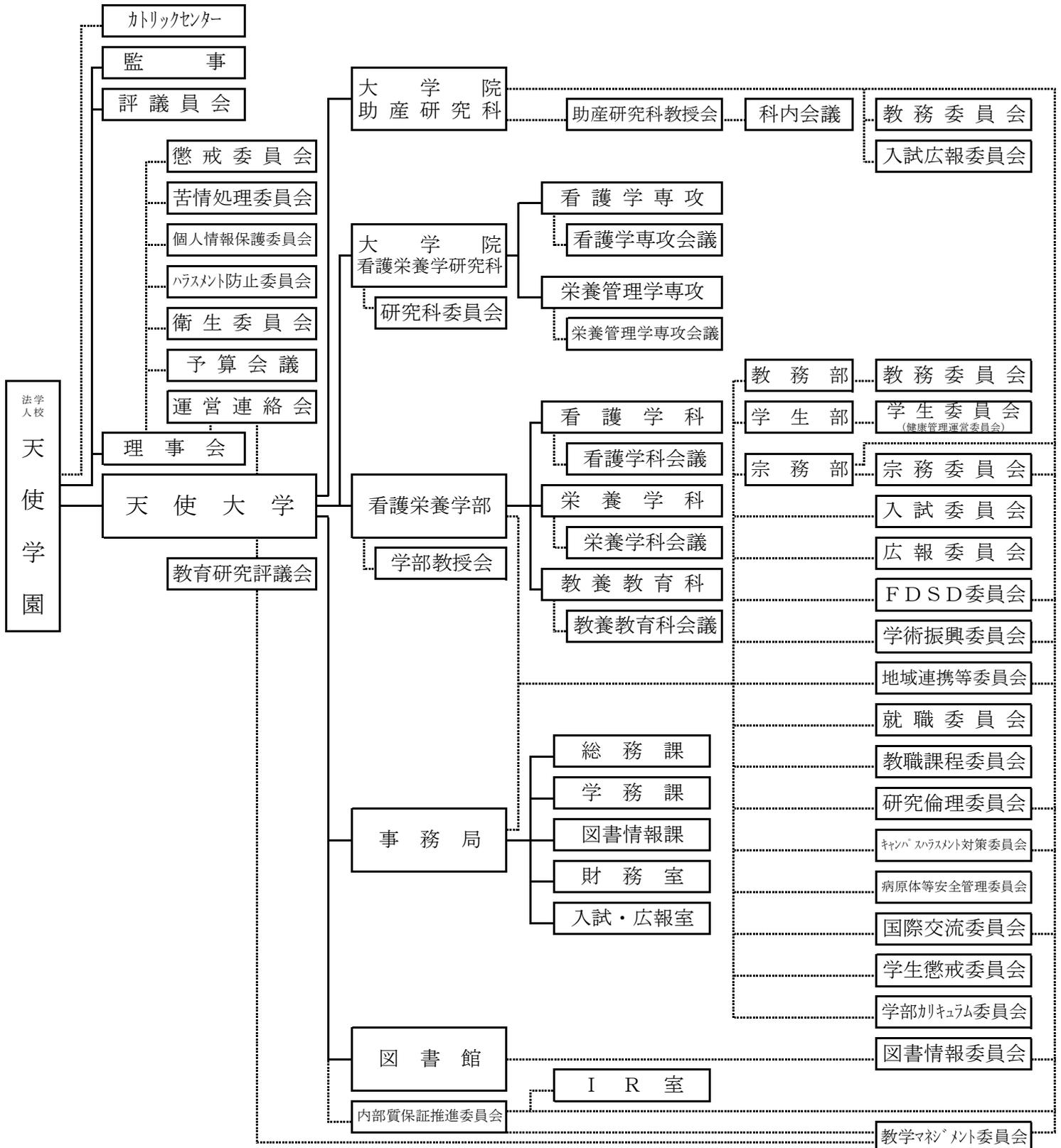
FD・SDの実施状況

分類	日時	参加人数	テーマ・内容
F D	随時	35	授業参観 動画視聴による参観：Google Classroomに掲載された動画を視聴して参観する。 対面授業の参観：参観可能な授業の情報はGoogle Classroom掲載される。
F D	2023年6月13日+ オンライン開催	88	研究倫理研修会 内容：研究倫理に関する基本的な内容および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の近年における改正事項
F D	2023年8月25日+ オンライン開催	85	FDSD委員会主催FD研修会 内容：全学的アンケートを活用した授業改善の試み（事例報告）
F D S D	2023年10月24日 +オンライン開催	33	助産研究科FD研修会 テーマ：省察的実践に基づく教育-実践・学び・研究をつなぐために-
F D	2024年1月23日+ オンライン開催	34	教職課程FD研修会 テーマ：小学校における効果的なICT活用と大学教員のICT教材作成上のポイント
F D	2024年2月16日+ オンライン開催	52	看護栄養学研究科FD テーマ：人を対象とした栄養学の基本としての食事調査法-食を測るとは-
F D	2024年2月19日+ オンライン開催	49	看護栄養学研究科FD テーマ：質的研究方法論～「質的研究をめぐる10のキークエスション」に基づいて～
S D	2023年8月2日 オンライン開催	96	教職員説明会 内容：①2022年度学校法人天使学園決算報告について ②法人統合協議会の進捗状況について
S D	2023年8月22日	16	ハラスメント相談員研修会 テーマ：ハラスメント相談対応～実習を通して考える～
S D	2023年9月14日+ オンライン開催	92	FDSD委員会主催SD研修会 テーマ：教職一体・学職一体・地学一体から生まれる学びの活性化
S D	2024年12月22日 + オンライン開催	83	教職員修養会 テーマ：病んでいる地球とカトリック大学の使命

10. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



11. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月10日(月)	15名	<p>審議事項</p> <p>1 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定制度への申請について</p> <p>報告事項</p> <p>1 休学・復学・退学の許可について</p> <p>2 2023年度入学者数並びに一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜の追加合格者数等について</p> <p>3 2022年度1年生の英語力の変化及び2019年度との比較について</p>
第2回 5月15日(月)	16名	<p>審議事項</p> <p>1 2023年度既修得単位の認定・単位授与について</p> <p>2 非常勤講師の委嘱・取消について</p> <p>3 2025年度入学看護栄養学部栄養学科総合型選抜実施について</p> <p>報告事項</p> <p>1 教員の採用について</p> <p>2 2023年度化学・生物診断テストの結果について</p> <p>3 2022年度教員による科目評価の分析結果について</p> <p>4 看護学科教育目標の設定について</p>
第3回 6月12日(月)	16名	<p>審議事項</p> <p>1 非常勤講師の委嘱変更について</p> <p>2 2024年度看護栄養学部入学者選抜要項について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2022年度教員業績評価の評価結果について</p> <p>2 2022年度天使大学部門別事業活動収支計算書について</p> <p>3 2022年度公的研究費（科研費等）の間接経費の使用について</p> <p>4 2022年度学生による到達度評価アンケートの分析結果について</p> <p>5 2023年度科研費獲得セミナー中止とアンケート調査について</p>
第4回 7月10日(月)	14名	<p>報告事項</p> <p>1 2024年度入学者選抜日程について</p> <p>2 2023年度FSDS研修会の開催について</p> <p>3 令和4年度教職課程自己点検・評価報告書における完了証の受領について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
第5回 9月11日(月)	16名	<p>審議事項</p> <p>1 2023年度既修得単位の認定・単位授与について</p> <p>報告事項</p> <p>1 教員の昇任について</p> <p>2 学業成績優秀者奨励金対象者について</p> <p>3 休学・退学の許可について</p>

		<p>4 2023 年度 Food and Life Step-up Ceremony の実施について</p> <p>5 文部科学省数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度への申請結果について</p> <p>6 2023 年度英語プレイスメントテストの結果について</p> <p>7 2025 年度一般選抜（学力試験）及び大学入学共通テスト利用選抜の出題範囲について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 客員教授の委嘱について</p>
第 6 回 10月10日(火)	16 名	<p>審議事項</p> <p>1 2025 年度看護栄養学部栄養学科総合型選抜実施（案）について</p> <p>2 2025 年度入学者選抜日程について</p> <p>報告事項</p> <p>1 被災等による入学者の授業料等免除について</p> <p>2 2023 年度戴帽式の実施について</p> <p>3 2024 年度科学研究費助成事業の申請状況について</p> <p>4 休学の許可について</p> <p>5 教員の退職について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
第 7 回 11 月 13 日(月)	15 名	<p>審議事項</p> <p>1 2024 年度学事暦について</p> <p>2 2024 年度授業科目の開講学期の変更について</p> <p>3 2024 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2024 年度天使大学校務分掌（最終案）の修正について</p> <p>2 教員の採用等について</p> <p>3 2023 年度アセスメント・ポリシーに係る調査等の実施について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 大学設置基準改正に伴う教務事項に係る学則の一部改正について</p>
臨時 11 月 22 日(水)	15 名	<p>審議事項</p> <p>1 2024 年度学校推薦型選抜・社会人選抜の合否判定について</p>
第 8 回 12 月 11 日(月)	16 名	<p>審議事項</p> <p>1 2024 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2 2024 年度本学システム更改作業及び学内 PC 入替作業の実施について</p> <p>報告事項</p> <p>1 休学の許可について</p> <p>2 2020 年度入学者 DP 到達度の分析について</p> <p>3 2023 年度教職課程 FD 研修会の開催について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
第 9 回 1 月 15 日(月)	16 名	<p>審議事項</p> <p>1 2024 年度非常勤講師の委嘱について</p>

		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の採用等について 2 教員の退職について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 諸規程の改正等について 2 教員の採用に係る募集大綱について
<p>第10回 2月13日(火)</p>	15名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2024年度既修得単位の認定・単位授与について 2 2024年度授業科目の開講学期の変更について 3 2024年度非常勤講師の委嘱について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の採用等について 2 退学の許可について 3 2023年度卒業証書・学位記授与式の実施要領について
<p>臨時 2月22日(水)</p>	15名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2024年度入学者選抜の可否判定について 2 2023年度卒業判定について 3 2023年度教職課程修了判定について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学生の懲戒について 2 2023年度科目等履修生の受け入れについて
<p>第11回 3月11日(月)</p>	16名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2023年度進級判定について 2 2024年度既修得単位の認定・単位授与について 3 2024年度非常勤講師の委嘱について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 休学の許可について 2 教員の採用等について 3 2024年度校務分掌一覧について 4 2024年度入学式の実施要領について 5 2024年度実施作業に対する質問・意見への回答及び作業スケジュールについて <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 諸規程等の改正について 2 客員教授の委嘱について
<p>臨時 3月22日(金)</p>	15名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2023年度進級判定について 2 2024年度学事暦の一部変更について 3 学校推薦型選抜(指定校制)枠の新規設置及び取消しに関する内規の一部改正について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業の出席登録における不正防止対策について

		2 2023年度学生による到達度評価アンケートの分析結果について 3 2023年度教員による科目評価の分析結果について
--	--	--

大学院看護栄養学研究科委員会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月10日(月)	12名	審議事項 1 2023年度看護栄養学研究科の活動目標について 報告事項 1 休学の許可について 2 2023年度看護栄養学研究科開講科目一覧について 3 2023年度看護学専攻学位論文研究計画書の指導教員について 4 2023年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について 5 2023年度栄養管理学専攻新入生の研究指導教員について
第2回 5月15日(月)	13名	審議事項 1 2023年度非常勤講師の委嘱・取消について 2 2023年度特別講師の委嘱について 3 2023年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査について 報告事項 1 2023年度栄養管理学専攻博士後期課程院生の副指導教員について
第3回 6月12日(月)	13名	審議事項 1 2024年度看護栄養学研究科入学者選抜要項について 2 2023年度特別講師の委嘱・取消について 報告事項 1 2022年度天使大学部門別事業活動収支計算書について
第4回 7月10日(月)	11名	審議事項 1 2023年度栄養管理学専攻学位論文研究計画書について 2 2023年度栄養管理学専攻学位論文中間発表会の開催について
第5回 9月11日(月)	13名	審議事項 1 2023年度非常勤講師の委嘱について 2 2023年度実習指導教員の委嘱について 報告事項 1 他の大学院と共通する非常勤講師の講義における合同実施の検討について
臨時 9月21日(木)	11名	審議事項 1 2024年度看護学専攻(保健師コース)推薦型選抜の合否判定について 2 2024年度看護学専攻博士後期課程入学者選抜要項について
第6回 10月10日(火)	13名	審議事項 1 2025年度入学者選抜日程について 2 休学による長期履修期間の変更について 3 2023年度特別講師の委嘱について 報告事項 1 休学・復学の許可について
臨時	13名	審議事項

10月18日(水)		1 2024年度看護栄養研究科Ⅰ期選抜の合否判定について
第7回 11月14日(月)	13名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2024年度大学院非常勤講師の委嘱について 2023年度学位論文関連スケジュールについて 2023年度学位論文提出予定者の主査及び副査について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学の許可について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について 天使大学大学院看護栄養学研究科履修規程の一部改正について
第8回 12月11日(月)	13名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2024年度学事暦について 2024年度大学院非常勤講師の委嘱について 2024年度看護栄養学研究科専任教員の新規担当科目について 2024年度長期履修学生申請の許可について 長期履修学生の履修期間の変更について 2023年度学位論文発表会(保健師コース)の開催について 栄養管理学専攻博士後期課程カリキュラム変更とこれにともなうカリキュラムポリシーの変更について 2023年度学位論文提出予定者の主査及び副査について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 復学の許可について 院生学習室の整備について 2024年度看護栄養学研究科栄養管理学専攻開講科目一覧について 2023年度大学院FD研修会(栄養管理学専攻担当)の開催について
第9回 1月15日(月)	13名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学による長期履修期間の変更について 2023年度学位論文発表会の開催について 看護学専攻博士後期課程の合否判定基準について 2024年度特別講師の委嘱について 2024年度非常勤講師の委嘱について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2023年度FD研修会(看護学専攻担当)の開催について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 諸規程の改正等について
臨時 1月24日(水)	12名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2024年度看護栄養学研究科Ⅱ期選抜の合否判定について
第10回 2月13日(火)	12名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2023年度看護栄養学研究科自己点検・評価報告書について 2024年度看護栄養学研究科専任教員の新規担当科目について 2024年度非常勤講師の委嘱について 2024年度特別講師の委嘱について

		<ul style="list-style-type: none"> 5 看護学専攻の科目、区分等の英語表記について 6 2024年度長期履修学生申請の許可について <p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 天使大学大学院看護栄養学研究科博士後期課程における早期修了に関する規程の新規制定について 2 天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について
臨時 2月22日(木)	13名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2023年度修了判定について 2 2024年度非常勤講師の委嘱について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2023年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について
第11回 3月11日(月)	13名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2024年度長期履修学生申請の許可について 2 2024年度学事暦の一部変更について 3 2024年度看護栄養学研究科開講科目一覧について 4 2024年度授業科目の開講学期の変更について 5 2024年度非常勤講師の委嘱について 6 2024年度看護栄養学研究科専任教員の新規担当科目について 7 栄養管理学専攻カリキュラム・マップの変更について 8 2024年度看護学専攻会議の構成員について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 休学の許可について 2 2024年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について

大学院助産研究科教授会

開催日時	出席人数	議案名
第1回 4月12日(木)	8名	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 休学・退学の許可について
第2回 5月10日(水)	7名	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 教員の採用について 2 専門職大学院助産研究科助産専攻助産教育分野の学生募集の一時停止について 3 大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程（設置構想中）について 4 復学の許可について
第3回 6月23日(金)	6名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2024年度入学者選抜要項について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2022年度教員業績評価の評価結果について 2 2022年度天使大学部門別事業活動収支計算書について 3 2022年度公的研究費（科研費等）の間接経費の使用について 4 助産評価機構認証評価自己点検評価報告書の提出について 5 2025年度入学に係る看護栄養学部栄養学科総合型選抜の実施について

		6 2023年度科研費獲得セミナー中止とアンケート調査について
第4回 7月12日(水)	6名	報告事項 1 (仮称) 未来の助産師奨学金基金の設置要望書について 2 2023年度 FDSD 研修会の開催について
第5回 9月13日(水)	7名	審議事項 1 助産研究科入学者選抜合否判定基準について 報告事項 1 教員の昇任について 2 休学の許可について 3 大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置について
臨時 9月21日(水)	6名	審議事項 1 2024年度助産研究科推薦型選抜の合否判定について 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について
第6回 10月11日(水)	8名	審議事項 1 2025年度入学者選抜日程について 報告事項 1 2024年度科学研究費助成事業の申請状況について
臨時 10月18日(水)	5名	審議事項 1 2024年度助産研究科Ⅰ期選抜の合否判定について
第7回 11月8日(水)	5名	報告事項 1 教員の退職について 2 教員の採用等について 3 2024年度天使大学校務分掌(最終案)の修正について
第8回 12月13日(水)	6名	審議事項 1 2024年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について 2 2024年度本学システム更改作業及び学内PC入替作業の実施について
第9回 1月17日(水)	8名	報告事項 1 教員の採用等について 2 教員の退職について 意見聴取事項 1 諸規程の改正等について
臨時 1月24日(水)	6名	審議事項 1 2024年度助産研究科Ⅱ期選抜の合否判定について 2 2024年度非常勤講師の委嘱について
第10回 2月14日(水)	7名	報告事項 1 教員の採用等について
臨時 2月28日(火)	5名	審議事項 1 2023年度大学院助産研究科助産基礎分野の修了判定について 報告事項 1 2023年度卒業証書・学位記授与式の実施要領について
第11回	5名	審議事項

3月13日(木)		<p>1 2024年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <p>1 教員の採用等について</p> <p>2 2024年度校務分掌一覧について</p> <p>3 2024年度入学式の実施要領について</p> <p>4 2024年度実施作業に対する質問・意見への回答及び作業スケジュールについて</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 諸規程の改正等について</p>
----------	--	---

12. 委員会構成一覽

2023年6月1日現在

2023年度校務分掌一覽

【委員任期(2年):2022.4.1~2024.3.31】

教育研究評議会	学長:田畑邦治、看護栄養学研究科長:日沼千尋、助産研究科長:津田万寿美、看護学科長:吉田礼維子、栄養学科長:中川幸恵、教養教育科長:川口雄一、図書館長:田畑邦治、宗務部長:菅原邦子、教務部長:新井英志、学生部長:清水真理、内部質保証推進委員会委員長:日沼千尋、事務局長:岩間久哉		総務課
学長補佐	助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長	1年	—

【看護栄養学部関係】

◎看護学科長:吉田礼維子 ◎栄養学科長:中川幸恵 ◎教養教育科長:川口雄一

学部教授会	学長、看護学科:吉田(礼)、浅井、伊藤、大野、榊、菅原、服部、日沼 栄養学科:中川、清水、鈴木(純)、柳澤 教養教育科:川口、新井、二宮	総務課
-------	---	-----

区分	委員会名	委員長	委 員	任期	担当
常設委員会	教務委員会	教務部長	教務部長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、(教職課程委員長)、看護:伊藤、伊織、栄養:金澤、高桑、教養:小原	2年	学務課
	学生委員会 (健康管理運営委員会)	学生部長	学生部長、看護:草野、横山、栄養:吉田(真)、蜂谷、教養:(-) (健康管理運営委員会構成員:学生委員会委員+助産教務委員長)	2年	学務課
	宗務委員会	宗務部長	宗務部長、看護:秋山、福田、栄養:岡部、神田、教養:(-)、助産:杉田、事務局:田中、司祭:ケン・スレイマン	2年	学務課
	図書情報委員会	図書館長	図書館長、看護:井口、臺野、栄養:高桑、峯岸、教養:日時、助産:長田、図書情報課長:白石	2年	図書情報課
	内部質保証推進委員会	日沼	看護:榊、栄養:岡部、教養:(-)、看護学専攻:(日沼)、栄養管理学専攻:鈴木(純)、助産:中田、事務局長、〔学外委員:中川千江子、梅津千恵子〕	2年	総務課
	教学マネジメント委員会	学長	学長、教務部長、内部質保証推進委員長、FDSD委員長、IR室長、看護:服部、栄養:清水、教養:新井、助産:三浦、看栄研:(日沼)、事務局次長:鈴木(敏)、学務課長:(鈴木敏)	2年	学務課
	入試委員会	川口	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:高橋(順)、栄養:長谷川、教養:(川口)、入試:広報室長:佐藤	2年	入試・広報室
	広報委員会	服部	看護:小澤、中洞、栄養:坂本、西、教養:(-)、入試・広報室長	2年	入試・広報室
	FDSD委員会	大野	看護:船木、栄養:松下、教養:(-)、助産:三浦、総務課長:豊島、総務課:松田、学務課:渡邊	2年	総務課
	学術振興委員会	榊	看護:田中(さ)、栄養:西、教養:(-)、助産:片倉	2年	図書情報課
	地域連携等委員会	浅井	看護:若山、新関、栄養:長谷川、松下、教養:(-)、助産:杉浦	2年	学務課
	就職委員会	鈴木純	看護:長内・田中(裕)、栄養:鈴木(純)・岩淵、教養:(-)	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当:新井、二宮、長谷川、蜂谷、神田	2年	学務課
	研究倫理委員会	柳澤	看護栄養学研究科長、助産研究科長、学長指名:柳澤、鈴木(純)、小原(人文・社会科学有識者)、岩間(職員)、〔学外委員:大久保岩男、高橋奈美〕	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント対策委員会	二宮	学生部長、看護:草野、栄養:吉田(真)、教養:二宮、助産:津田、事務局長	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	榊	専門:岩淵、学校医:柳澤、衛生委員会:豊島	2年	財務室
	国際交流委員会	中田	看護:峰岸、栄養:坂本、教養:(-)、看栄研:鈴木、助産:中田、事務局長	2年	総務課
	学部カリキュラム委員会	伊藤	学長指名:吉田(礼)、志賀、看護:伊藤、栄養:金澤、教養:日時、学務:鈴木(敏)、入試広報:佐藤	2年	学務課
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護:()、栄養:()、教養:()、助産:()	—	学務課

名 称	構 成 員
IR室	室長:榊、室員:総務課 上村、学務課 星、財務室 萩野

2023年度校務分掌一覧

【委員任期(2年):2022.4.1~2024.3.31】

名 称	構 成 員
看護:学生支援教員	1年:○榊、服部、草野、秋山、中洞、木村:(教務担当係)新関、高橋(彩) 2年:○高橋(順)、伊織、若山、横山、小野澤、重岡、田中(裕)、吉田(奈):(教務担当係)若山、重岡 3年:○長内、浅井、臺野、船木、中野:(教務担当係)大野、小澤 4年:○峰岸、田中(さ)、福田、井口、芦名:(教務担当係)伊藤
栄養:学生支援教員	1年:○吉田(真)、岡部、金澤、西、金吉 2年:○松下、長谷川、坂本、蜂谷、坂野 3年:○清水、鈴木(純)、神田、喜田、佐藤 4年:○高桑、志賀、岩渕、峯岸、高橋(咲) ※○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	構 成 員	担当
教育講演会ワーキング	看護:小野澤、重岡、栄養:坂本、岩渕	総務課

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長:日沼千尋 ◎看護学専攻主任:大野和美 ◎栄養管理学専攻主任:鈴木純子

研究科委員会	看護学専攻:日沼、大野、浅井、伊藤、榊、菅原、服部、吉田(礼) 栄養管理学専攻:鈴木(純)、清水、中川、柳澤、川口	総務課
--------	--	-----

看護学専攻博士課程設置準備室	◎日沼、田畑、大野、吉田(礼)、鈴木(敏) ワーキンググループ:日沼、吉田(礼)、山本、大野、服部、榊、伊藤	総務課
----------------	---	-----

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長:津田万寿美

助産研究科教授会	学長、研究科長、杉浦、中田、臨床専任教員:高室、宮下、山本、兼担:川口	総務課
----------	-------------------------------------	-----

区分	委員会名	委員長	委 員	任期	担当
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員		
	教務委員会	津田	(講義基礎)杉浦、(講義教育)中田、(学生・就職)片倉・杉田、(実習)三浦・長田	2年	学務課
	入試広報委員会	杉浦	津田、杉浦、中田、片倉、三浦、入試・広報室長	2年	入試・広報室

助産研究科教育課程連携協議会	研究科長、協議会等関係者:恵美須文枝、地方公共団体等職員:中村由香、 本学教職員以外の者:毛利多恵子、本学教職員:田畑邦治 【委員任期(2年):2023.5.1~2025.3.31】	2年	学務課
----------------	---	----	-----

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	任期	担当
常設委員会	将来構想委員会	理事長	理事長、学長、財務担当理事:菅原、宗務部長、図書館長、助産研究科長、 看護栄養学研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、 理事・評議員(教職員):(菅原)、中川、(岩間)	2年	総務課
	ハラスメント防止委員会	白崎(互選)	理事:菅原、本間、白崎、佐藤、教員:草野、吉田(真)、職員:豊島	2年	総務課
	衛生委員会	岩間	産業医:辻崎、衛生管理者(保健師):宮路、看護:高橋(彩)、栄養:岡部、 教養:川口、助産:片倉、事務局長、事務局:豊島	2年	総務課
特設	苦情処理委員会	互選	理事3名、教職員2名、学外者1名	-	総務課
	懲戒委員会	理事長指名	その都度	-	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、理事:本間、前田、事務局長	-	総務課

名 称	セクター長	構 成 員	任期	担当
カトリックセンター	田畑	センター長:田畑学長、司祭:スレイマン、宗務担当理事:近藤理事、 佐藤理事、宗務部長、宗教教育担当教員:小原	2年	学務課

13. 委員会の活動報告

2023年度 教務委員会活動報告

委員会組織	委員長：新井英志 委員：吉田礼維子、中川幸恵、川口雄一、伊藤治幸、伊織光恵、金澤康子、高桑暁子、小原琢
委員会開催数	定例 13回、臨時 なし
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■当該年度の計画・委員会体制等について <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理について ・非常勤講師等の委嘱申出期限について ■当該年度における教育の実施・運用について <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の委嘱及び雇用契約更新等について ・実習指導教員の委嘱及び雇用契約更新等について ・特別講師の委嘱等について ・既修得単位の認定・授与について ・時間割編成に係る課題について ・新旧カリキュラムの読替について（栄養学科） ・学生による ChatGPT の使用について ・遠隔授業に関する実施要件等について ・試験・評価日程について ・追実習及び補習実習について ・教育の質に係る客観的指標調査について ・新入生オリエンテーション、出会いと親睦ゼミ及び在学生ガイダンスの評価について ・「学校において予防すべき感染症」に罹患した時の試験における取扱いについて ・「数理・データサイエンス・AI教育」にかかる運用規則（内規）について ■当該年度における教育（運用）の評価について <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・ポリシーに係る調査等の実施について ・学生到達度評価 社会人基礎力の分析について ・授業運営に関する課題等について ■次年度以降に向けた計画・改善及び制度改正について <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動計画について ・学事暦について ・開講学期の変更について ・教務委員会日程について ・新入生オリエンテーション、出会いと親睦ゼミ及び在学生ガイダンスについて ・学内試験制度について ・宗務委員会からのアッサンブリー・アワーの時間確保に関する要望について ・学則の改正について ・履修規程の改正について 	

- ・「天使大学中期計画の整備」に係る教務委員会事項の改正について
- ・天使大学公務分掌（教務委員会構成員の改正）について
- ・学生の教室利用について

[主な報告事項]

- 当該年度における教育の実施・運用について
 - ・学生の学籍異動報告メールの廃止について
- 次年度以降に向けた計画・改善及び制度改正について
 - ・看護学科教育目標とカリキュラム・ツリーについて

2023年度 学生委員会活動報告

委員会組織	委員長：清水 真理 委員：草野 知美、吉田 真弓、横山 聖美、蜂谷 愛
委員会開催数	10回（2024年2月22日現在）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 役割分担について ・2023年度 学生部長不在時の代理について ・2023年度 天使祭について ・2023年度 海外で活動する専門職者による講演について ・2023年度 学生食堂の改善について ・2023年度 学生への啓発等を目的とした講演・イベントについて ・障害学生に該当しないが、修学上配慮を必要とする学生への対応について ・2023年度 学長と学生の懇談会について ・危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」について ・天使大学中期計画（学生委員会、学務課学生担当関係）について ・2024年度 学事暦について ・2023年度 教育の質に係る客観的指標調査について ・天使大学ガバナンス・コードの実施状況点検調査について ・2024年度 天使大学校務分掌（案）について ・2023年度 天使大学海外研修について ・2023年度 学生の安否確認の訓練について ・学生が加入する保険について ・2023年度 学生生活についての調査について ・奨学金に関するアンケートの実施について ・学生委員会に関連する規程の改正について ・2023年度 卒業・修了時アンケートについて ・2023年度 学生生活についての調査について ・2023年度 学生食堂に関するアンケートについて ・2024年度 活動計画書について ・2024年度 予算について ・2023年度 葦の会と学生委員との交流会について ・2024年度 合唱コンクールの実施要項等について ・2024年度 学校医について 	

[主な報告事項]

- ・2023年度 活動計画書および予算見積内訳書について
- ・2023年度 クラス代表・各種委員一覧について
- ・2023年度 新入生のためのクッキングライブについて
- ・2023年度 海外研修について
- ・2023年度 第1回学生総会について
- ・2023年度 第2回学生総会について
- ・2023年度 クリスマスの集い 喜びのわかちあい、第2回学生総会について
- ・2023年度 部・サークル説明会 実施報告について
- ・2023年度 教養教育科から学生委員の選出が行われない件について
- ・看護・栄養学科 学生支援体制について
- ・2022年度 卒業・修了時アンケート 集計結果について
- ・2022年度 学生生活実態調査 集計結果について
- ・2023年度 葦の会役員、部・サークルについて
- ・2023年度 クッキングライブ等 実施報告について
- ・2023年度 天使祭の点検評価について
- ・2023年度 体育祭について
- ・2023年度 卒業アルバム制作について
- ・学生食堂の大型モニターを有効活用して学生へ情報発信することについて
- ・2023年度 天使祭事後アンケートについて
- ・2023年度 海外で活躍する専門職者による講演の実施報告について
- ・学生食堂 改善の進捗状況について
- ・学内団体の新規設立について
- ・障害学生への支援に関する学内への周知について
- ・2023年度 天使大学体育祭について
- ・2023年度 第2回葦の会と同窓会との交流会について
- ・2023年度 卒業祝賀会の進捗状況について
- ・2023年度 葦の会役員 三役選挙の進捗状況について
- ・奨学金に関するアンケートの実施について
- ・2023年度 学生に対する「災害時の安否確認（訓練）」の実施報告について
- ・2024年度 天使大学校務分掌（最終案）について
- ・天使大学同窓会におけるクラブ活動・学外研究発表等、およびボランティア活動への助成費の取扱いについて
- ・2023年度 体育祭の点検評価について
- ・2023年度 卒業祝賀会について
- ・2023年度 葦の会からの献金について
- ・藤女子大学（国際交流室）との海外研修についての第1回意見交換会について
- ・2023年度 葦の会役員 三役選挙について
- ・ミルクラと雪印メグミルクのコラボレシビについて（12/18～12/22）
- ・学生食堂報告
- ・保健相談室報告
- ・学生相談室報告

2023年度 宗務委員会活動報告

委員会組織	委員長：菅原 邦子 委員：ケン・スレイマン、秋山雅代、福田早織、岡部哲子、神田拓登、杉田樹美、田中貴
委員会開催数	4回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教行事、ミサの実施について <ul style="list-style-type: none"> イースターの集い 死者追悼のミサ クリスマス点灯式、クリスマスキャロルの放送 クリスマスの集い 創立記念日のミサ 新年のミサ 灰の儀式（灰の水曜日） 退職する教職員への感謝ミサ 卒業・修了感謝のミサ 週日のミサ ・学科行事における宗務的行事について <ul style="list-style-type: none"> 戴帽式 ステップアップセレモニー ・宗務部長不在時の部長代理について ・建学の理念正課外教育マニュアルについて ・チャペルアワーの実施について ・2024年度宗務委員会活動計画書及び予算見積内訳書について ・中期計画の進捗状況について ・法人統合による規程の改正について ・修養会の在り方について ・2023年度自己点検評価について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度宗務委員会活動計画書及び予算見積内訳書について・2023年度補正予算の提出について ・2023年度アッセンブリー・アワーの実施方法について ・ミサの実施報告について ・2023年度教職員修養会について ・ミサの年間スケジュールについて ・学生修養会について 	

2023年度 図書情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：田畑邦治 委員：井口久美、臺野美奈子、高桑暁子、峯岸夕紀子、目時光紀、長田雅子、白石澄枝
委員会開催数	8回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理について ・卒業生の図書館利用について ・天使祭（6/9）図書館一般公開について ・2023年度後援会寄贈図書について ・2023年度 後期 図書館開館予定（案）について ・2023年度 後期 情報処理室開室予定（案）について ・スマートフォンやタブレット端末による図書館所蔵資料及びOPAC画面等の撮影の禁止について ・2024年度洋雑誌の継続について ・メディカルオンライン等にて閲覧可能な雑誌の講読について ・学外者（卒業生を除く）の図書館利用制限の継続について ・2024年度 ラーニング・コモンズとグループ学習室のあり方について ・2024年度 和雑誌および洋雑誌の継続について ・2024年度データベースの継続について ・学術雑誌以外の製本保存の中止について ・2024年度に実施する作業に伴う現状との変更点について ・2024年度 活動計画書（案）（図書館・情報処理室） ・2024年度 予算見積内訳書（案）（図書館・情報処理室） ・2023年度 自己点検・評価報告書10. 図書館（案）について ・2023年度 自己点検・評価報告書11. 情報処理システム（案）について ・2023年度 図書情報委員会活動報告（案）について ・2023年度 除籍図書（案）について ・2024年度 前期 図書館開館予定表（案）について ・2024年度 前期 情報処理室開室予定表（案）について ・グループ学習室利用マニュアル（案）について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 活動計画について（図書館、情報処理室） ・2023年度 予算について（図書館、情報処理室） ・2023年度 前期予定表について（図書館、情報処理室） ・発注書のISBNの記載方法について ・2023年度 学術データベースのリモートアクセス用ID・パスワードの申請について 	

- 2023 年度 電子書籍（新聞雑誌費：消耗品費）の予算配分について
- 2023 年度 製本雑誌（図書費：備品）の予算配分と新規購入雑誌の製本の有無について
- 2023 年度 図書資料費執行状況について
- 2023 年度 在室者数統計（図書館・情報処理室）について
- 栄養学科購入和雑誌（1 誌）の廃刊について
- 学生 Google アカウント表示変更の作業報告について
- 「図書館利用案内」について
- 2023 年度日本カトリック大学連盟図書館協議会総会・実務研究会について
- 非常勤講師の学術データベースのリモートアクセスについて
- 「生と死の看護ゼミ」書架の配置について
- 2023 年度学生アルバイトの募集について
- 機関リポジトリのシステム更新に伴うサービスの停止について
- 教員共有フォルダへのアクセス権限の変更について
- 絶縁検査による情報処理室の閉室について
- 2024 年度和雑誌および洋雑誌の決定について
- 2024 年度データベースの決定について
- 2023 年度文献複写等の受付申込期限について
- 2023 年度 蔵書点検について

2023年度 内部質保証推進委員会活動報告

委員会組織	委員長：日沼千尋 委員：榊建二郎、岡部哲子、鈴木純子、中田かおり、岩間久哉
委員会開催数	5回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度内部質保証推進委員会活動方針（案） ・理事長・学長への2022年度評価および課題の報告について ・アセスメント・ポリシー等の見直しについて ・外部委員の意見聴取について ・中期計画の報告と見直しについて ・内部質保証と教学の関連図の改訂について ・2024年度予算案について ・2024年度活動計画書案について ・2025年大学基準協会大学評価受審について ・2023年度自己点検・評価報告書作成依頼について（案） ・2023年度活動報告会について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度予算について ・2023年度委員会開催日程について ・2022年度年報について ・助産専門職大学院認証評価について ・外部委員の評価について ・年報の書式検討について ・外部評価委員への意見聴取結果について ・第4期認証評価説明会について（榊委員） ・2024年度予算について 	

2023年度 教学マネジメント委員会活動報告

委員会組織	委員長：田畑邦治 委員：日沼千尋、新井英志、大野和美、榊建二郎、服部容子、清水真理、三浦恵津子、鈴木敏郎
委員会開催数	3回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度教学マネジメント委員会活動方針・計画について ・天使大学における内部質保証と教学の関連図について ・アセスメントポリシーに基づく今後の分析の方針について ・授業評価アンケートの改訂について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度入学者D P到達度の分析について 	

2023年度 入試委員会活動報告

委員会組織	委員長：川口雄一 委員：吉田礼維子、中川幸恵、高橋順子、長谷川めぐみ、佐藤誠治
委員会開催数	7回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理について ・2024年度一般選抜予備問題について ・2024年度入学 入学者選抜要項について ・2024年度入学 推薦型選抜（指定校制）の指定校枠について（当日配布資料） ・2024年度入学 学校推薦型・社会人選抜入試問題出題者について（当日資料配布） ・小論文・面接試験評価項目一覧について（当日資料配布） ・総合型選抜について ・令和6年度大学入学者選抜実施要項について（令和5年6月2日付 5文科高第369号文部科学省高等教育局長通知） ・2024年度入学 入学者選抜業務（大学入学共通テストを除く）への人選依頼について ・2024年度入学 推薦型選抜・社会人選抜合否判定基準について ・2025年度入学 一般選抜（学力試験）及び大学入学共通テスト利用選拔出題範囲について ・災害救助法が適用されている地域で被災した受験生に関する検定料等の減免について ・2024年度学校推薦型・社会人選抜小論文試験問題の選定について（当日配布） ・2025年度 入学者選抜日程（案）について ・2024年度入学手続要項について ・2024年度校務分掌（案）への意見について ・中期計画について ・2024年度学校推薦型・社会人選抜実施要領・監督要領（案）について ・小論文試験評価票について ・一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜合否判定基準について ・学校推薦型・社会人選抜事後アンケートについて ・2024年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜（個人面接試験）全体説明会について ・2024年度学校推薦型・社会人選抜の合格人数にかかわる事前調整 ・2024年度入試委員会活動計画について ・2024年度入試委員会予算について ・2024年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜（個人面接試験）実施要領・監督要領について ・一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜合否判定基準について（当日配布） ・追加合格決定のプロセスについて ・二次募集について 	

- ・自己点検・評価報告書について

[主な報告事項]

- ・2023年度入試委員会活動計画
- ・2023年度入試委員会予算
- ・2023年度入学者選抜入試問題の著作権処理状況
- ・2024年度入学者選抜要項の完成
- ・学校推薦型選抜・社会人選抜全体説明会について
- ・2025年度入学者選抜日程について
- ・大学入学共通テスト三大学の打ち合わせについて
- ・大学入学共通テスト担当者配置について
- ・令和6年度能登半島地震の発生に伴う令和6年度入学者選抜における対応について

2023年度 広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：服部容子 委員：小澤涼子、中洞真理子、西隆司、坂本洋子、佐藤誠治
委員会開催数	7回（7回目は3月予定）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度オープンキャンパスについて ・第1回オープンキャンパスについて ・第2回オープンキャンパスについて ・学科の強みについて ・学生アンバサダーについて ・大学広報勉強会について ・2023年度前期学報の進捗について ・教職員への広報活動協力要請について ・第2回オープンキャンパスの流れについて（確認） ・第3回オープンキャンパス(9/23)について ・2024年度天使大学校務分掌案（意見徴収） ・第2回オープンキャンパス振り返り ・2024年度オープンキャンパスの日程案検討 ・2025 大学院案内について ・天使学園中期計画の進捗状況調査及び（仮称）天使大学中期計画の整備について ・2025 大学案内について ・次年度予算計上科目の聴取について ・学報 36号について ・2024年度予算について ・第4回オープンキャンパス進捗 ・選抜要項頒布会の企画について ・2024年度オープンキャンパスについて ・広報委員会自己点検評価活動報告 ・今後の学生募集について（意見徴収） <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人統合に係るホームページへの掲出について ・北星学園女子高等学校 高大連携プログラムについて ・新入生アンケート実施報告 ・2023年度発行大学案内及び研究科パンフレット進捗について ・撮影について ・在学生による母校訪問、母校向け天使大学を目指す皆さんへ ・2023年度天使大学入試・広報アンケートの集計報告書配布 	

- ・次年度予算計上科目の聴取について
- ・実習・演習科目の撮影依頼について
- ・事例研究、卒業研究の撮影依頼について
- ・学報 36 号についての進捗
- ・第 4 回オープンキャンパス進捗
- ・選抜要項頒布会の企画（1/25-28）報告
- ・個別学校見学会（1/15-1/23）報告

2023年度 F D S D委員会活動報告

委員会組織	委員長：大野和美 委員：船木沙織、松下真美、三浦恵津子、豊島利昭、渡邊泰央、松田ゆかり
委員会開催数	11回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度授業評価アンケート実施結果報告（案）について ・2022年度授業参観実施報告書（案）について ・2023年度学生による授業評価アンケートの実施について ・2023年度F D S D委員会開催予定について ・他部署が企画するF D及びS D研修会実施計画について ・天使学園中期計画の進捗状況調査及び（仮称）天使大学中期計画の整備について ・2023年度F D S D研修会について ・2023年度F D S D委員会開催予定の一部変更について ・2024年度からの学生による授業評価アンケート設問案について ・2024年度天使大学校務分掌（案）について ・2023年度後期授業評価アンケートの今後の予定について ・2023年度前期開講科目の授業改善計画書提出の可否について ・2024年度からの学生による授業評価アンケートに係る今後の進め方について ・2024年度のF D研修会及びS D研修会について ・学生による授業評価アンケート質問項目の改正案について ・2024年度のS D研修会について ・2024年度活動計画及び予算について ・第1回F D S D研修会アンケートの質問への回答について ・学生による授業評価アンケート質問項目の改正案に関する各学科・科・研究科からの意見について ・2023年度自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度活動計画及び予算について ・授業評価アンケート改善報告書提出対象科目について ・各部署が主催するF D及びS D研修会予定の調査について ・令和5年度北海道F D・S D協議会総会について ・令和5年度教育の質に係る客観的指標調査について ・F D研修会およびS D研修会参加状況とアンケート集計結果について ・2024年度活動計画及び予算について ・F D S D研修会実施計画報告書の提出について ・授業参観の参加状況について 	

2023年度 学術振興委員会活動報告

委員会組織	委員長：榊建二郎 委員：田中さおり、西隆司、片倉裕子
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 委員長不在時の委員長代理について ・2023年度 科学研究費アドバイザーについて ・2023年度 科研費獲得セミナーについて ・「研究に関するアンケート」実施結果について ・「転載許諾申請書（案）」について ・2024年度 活動計画（案）について ・2024年度 予算見積内訳書（案）について ・2024年度 自己点検・評価報告書 学術振興委員会（案）について ・2024年度 学術振興委員会活動報告（案）について ・2024年度 紀要第25巻第1号及び第2号投稿論文募集のご案内について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 紀要第24巻1号および第2号の発行について ・2023年度 研究のためのよろず相談について ・2023年度 特別研究費による研究報告会の開催(採択者なし)について ・2023年度 ㈱羊土社主催「科研費獲得ウェビナーfor2024」について 	

2023年度 地域連携等委員会活動報告

委員会組織	委員長：浅井さおり 委員：若山好美、新関幸子、長谷川めぐみ、松下真美、杉浦恵子
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ・地域連携事業活動報告フォームについて ・2023年度ひがしく健康・スポーツまつり実施計画書について ・委員長不在時の委員長代理について ・「健康づくりフェスティバル（縮小版）」の実施依頼について ・「ひがしく健康・スポーツまつり2023」について ・2024年度天使大学校務分掌（案）について ・天使学園中期計画の進捗状況調査について ・「すこやか倶楽部」（ライフステージ支援事業）への協力について ・「ひがしく健康・スポーツまつり2023」点検・評価について ・「ひがしく健康づくりフェスティバル」点検・評価について ・2024年度予算見積内訳書（案）について ・「夕張地域医療体験」について ・2024年度活動計画案および予算案について ・タッピーフレンズ交流会（1/30）について ・2023年度年報 自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度活動計画書・予算について ・2022年度年報 自己点検・評価報告書について ・2023年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座実施状況について ・Web 両親学級の広報協力について ・2024年度天使大学校務分掌（案）に対する意見書の提出について ・タッピーフレンズ交流会（1/30）について ・「夕張地域医療体験」について 	

2023年度 就職委員会活動報告

委員会組織	委員長：鈴木 純子 委員：長内さゆり、田中 裕子、岩渕 絵里子
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の委員長代理について ・役割分担について ・委員会の開催日について ・25卒インターンシップの情報収集について ・就職ガイダンス・セミナー概要一覧について ・就職相談室ニュース第1号～3号の作成について ・求人開拓パンフレット「採用のご担当者の皆様へ」の作成について ・就職活動ガイドブック2024年度版の作成について ・学校法人天使学園中期計画（2022年度～2025年度）一覧表の進捗状況について ・2023年度教育の質に係る客観的指標調査について ・2024年度天使大学校務分掌（案）について ・看護学科学内就職説明会について ・2022年度卒業・修了生対象就職状況調査について（12月実施） ・2023年度就職活動と就職支援に関する調査について（2月実施） ・2022年度卒業生に関する就職先アンケート調査について（5月実施） ・2024年度活動計画案及び予算案について ・2023年度自己点検評価について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度活動計画及び予算見積内訳書について ・2023年度就職内定状況・就職活動支援状況等の報告について ・2023年度就職ガイダンス・セミナーの実施状況について ・卒業生の経験談について ・2021年度卒業・修了生対象就職状況調査の集計結果について ・2022年度就職活動と就職支援に関する調査の結果について ・2021年度卒業生に関する就職先アンケート集計結果について ・教員採用候補者選考検査第2次検査（栄養教諭）対策直前ゼミについて ・2022年度卒業・修了生就職先企業等への採用礼状の発送について ・求人訪問対応報告について 	

2023 年度 教職課程委員会活動報告

委員会組織	委員長：新井英志 委員：二宮信一、長谷川めぐみ、蜂谷愛、神田拓登
委員会開催数	8 回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2024 年度における非常勤講師の雇用継続について ・ 公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について ・ 教職課程 FD 研修会について ・ 2024 年度教職課程行事一覧について ・ 令和 6 年度教員採用候補者選考検査 春季ゼミについて ・ 北大農場の体験学習等について ・ 2024 年度活動計画および予算について ・ 教職課程の自己点検評価に関するアンケートについて ・ 科目等履修生（教職課程）の受入れについて ・ 非常勤講師および特別講師の委嘱について ・ 教職課程自己点検評価について ・ 教職課程修了判定 ・ 授業科目の担当者について ・ 新入生オリエンテーションについて <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職課程 Google classroom の作成について ・ 教職課程履修者数および教職課程履修取消者について ・ 教員採用試験結果について ・ 教員採用選考検査のための対策ゼミについて ・ 栄養学科 3 年生の面接指導の実施について ・ 全私教協研究交流集会の参加報告について ・ 教職課程 FD 研修会について <p>【主な確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職課程委員会の行事等一覧について ・ 教職課程履修の手引きについて 	

2023年度 研究倫理委員会活動報告

委員会組織	委員長：柳澤 健 委員：津田 万寿美、日沼 千尋、鈴木 純子、小原 琢、岩間 久哉、大久保 岩男（学外委員）、高橋 奈美（学外委員）
委員会開催数	8回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天使大学における人を対象とする研究倫理申請について（審査件数 36 件） ・ 倫理審査終了後の研究期間変更等の変更届について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理審査終了後の研究期間変更等の変更届について ・ 天使大学における人間を対象とする研究終了報告書について ・ 天使大学における人を対象とする研究の進捗状況及び研究の実施に伴う有害事象の発生状況報告書 ・ 他の研究機関への試料・情報の提供に関する届出書について ・ 研究倫理研修会について 	

2023年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

委員会組織	委員長：二宮信一 委員：清水真理、草野知美、吉田真弓、津田万寿美、岩間久哉
委員会開催数	4回（内書面審議2回）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理の選任について ・キャンパス・ハラスメント対策委員会年間スケジュールについて ・キャンパス・ハラスメント講演会について ・学生への啓発活動について ・天使学園中期計画進捗状況調査案について ・天使大学キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程について ・2024年度予算案および活動計画案について ・キャンパスハラスメント実態調査アンケート実施時期について ・2023年度年報案について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス・ハラスメント対策委員会2023年度予算について ・2023年度ハラスメントに関する相談窓口について ・ 	

2023年度 病原体等安全管理委員会活動報告

委員会組織	委員長：榊 建二郎 委員：榊 建二郎、柳澤 健、岩淵絵里子、豊島利昭
委員会開催数	2回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度活動計画案について ・2023年度遺伝子組換え実験の申請について ・2023年度自己点検評価報告書の原稿について ・病原体等安全管理委員会規程の改正について ・遺伝子組換え実験に関する基準要領の改正について <p>[主な意見聴取事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組換え実験委員会規程の制定について 	

2023年度 国際交流委員会活動報告

委員会組織	委員長：中田かおり 委員：峰岸まや子、坂本洋子、鈴木純子、岩間久哉
委員会開催数	1回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度活動計画について ・天使学園中期計画の進捗状況調査及び（仮称）天使大学中期計画の整備について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度予算について 	

2023年度 助産研究科教務委員会活動報告

委員会組織	委員長：津田 万寿美 委員：杉浦 恵子、中田 かおり、三浦 恵美子、片倉 裕子、長田 雅子、 杉田 樹美 陪席：石川(学務課)
委員会開催数	13回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 非常勤講師依頼時の年齢制限について ・2024年度 常勤講師の委嘱について ・2023年度 特別講師の委嘱について ・2023年度 実習指導教員の委嘱について ・2023年度 前期試験・評価日程（案）について ・2023年度 前期定期試験時間割案について ・助産評価機構 助産専門職大学院認証評価 自己点検評価報告書の提出について ・2023年度 臨床指導者会議について ・2023年度 助産研究科主催 FSDS 研修会 講師の委嘱について ・2023年度 後期試験時間割および評価日程について ・2023年度最終試験について ・2024年度予算要求について ・2024年度科目担当者について ・規程改正（案）について ・2024年度 学事暦について ・2023年度 学生による到達度評価について ・シラバス入稿・採点登録日程等について ・2024年度 兼任教員について ・2024年度 会議日程について ・2年次院生の修了判定について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 助産研究科予算決定について ・助産評価機構 助産専門職大学院認証評価 進捗状況について ・天使大学大学院助産研究科教育課程連携協議会構成委員について ・大学大学院助産研究科教育課程連携協議会開催日時について ・2024年度 助産研究科年次教育計画 ・2023年度補正予算要求について ・修了院生のGPAについて 	

2023年度 助産研究科入試広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：杉浦恵子 委員：津田万寿美、中田かおり、片倉裕子、三浦恵津子、佐藤誠治
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 助産研究科オープンキャンパスについて（内容・実施方法について） ・2024年度 助産研究科パンフレットについて ・2023年度 入学相談窓口について ・2024年度 入学者選抜要項について ・2024年度入学 助産研究科入学者選抜について（当日配布） ・2024年度助産研究科入学者選抜実施体制について ・推薦型選抜について ・面接評価票について ・助産研究科入学者選抜合否判定基準について ・8月実施 オープンキャンパスについて ・入学手続要項及び入学前課題について ・2024年度 助産研究科推薦型選抜合否判定について ・2025年度 助産研究科入学者選抜日程について ・2024年度 助産研究科Ⅰ期選抜合否判定について ・2026年度 助産研究科入学者選抜（案）について ・2024年度 助産研究科入試広報委員会活動計画書について ・2024年度助産研究科予算申請書について ・2024年度 助産研究科Ⅱ期選抜合否判定について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 助産研究科入試広報委員会予算について ・2023年度 雑誌の掲載号について ・2023年度入学者選抜問題集の発行について ・新入生アンケートの結果について ・2023年度 WEB 進学説明会報告 	

14. 図書館利用状況

IX-表1 2023年度入館者数統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	2,600	3,159	3,778	5,413	1,318	2,777	3,384	3,111	2,189	3,974	1,624	305	33,632

IX-表2 2023年度図書・視聴覚資料貸出統計

所 属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	249	462	732	383	645	1023	1009	612	143	122	130	15	5,525
栄養学科	216	275	351	183	96	78	150	136	54	119	95	18	1,771
助産研究科	185	131	37	16	31	57	67	81	44	66	33	25	773
看護栄養学研究科 看護学専攻	82	99	104	89	40	72	68	31	14	22	21	17	659
看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 博士前期課程	8	6	6	10	11	4	1	2	5	0	3	4	60
看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 博士後期課程	0	0	0	0	9	0	0	1	10	5	0	0	25
教職員	120	89	66	107	64	96	112	102	187	94	150	110	1,297
相互利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
学外者 (非常勤講師・実習指導 教員・臨床指導者)	6	5	21	0	8	3	0	3	4	6	4	3	63
卒業生	0	0	2	4	2	4	1	6	5	0	0	2	26
合計	866	1,067	1,319	792	906	1,337	1,408	974	467	434	436	194	10,200

15. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	336	523	924	1,301	3,084	532	934	2,365	1,311	5,142	8,226
4301室(夜間)	31	68	122	77	298	21	43	119	75	258	556
4302室(日中)	2,226	693	1,100	1,621	5,640	1,596	1,794	3,404	942	7,736	13,376
4302室(夜間)	149	79	200	246	674	113	25	162	63	363	1,037
総計	2,742	1,363	2,346	3,245	9,696	2,262	2,796	6,050	2,391	13,499	23,195

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	447	95	77	195	814	414	166	611	323	1,514	2,328
5	435	122	176	469	1,202	335	52	816	222	1,425	2,627
6	426	280	347	515	1,568	337	198	881	263	1,679	3,247
7	507	192	296	584	1,579	485	83	885	475	1,928	3,507
8	34	8	81	163	286	43	10	317	133	503	789
9	52	38	272	394	756	64	241	758	180	1,243	1,999
10	190	184	350	315	1,039	87	94	507	223	911	1,950
11	366	235	203	370	1,174	72	333	135	217	757	1,931
12	173	107	65	140	485	328	835	491	172	1,826	2,311
1	56	66	305	45	472	91	743	506	90	1,430	1,902
2	56	32	159	36	283	6	42	93	80	221	504
3	0	3	15	18	36	0	1	50	13	64	100
総計	2,742	1,362	2,346	3,244	9,694	2,262	2,798	6,050	2,391	13,501	23,195

16. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	大学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差
校地面積	30,390	7,060	23,330
校舎面積	18,057	6,475	11,582

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	45	928.53	2階建 (耐震構造)
2号館	2020 (R2)	1	5,393.45	6階建 (耐震構造)
3号館	1963 (S38)	58	1,977.11	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	50	2,428.96	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	41	396.27	2階建 (耐震構造)
6号館	2000 (H12)	21	2,668.40	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	19	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	17	1,855.69	4階建 (耐震構造)
中沼グランド更衣室等	1992 (H 4)	29	79.38	平屋建
計	—	—	18,057.91	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(㎡)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当り面積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	14	1,947	共用	1,634	778	2.50	看護栄養学研究科と共用
	演習室	15	673	共用	373	820	0.82	大学院と共用
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	大学院と共用
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	看護栄養学部、助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	135	42	5.40	
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	看護栄養学部、看護栄養学研究科と共用
体育館/講堂		1	725	/	/	/	/	

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	2302看護実習室	100	416	4.16
	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	262	4.37
	生理学実験室・微生物学実験室	65	397	6.11
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.17
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,701	3.62

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積(m ²)	収容人数(総数)	収容人員1人当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	18	2,874	783	3.67	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	19	3,048	823	3.70	—	—

17. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実しているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	75.4	84.8
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△16.4	△24.6
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	90.6	97.4
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	88.9	61.5
5	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資金}}$	91.2	100.7
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	77.4	92.4
7	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	68.8	85.4
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	57.7	63.1
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	10.5	19.8
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	31.1	14.5
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	46.2	56.1
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.6	15.7
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.3	0.2
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	278.9	192.3
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	332.2	412.8
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	89.0	35.6
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資金}}$	13.4	7.5
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資金}}$	11.1	7.5
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	24.5	15.1
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	32.6	17.8

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は収容定員500～1000名の保健系学部を有する全国11法人の2022年度決算額の平均。

事業活動収支計算書関係の財務比率表 (％)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△0.8	△1.2
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△0.8	△2.1
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△0.6	△2.4
4	収入構成はどうか なっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	78.7	32.1
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.3	3.6
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	17.5	9.6
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	62.6	53.6
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	32.6	41.5
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.4	7.0
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.2	0.0
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.0	7.4
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	12.4	5.8
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	79.6	166.9
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	102.9	109.3

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表 (％)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	教育活動資金収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	12.8	5.8

2023年度 内部質保証推進委員会

委員長：日沼 千尋（看護学専攻）

委員：榊 建二郎（看護学科）

岡部 哲子（栄養学科）

鈴木 純子（栄養管理学専攻）

中田かおり（助産研究科）

岩間 久哉（事務局長）

事務局：上村 俊哉（総務課）

2023年度

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院 看護栄養学研究科
天使大学大学院 助産研究科

年 報

—自己点検・評価報告書—

2024年6月完成

自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>
